

令和5年度

# 優良PTA文部科学大臣表彰 優良事例集



総合教育政策局  
地域学習推進課



文部科学省  
MEXT  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

※本事例集は、令和5年度の受賞団体のうち、  
各都道府県教育委員会の推薦を得た団体の活動を  
まとめたものです。

# 目次

## 【組織・運営の工夫】

	ページ
北海道 札幌市立稲積小学校父母と先生の会	5
北海道 北海道旭川東高等学校 P T A	6
青森県 青森県五所川原市立南小学校父母と教師の会	7
宮城県 宮城県仙台第三高等学校 P T A	8
茨城県 茨城県立佐和高等学校 P T A	9
埼玉県 埼玉県立狭山特別支援学校 P T A	10
千葉県 市原市立国分寺台中学校 P T A	11
東京都 鶴川第一小学校 P T A	12
東京都 東京都立鹿本学園 P T A	13
神奈川県 横浜市立駒林小学校 P T A	14
石川県 輪島市立鳳至小学校 P T A	15
長野県 小谷村立小谷小学校 P T A	16
京都府 京都府立園部高等学校 P T A	17
奈良県 天理市立南中学校 P T A	18
奈良県 奈良県立青翔中学校・高等学校育友会	19
鳥取県 北栄町立北条中学校 P T A	20
島根県 出雲市立第一中学校 P T A	21
岡山県 瀬戸内市立邑久幼稚園 P T A	22
福岡県 福岡市立松島小学校 P T A	23
佐賀県 佐賀県立佐賀西高等学校後援会	24
長崎県 長崎県立対馬高等学校 P T A	25
大分県 大分県立大分南高等学校 P T A	26
沖縄県 沖縄県立小禄高等学校 P T A	27
沖縄県 沖縄県立八重山農林高等学校 P T A	28

## 【地域協働・連携】

	ページ
岩手県 弥栄小学校 P T A	30
宮城県 仙台市立鹿野小学校父母教師会	31
秋田県 美郷町立六郷小学校 P T A	32
秋田県 秋田県立ゆり支援学校 P T A	33
山形県 村山市立楯岡小学校 P T A	34
山形県 山形県立米沢養護学校 P T A	35
福島県 喜多方市立堂島小学校父母と教師の会	36
茨城県 下妻市立千代川中学校 P T A	37
栃木県 栃木県立栃木高等学校 P T A	38
新潟県 上越市立宝田小学校 P T A	39
富山県 高岡市立野村小学校 P T A	40
富山県 富山県立新川みどり野高等学校 P T A	41
石川県 石川県立野々市明倫高等学校 P T A	42
福井県 越前市坂口校 P T A	43
山梨県 山梨県立盲学校 P T A	44
長野県 諏訪市立上諏訪小学校 P T A	45
岐阜県 美濃加茂市立三和小学校 P T A	46
静岡県 焼津市立東益津小学校 P T A	47
三重県 亀山市立野登小学校 P T A	48
三重県 セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校保護者会	49
京都府 向日市立第6向陽小学校 P T A	50
大阪府 堺市立若松台小学校 P T A	51
大阪府 大阪府立布施工科高等学校 P T A	52
兵庫県 兵庫県立香住高等学校 P T A	53

# 目次

## 【地域協働・連携】

	ページ
和歌山県 和歌山県立古佐田丘中学校・橋本高等学校 P T A	54
広島県 広島市立矢賀小学校 P T A	55
徳島県 徳島市立千松幼稚園 P T A	56
愛媛県 愛媛県新居浜市立高津小学校 P T A	57
佐賀県 唐津市立平原小学校 P T A	58
長崎県 諫早市立有喜小学校 P T A	59
熊本県 熊本県立水俣高等学校 P T A	60
宮崎県 門川町立草川小学校 P T A	61
鹿児島県 奄美市立屋仁小学校 P T A	62
鹿児島県 指宿市立指宿商業高等学校 P T A	63

## 【学びに関する活動】


栃木県 日光市立清滝小学校 P T A	65
埼玉県 狭山市立入間野小学校 P T A	66
千葉県 浦安市立高洲中学校 P T A	67
神奈川県 神奈川県立湘南支援学校 P T A	68
新潟県 新潟県立長岡高等学校親師会	69
福井県 福井県立奥越特別支援学校 P T A	70
山梨県 道志村立道志中学校 P T A	71
愛知県 刈谷市立日高小学校 P T A	72
愛知県 愛知県立岡崎聾学校 P T A	73
和歌山県 日高川町立川辺西小学校教育会	74
愛媛県 愛媛県立松山商業高等学校 P T A	75
福岡県 福岡県立稲築志耕館高等学校 P T A	76

## 【生活指導活動】

	ページ
岩手県 岩手県立花巻南高等学校 P T A	78
群馬県 高崎市立南陽台小学校 P T A	79
群馬県 群馬県立高崎特別支援学校 P T A	80
兵庫県 丹波市立前山小学校 P T A	81
島根県 島根県立出雲養護学校 P T A	82
岡山県 高梁市立川面小学校 P T A	83
熊本県 熊本市立龍田西小学校 P T A	84

## 【その他】

	ページ
青森県 認定こども園 油川幼稚園父母の会	86
広島県 広島県立安芸高等学校 P T A	87
大分県 九重町立南山田小学校父母と教職員の会	88
宮崎県 宮崎県立宮崎工業高等学校 P T A	89



テーマカテゴリー

組織・運営の工夫

# 持続可能なPTA活動 ～ いなづみナツノユメ と いなづみ雪あかり ～

キーワード

持続可能なPTA活動 / 人と人とのつながり / 地域の特色を活かした活動

## 取組概要

コロナ禍における持続可能なPTA活動を目指し、夏と冬の2大イベントを年間行事に定着させ、学校と地域とのつながりを生み出した。

## 取り組みの詳細

### いなづみナツノユメ

子どもたち一人一人が願いを短冊にこめ、正面玄関前に全員分展示した。ヨーヨーやバザーコーナーを企画するなど夏を彩り、地域と学校のがつながりが深まるイベントとなった。



### いなづみ雪あかり

1、2年生の子どもたちとPTAが作った数百個のノーキャンダルを正面玄関前に飾り、北海道の雪を楽しみながら、地域と学校がつながるイベントとなった。



人と人との  
つながりが  
生まれる  
PTA活動



## 成果

- ・地域と学校がつながりを深める場を作り出すことで、たくさんの笑顔が生まれた。
- ・北海道の冬ならではの持続可能なイベントを生み出し、さらに夏のイベントの開催へと繋げることができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・大きな労力をかけて開始したイベントなので、今後、運営者が入れ替わっても継続して取り組むことができるよう、運営面の効率化が課題である。

## その他の取り組み紹介

### 登下校見守り活動

通学路の危険箇所を地域住民とともに見守っている。



### 開校35周年 記念コンサート

北海道警察音楽隊・カラーガード隊による演奏会を企画した。



所在地

北海道札幌市

全校生徒数

286名

地域の特徴

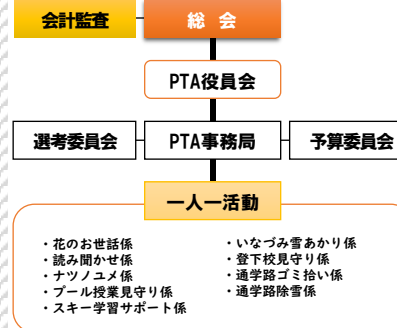
札幌市の北西に位置し、稲積公園をはじめ、多くの公園があり、子どもたちが伸び伸びと生活できる地域である。スクールガードや交通ボランティアなどの活動も積極的であり、家庭と地域が共に子どもたちを育てていくという一体感がある。

学校の特徴

本校は、昭和63年3月に開校した、今年で36目を迎える小学校である。

「全ての子が安全で安心して過ごせる学校」を目指すため「元気にあいさつ 笑顔でありがとう」を合言葉にあたたかな学校を目指し教育活動を行っている。

組織構成



担当課：北海道教育庁  
生涯学習推進局  
社会教育課

## コロナ禍における運営の工夫 ～会員相互の学びと会員をつなぐPTAだより～

キーワード 教養講座 / 受験チャンネル / 大空まどかに / ハイブリッド型

### 取組概要

「教養講座」や「受験チャンネル」、PTAだより『大空まどかに』の発行など、保護者同士の関係づくりや情報交流の機会を設け、保護者の子育てに関する悩みを解消する取組を行っている。

### 取り組みの詳細

#### 教養講座（教養委員会）

会員の教養を高めるための講座を実施。「Shall We EHON?～大人も『絵本』でコミュニケーション」をテーマに絵本セラピーについて学び、「Let's Enjoy! ズンバダンスでリフレッシュ」では、オンラインでダンスエクササイズの手法について学んだ。



#### 受験チャンネル（学年委員会）

大学受験に関する先輩保護者の体験手記などを教室の壁一面に掲示して、後輩保護者に伝える「受験チャンネル」を実施し、保護者同士の関係づくりの機会を設けた。



#### PTAだより『大空まどかに』（広報委員会）

PTAだより『大空まどかに』を毎年2回発行することで、具体的な活動内容を会員だけではなく地域にも情報発信し、PTA活動への理解を深めている。



### 成果

- ・PTAが企画・運営する教養講座や受験チャンネルの取組により、会員相互の学びが高まった。
- ・PTAだより『大空まどかに』の発行により、会員に対する情報発信と会員相互のつながりが強まった。
- ・コロナ禍における運営の工夫として、諸会議のほか、各種講演会や講座などオンラインを併用したハイブリッド型で行った。

### 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍で得たハイブリッド型の良さを継承しながらも、参集型の良さを改めて見直し、実施に向けて方法を検討していく。

### その他の取り組み紹介

- ・生活委員会が主体となり、オリジナルマスクの制作・販売と、コロナウイルス感染症対策の呼びかけを実施した。
- ・定時制委員会が主体となり、各種行事への支援をととして生徒の活動の見守りを行っている。

所在地

北海道旭川市

全校生徒数

753名

地域の特徴

道北に位置する北海道第2の都市で、雄大な大雪山連峰、家具や木工クラブ、農業、旭川ラーメン、旭山動物園が有名である。

学校の特徴

全日制は創立120年を、定時制は創立100年を迎える。この間、道北の中心校として様々な教育活動を展開し、国内はもとより世界で活躍する多数の有為な人材を輩出している。学校標語は「シマレ ガンバレ」。

組織構成

旭川東高校PTA

[ 総会 ]

[ 役員会 ]

会長  
副会長  
監事・会計  
各委員長

教養委員会

生活委員会

広報委員会

学年委員会

定時制委員会

担当課：北海道教育庁  
生涯学習推進局  
社会教育課

## 「すべては子どもたちのために」～子どもたちの未来を切り拓き、挑戦し続けるPTAを目指して～

キーワード 南小っ子SDGsツリープロジェクト / 親子雪上レク / スキー学習継続 / 挨拶運動

### 取組概要

「南小っ子SDGsツリープロジェクト」や「親子雪上レク」等、「子どもたちの“心”を育てる活動」に力を入れている。南小PTAは、地域・家庭・学校を繋ぐ“架け橋”として積極的にコミュニケーションを図り、相互にサポートし合える確かな協力体制を築いている。

### 取り組みの詳細

#### 「南小っ子SDGsツリープロジェクト」の実施 -未来へ繋がる「生きた教育」を-

子どもたちの“心”を育てたいとの想いから、子どもたち自身が身近なSDGsについて考え、「他者への思いやり」について考える機会を設けている。点灯式では、皆の想いが一つになったSDGsツリーを見て、多くの子どもたちが大きな歓声をあげて喜んでた。このプロジェクトは「生きた道徳教育」にも繋がると考えており、未来を担う子どもたちが、これからも身近なSDGsについて関心を高めていけるような活動を継続して支援していきたい。



#### スキー学習の廃止決定から継続へ

##### -雪国の特色ある学びを地域一丸となって守り抜いた軌跡-

「スキー学習」の廃止決定から継続となった背景には、南小PTAが学校と積極的にコミュニケーションを図り、相互にサポートし合える確かな協力体制が築かれていることが大きい。スキーの寄贈やメンテナンス作業の協力においては、地域、家庭、学校が一丸となり、学習自体の継続を可能にした。子どもたちの学びと経験の機会を丸めた今回の取り組みは、学校単体ではなく、PTAが地域を繋ぎ、問題解決へと導いたと言える。今後もスキー学習のみならず、学校とPTAが随時話し合いを持てるような良好な関係を構築している。



### 成果

●子どもたちに「地産地消」の心を大切にしてほしいとの想いから、県産りんごやりんごジュース、野菜を“宝物”とした親子雪上宝さがしを行った。コロナ禍で打撃を受けた県の農林水産業が回復する一助となることを願い地域一体となり、地産地消で盛り上げていきたいとの思いを参加した子どもたちも感じ、競技の場面では、笑顔が溢れる場面が多く見られた。

●会長が中心となり、年6回、南小PTA通信（会長通信）を発行している。紙面構成は、学校行事やPTA活動、児童の様子など趣向を凝らした内容としていることもあり、好評を博している。また、保護者のみならず、地域の方々にもPTA通信を配布しており、地域の方々にも本校のPTA活動を知っていただくよい機会となっている。

### 課題や今後の取り組み

●老朽化により撤去された校舎壁面パネル「明日にはばたけ南小っ子」の再設置を令和5年度に実施する。「南小のシンボル」として、保護者・地域住民・卒業生からの再設置を強く望む声が多く上がった。そのため、地域住民や本校OB、OGの方々にも募金を募り、地域一丸となって、皆に愛される「南小のシンボル」を復活させる取り組みを実施することとなっている。

### その他の取り組み紹介

●毎朝、校門前において、PTA会長、役員、保護者、校長先生が挨拶運動を行っている。子どもたち一人ひとりに、人と人との繋ぐ挨拶の大切さを知ってもらいたいとの想いから、挨拶運動は欠かすことなく続けている。

●子どもたちの登下校時の安全を守るため、地域住民によって構成された組織「南小見守り隊」との連携を密に取っている。地域一丸となって子どもたちの安全を守るよう、常に万全の体制を整え、PTAが学校と地域とを繋ぐ役割を果たしている。

所在地

青森県五所川原市

全校生徒数

198名

地域の特徴

本校学区は、五所川原市の中心部に位置し、近隣には大型商業施設等がある賑やかな場所である。夏には5・6年生が地域の祭りである「五所川原立佞武多（たちねぶた）」に参加し、地元への愛着をより一層深めている。

学校の特徴

本校は、PTAが地域・家庭・学校を繋ぐランドマークとしての役割を担い、コミュニケーションを密に図ることで、相互にサポートし合える協力体制を構築している。令和2年度には「創立60周年記念事業」として、親子で校舎玄関前の花壇の整備作業を行った。

組織構成

- ・会長1名
- ・副会長代表1名
- ・副会長3名
- ・監事3名程度
- ・顧問2名
- ・会計1名
- ・庶務1名
- ・各学年会長6名（1～6年）
- ・各委員長5名

(指導委員会、環境委員会、図書委員会、ベルマーク委員会、母親委員会)

担当課：青森県教育庁生涯学習課

## コロナ禍でも I C T を活用して動いた P T A

キーワード

デジタル技術活用／教師・保護者の負担軽減／PTA委員による学校行事

### 取組概要

コロナ禍で活動が制限されたにもかかわらず、I C T を駆使して P T A 活動を動かし続けた。

### 取り組みの詳細

◆コロナ禍もあり、感染防止対策として学校行事等に対面形式で参加出来ない状況の中、保護者が参観できる体制を整えるため、ハイブリット形式（映像配信）の工夫をしている。

・写真（右図）は昨年度の P T A 全体研修会の模様である。

・下の写真にあるように一人だけが iPad を操作して配信している。

・保護者には視聴できる U R L をメールで送り自宅で気軽に参加できる。

・文化祭などでも保護者の入場規制があったため配信をして好評を得た。



○R 2 年度の休校時の入学式においても、P T A 会長、副会長のみ学校の会議室で式に参加した。入学生は各教室で式典の模様を L I V E 配信の視聴、保護者も他の教室や自宅で視聴した。

その事例もあり、規制がある場合には極力配信をすることで、学校と保護者の繋がりを維持、持続出来ている。

### 成果

- ・入学式・卒業式のLIVE配信。
- ・PTA研修会のLIVE配信。
- ・文化祭のLIVE配信。など

### 課題や今後の取り組み

- ・配信システムの充足。
- ・人的配置の充足。
- ・対面活動の衰退。など

### その他の取り組み紹介

・広報委員会は年に10回以上開催され、会報を年に2回発行している。

・文化祭においてPTAでは「お休み所」を運営しており、地域の方々から好評を得るとともに、良い交流の場になっている。

・春と秋の交通安全週間に地域と一緒に交通安全運動の促進と挨拶一声運動を行っている。

所在地

宮城県仙台市

全校生徒数

957名

地域の特徴

市の都山山市にあり、中心部から北東部へ車で20分程度の鶴ヶ谷団地と隣接する学校。閑静で緑豊かな環境の中にある。

学校の特徴

昭和38年に創立し、昭和43年には理髮科が設置された。建学の精神は「心身の健康」、「真・善・美の追求」、「愛と知の稔り」。文部科学省より、平成22年度にSSH指定校に指定され、先進的な授業の研究と実践に取り組み、全校体制で探究活動に取り組んでいる。令和4年度からは第3期のSSH指定を受け、周辺地域を対象とした探究活動を進めている。「Team三高」をモットーに高いレベルでの文武両道を実践している。国立大学への現役進学率は全国でもトップレベルであり、部活動でも多くの部が活躍、弓道部、放送部、男子テニス部が全国大会に出場したのを始め、数多くの東北大会出場者や県大会の上位進出者を出している。

組織構成

・組織は、会長、副会長、監事、学年委員長、学年副委員長の20名程度の役員。また各学年20名程度の学年委員および一般委員で構成されている。  
・会員は、学校に在籍する子どもの保護者等と教職員で構成され、加入率は100%である。

担当課：宮城県教育庁生涯学習課



## 家庭と学校の連携強化を目指したPTA活動

キーワード 各種研修・広報活動 / 情報交換 / 連携・協力

## 取組概要

各種研修の企画・運営や広報活動を充実させ、保護者と教職員の連携・協力関係を深めた。

## 取り組みの詳細

## &lt;各種研修等の実施&gt;

保護者と教職員が共に活動する機会を多く設けている。

- 「PTAふれあい講座」の開催（年2～3回）  
料理教室や蕎麦打ち講習会、ソフトバレーボール大会等
- 「PTA視察研修」の実施
- 学年委員会独自企画による研修

## &lt;さわやかマナーアップ運動&gt;（年1回）

- PTA生徒指導委員、生徒指導担当教職員及び生徒の約40名が参加し、近隣中学校、近隣特別支援学校と合同で最寄り駅や学校周辺で朝のあいさつ運動を行っている。

## &lt;PTA広報活動&gt;

- 広報委員会が、PTA諸活動や学校行事の様子を会員や地域へ発信するため、年2回「PTA佐和」を発行している。PTAや生徒のボランティア活動等について掲載し、ボランティア精神の醸成にもつながっている。



会報 PTA佐和No.77号

## 成果

- 各種研修会や行事等に参加する保護者が増え、保護者同士及び教職員との情報交換の機会を設けることができ、生徒の充実した高校生活の実現に結びついている。

## 課題や今後の取り組み

- コロナ禍で活動が縮小・中止となった研修会や行事があった。従前の活動に戻すなかで、役員となっている保護者や担当教職員の負担軽減を図る必要がある。

## その他の取り組み紹介

- 列車添乗指導では、通学者が多い乗車区間をPTA生徒指導委員と担当教職員が添乗し、生徒の乗車状況を把握することで、乗車マナーの維持向上のための指導に役立っている。
- 年3回の運営委員会では、各種PTA行事の企画検討のほか、各専門委員会や各学年委員会等の運営についての議論が活発になされている。

## 所在地

茨城県ひたちなか市稲田636-1

## 全校生徒数

717名

## 地域の特徴

茨城県の中心からやや北東に位置し、商業、工業、水産業、観光業がそれぞれ盛んで、各種産業が整ったバランスのよい地域である。地域特産品の干し芋は生産量が全国1位を誇る。

## 学校の特徴

生徒の自主性を重んじた「君の心に聴け」を校訓とし、全日制普通科の高校として昭和60年に開校した。森林に囲まれた自然豊かな環境の中で、地域社会に貢献する心豊かな生徒を育成している。

## 組織構成

## 【PTA会員】（総会）

## 【役員】

- 顧問（若干名）
- 会長（1名）
- 書記（3名）
- 監査（3名）
- 名誉会長（学校長）
- 副会長（若干名）
- 会計（2名）

## 【運営委員会】

- 役員
- 各専門委員長
- 各学年委員長

## 【専門委員会】

- 生徒指導委員会
- 教養委員会
- 広報委員会

## 【学年委員会】

- 1学年委員会
- 2学年委員会
- 3学年委員会

担当課：茨城県教育庁総務企画部  
生涯学習課

埼玉県

埼玉県立狭山特別支援学校PTA

狭山特別支援学校マスコット  
茶娘(ちやこ)ちゃん

## 会長・役員負担軽減と 新しいPTA活動

キーワード 保護者の負担軽減 / デジタル技術活用



## 基礎情報

所在地

埼玉県狭山市

全校生徒数

171名

地域の特徴

狭山市は埼玉県南西部に位置し、武蔵野台地の豊かな緑と入間川の恵みを受けて、住みよい住宅都市として、また県下有数の工業都市として大きく発展している。伝統的な特産品として狭山茶が有名である。

学校の特徴

狭山市、入間市、日高市、飯能市の4市を学区とする知的障害特別支援学校である。昭和55年開設。平成28年、高等部が近隣の新藤校に移管し小中学部特別支援学校となる。令和5年、狭山清陵高校内に狭山清陵分校(高等部)開校。

組織構成



【共同会長制度】



担当課：埼玉県教育委員会  
生涯学習推進課

## 取組概要

- 共同会長制度によるPTA会長の心身負担軽減化への取組
- 「LINE WORKS」を活用した新しいPTA活動

## 取組みの詳細

### 1 共同会長制度によるPTA会長の心身負担軽減化への取組

- 共同会長制度は、会長を複数で担当することを可能にする制度
- 1名で会長として活動も可能

【令和5年規約改正に向けて検討】

#### 一人で背負わないシステムへ

①活動時間を分担  
一人当たりの活動時間を軽減

②苦手な活動を分担  
苦手なことを得意な方が担当

③心身の負担を分担  
活動を共にできる安心感



#### 会長の引継ぎをスムーズに

経験者と一緒に活動しながら仕事内容を把握できるため、役員未経験でも会長選出が可能に！

活動は経験しながらゆっくり把握していけばOK！

負担のない環境を継続できる！

経験者 未経験 顧問(現場を離れ活動を見守る)

### 2 「LINE WORKS」を活用した新しいPTA活動

- 「PTA活動の負担軽減・効率化」を目指し、試験的に活用を開始

#### 「LINE WORKS」とは

- 見た目がLINEと似ているビジネス版コミュニケーションツール
- 非営利団体向けの特別プランも提供(無料版・有料版)
- メンバーは管理者が管理(追加・削除)、連絡先交換は不必要
- PTA運営に役立つ機能の活用のため、PTAのみの非公開

#### 負担軽減と効率的な運営へ

- 学校に行かなくてもPTAに参加
- チャット機能を用いた確認・相談
- ノート機能での話し合い
- ファイル共有機能による引継ぎ
- 組織と使用方法の提示で円滑運営



## 成果

### 「共同会長制度導入」

会長同士で相談できる環境と業務分担による量的・心的負担の軽減となり、円滑な会長選出に繋がった。

### 「LINE WORKSの活用」

試験的に開始し、来校せずに意見交換や情報共有ができ、活動の負担軽減や業務の効率化が検証された。

## 課題や今後の取組み

### 「PTAボランティア制度」

PTA役員の負担軽減と人手が足りない時に、気軽に簡単なお手伝いを通して、誰もがPTA活動に負担なく貢献かつ保護者同士のコミュニケーションの場にも繋がるよう募集する。

### 「LINE WORKS」の活用拡大

全会員の情報共有・情報交換の場を企画・運営していく。また、ボランティアのクイック募集を行う。

## その他の取組み紹介

### 「共学支援ボランティア養成講座」

通学区域の4市社会福祉協議会と学校とPTAが連携して実施。講座修了後にボランティア・バンクへ登録。

## 全ては子どもたちの笑顔と成長のために、時代に即した運営への進化

キーワード 自発的行動 / 目的の明確化 / 組織のスリム化 / 子どもたちのための活動 / 企業連携

### 取組概要

「子どもたちために」という目的を明確にし、組織体制や事業を見直し、保護者の自発的な行動のもと、学校や地域企業等と連携した活動を推進。

### 取り組みの詳細

- ①自発的行動
  - PTAが任意団体であること、加入や役員への参加、行事への参加も全て任意であることを文書で明確に伝え、保護者の自発的な参加による活動を推進。
- ②目的の明確化
  - 「生徒の幸福な成長」をPTAの目的として明確化。
  - 学校が目指す生徒像と同じ方向を向いたPTA活動方針を設定。
- ③組織のスリム化
  - 役員の負担軽減のため3会議体を2会議体に合理化。
  - 目的ベースで事業を見直し、4専門部を3専門部に統合、役員数を48名から27名に削減。
- ④子どもたちのための活動
  - コロナ禍をきっかけにバザーを見直し、PTA主催イベントとして生徒のための思い出づくりや協調性を育む行事を実施。
  - 令和4年度は10月開催に合わせたイベント「国中ハロウィーン」を実施、クラス対抗により友情や協調性を醸成。
- ⑤企業連携
  - PTA主催イベントにおいて、地元で立地する石油化学企業との連携による最新素材の体験イベントを実施、あわせて地元事業者による食の提供を実施。

### 成果

- 任意でも約85%の保護者が加入、未加入者も会費面等で運営に協力。
- 各種行事も自主的参加で実施。
- PTA主催イベントでは生徒から感謝の声をいただいた。
- スリム化により役員探しの負担を軽減。
- 地元産業への認知度や愛着の向上。

### 課題や今後の取り組み

- 自発的行動をより高めるための情報発信の工夫（広報誌の発行回数の見直しやネット配信の実施）。

### その他の取り組み紹介

- PTA運営に関する基本ルールを明文化（8規程を制定）。
- 社会福祉協議会と連携しSDGsに資する「制服リユース活動」を実施。

## 基礎情報

所在地

千葉県市原市

全校生徒数

290名

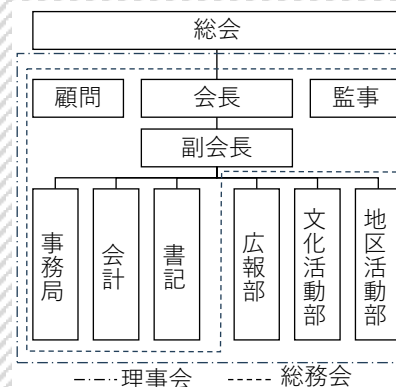
地域の特徴

市原市は全国最大規模の石油化学コンビナートが立地する経済の重要拠点であり、かつて上総国府や国分寺・尼寺が置かれた地である。本校地域は市中心部に国分寺の名を冠した住宅団地であり、企業・行政など様々な人材の宝庫でPTAや地域活動への理解が高い。

学校の特徴

学校教育目標は「生徒の徳性・知性・体力を磨き、その調和的向上をめざす ～優しく・賢く・逞しい生徒の育成～」である。素直な生徒が多く落ち着いた学校生活を送っている。行事や部活動にも熱心に取り組んでいる。生徒会を中心により良い挨拶ができる学校を目指している。

組織構成



担当課：千葉県教育委員会生涯学習課  
(市原市教育委員会生涯学習課)



# 「やりたいことが集まる」集約型の組織に転換！

**キーワード** 教師・保護者の負担軽減／集約型の組織へ転換／デジタル技術活用／会費制度の廃止

## 取組概要

新しいPTA制度へ  pdate!

《できること》  
《やりたいこと》を自主的に

## 取り組みの詳細

### 教師・保護者の負担軽減

やらなければならないことを  
分担するのではなく  
「やりたいことが集まる」  
集約型の組織に転換し  
役員・委員・係の選出を廃止

学芸会における  
保護者の心得を  
記した虎の巻



### デジタル技術の活用

クラウドサービスやデジタルツールを活用し、  
学校（PTA室）に行かなくても業務がこなせる環境を整備

### 会費制度の廃止

会費制度をやめ、PTA活動に賛同する保護者が  
「協力金」を納めるよう制度化し、集まった協力金は  
在籍する全員の児童のよりよい学校生活のために使用

## 成果

- 役員・委員・係の選出をなくしたことにより、4月の保護者会の時間を担任と保護者の交流の場として有意義に使えるようになった。選出に関する先生方の負担がなくなった。
- 紙での情報発信をなるべく減らし、先生方の配布・回収の手間を軽減することができた。

## 課題や今後の取り組み

- 会費を無くし、任意の「協力金」としたため予算と集金額に差が生じることが想定されるが、運営委員会の協議にて柔軟な予算執行を行うことで対応。

## その他の取り組み紹介

- 保護者同士の交流を目的としたヴォイストレーニングの実施
- 近隣中学校、小学校との連絡会実施（年3回）
- 学校周辺道路一体にゾーン30プラス指定要望の提出

## 基礎情報

所在地

東京都町田市

全校生徒数

688名

地域の特徴

- ・町田市は東京都の最南端（島しょ部を除く）に位置し、都内では3番目に人口が多く、東京都のベッドタウンとしても知られている。
- ・東京都から半島状に飛びだして、神奈川県に囲まれているという特殊な立地だが、海、山方面も、都会方面もアクセスしやすいまち。

学校の特徴

- ・明治41年開校
- ・教育目標は「〇やさしく◎かしこく〇たくましく」。
- ・目指す児童像は「①思いやりをもち、互いを認め合い、助け合う子ども【やさしく】  
②目標をもち、最後までやり遂げる子ども【かしこく】  
③心身健康で、全力で取り組む子ども【たくましく】」である。

組織構成

【本部役員】  
会長：1名  
副会長：3名（保護者2名、教員1名）  
書記：3名（保護者2名、教員1名）  
会計：3名（保護者2名、教員1名）

- ・本部役員の人数や役割については、年度ごとに状況を見て臨機応変に決定する。
- ・本部役員の希望者が誰もいなかった場合、本会は種別休止とする。

担当課：東京都教育庁  
地域教育支援部生涯学習課

## 障害種別の垣根を超えた繋がり～時代に沿ったPTA活動～

キーワード コロナ禍での活動の工夫／多様な働き方・暮らし方／教員・保護者の負担軽減／デジタル技術活用

### 取組概要

多様な働き方やコロナ禍での活動を考慮し、役員会、本部MTGなどをハイブリッド形式で実施し効率を図った。また、デジタル技術を用いて、行事に取り組み、常に種別合同で開催、誰もが参画できる活動スタイルの構築を目指した。

### 取り組みの詳細

#### コロナ禍における主なPTA活動

##### ①新入生に対するPTAアプローチ

保護者が校内へ出向く機会が極端に減ったため学校紹介動画を作成した。また、本校マスコットキャラクターの絵描き歌を作成し、知ってもらうよう工夫した。※動画内の歌は、本校一部児童・生徒に協力してもらった。

##### ②夏まつり

OG有志団体による和太鼓演奏の披露や、教職員バンドの演奏、移動水族館、就労支援事業所も参加し、物品の販売を行うことで、協働活動をしながら、交流を持つことが出来た。

##### ③種別合同学習会

障害種別を理解し合える内容となる学習会を開催した。今年度は、自閉症スペクトラム障害（ASD）当事者の方を講師に招いて、経験談を交えた講義を行った。参加者からは大変参考になったと多くの感想が寄せられた。

##### ④クリスマスコンサート

参集形式が難しかった為、近隣高等学校の吹奏楽部の演奏を事前に撮影し、クリスマスライブに合わせてクリスマスコンサートとして動画配信を行った。学校の職員がドローンによる撮影に協力してくれた。



しんちゃんのおかきうた  
<https://youtu.be/PekCpFunPDA>



ももちゃんのおかきうた  
<https://youtu.be/7Ukww-isdE>



### 成果

- ・コロナ禍でも工夫をしてPTA活動を知ってもらうことが出来た。
- ・保護者同士の交流が再び持てるようになった。

### 課題や今後の取り組み

- ・多様な働き方や環境により、PTA活動に対する意識の変化にも対応しながら、会員間の繋がりをこれまで通り、保てるように活動していく。

### その他の取り組み紹介

- ・学年委員の活動を知る機会として、学期毎（年3回）の学年委員の活動紹介レポート誌を初の試みで発行。
- ・毎月PTA便りを発行（4月8月以外）
- ・デジタル帳簿の導入
- ・ベルマーク
- ・車椅子を海外に送る会
- ・地域の児童・生徒、保護者と交流が充実するよう、学校や地域の各種委員会や会合を通じて、自治会長との連携に努めた。

所在地

東京都江戸川区

全校生徒数

450名

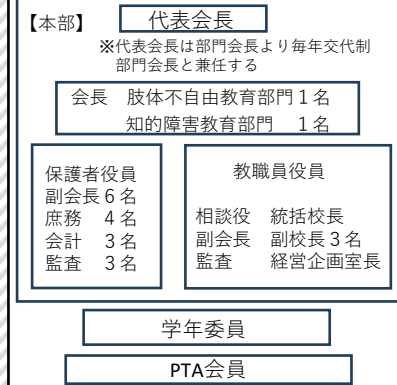
地域の特徴

江戸川区は東京23区の東南部に位置し、東に流れる江戸川を挟んで千葉県と向かい合う。23区の中で4番目に大きい区です。特産品として小松菜、伝統工芸として江戸風鈴があります。小松菜の収穫量は東京都内40%を占めています。

学校の特徴

北側に位置する知的障害教育部門（N）と南側に位置する肢体不自由教育部門（S）の併置校。通称『虹の橋』と呼ばれる廊下で繋がる大規模な特別支援学校。敷地面積は東京ドームのグラウンドの広さの約2倍です。創立10周年目を迎えます。

組織構成



担当課：東京都教育庁  
地域教育支援部生涯学習課

## 人と人を繋げるPTA活動 ～All have fun PTA～

キーワード ICT推進 / ニューノーマル / ハイブリッド運営 / 人と人の繋がり / 開かれたPTA

## 取組概要

人の繋がりを念頭におき、ICT推進を軸として集合/オンラインのハイブリッド型運営やホームページ開設/専用SNSによる情報発信を实践

## 取り組みの詳細

新しい活動方法を模索し、ICTを活用した以下複数の施策を实践し、人と人の繋がりを意識しながらのPTA運営効率化にチャレンジ

## 「専用端末導入」

役員専用

役職毎に配布  
(Chromebook)

委員会専用

専用PCインク付き  
で4委員会に配布  
(Chromebook)

PTA共通

Office対応で常設  
(Surface)

## 「オンライン環境の整備」

Wi-Fi環境



自己負担軽減

常時設置とモバイル  
で利便性を向上

クラウド環境

51-G (10TB) で  
全データクラウド格納

Mtg環境



どこでも参加

プロジェクター  
への導入

Web会議

## 「専用HP開設」

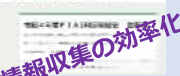
活動報告

情報公開の徹底

総会実施

役員/委員会活動  
の情報発信

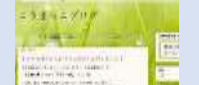
資料公開と電子承認の実施



情報収集の効率化

## 「専用SNSでの情報発信」

こうまっごぽが

広報活動と役員  
活動報告の統一  
(年間84記事)への導入  
活動の見える化

LINE公式アカウント

PTA主導で  
即時情報  
発信有料化に伴い  
オープンチャット  
試行中

## 成果

- 書面発信/承認のデジタル化でペーパーレスと作業効率化を実現
- 専用HP/ブログによる情報集約で見える化とセキュリティ確保を実現

## 課題や今後の取り組み

- ICT環境の周知と更なる活用促進
- 的確な集合開催での繋がり確保
- 環境維持のための財源確保

## その他の取り組み紹介

- 人との繋がりを創るための「音楽」を軸としたイベントの開催
- 学校へ行く/関わる動機付けとして、各活動時の教室見学の実施
- 地域(町内会主催)を支援しての子ども中心の各イベントの再開
- 活動をやめるのではなく、再開して変化させることを大前提とした

所在地

神奈川県横浜市

全校生徒数

532名

地域の特徴

校区は横浜市の北東に位置し、横浜市内最大規模町内会である日吉本町西町会のエリア内にあります。通学路に信号が設置されていないことに表されるように、地域が一体となって子どもたちを守り、様々な活動を展開しています。

学校の特徴

学校は、横浜市港北区に位置しており、令和5年度に創立50周年を向かえます。「あいさつ」「たてわり」「歌」を3本柱を大切に、子どもたちの満足度を高める活動を積極的に展開しています。

組織構成



<役員会:任期2年>  
会長1名/副会長2名/会計2名/書記2名

担当課:神奈川県教育委員会  
生涯学習課

## 保護者の声をカタチに ～学用品をリサイクルして学校の備品に～

キーワード

保護者の負担軽減 / SDGs / 学校教育支援 / 運営の工夫 / コロナ禍の活動

### 取組概要

コロナ禍で小中合同バザーが開けないため、学用品を安く手に入れたい保護者と卒業などで不要になった学用品を持つ保護者の意見を参考に、学校と協議して学用品と制服のリサイクルに取り組む。

### 取り組みの詳細

#### ○学用品をリサイクルして学校の備品に

学校と協議して、鍵盤ハーモニカと算数セットを学校備品にするため、保護者に不要となったものの寄付を呼びかけ、備品化を実現。

このほか書道セットや絵の具などの学用品の寄付もありました。

#### ○制服リサイクル

授業参観や通知表渡しなど保護者が集まるときに実施。チラシで寄付のお願いと無償配付を案内。



▲学用品（左）と制服（右）をリサイクルボックスで回収

### 成果

- 保護者間には助け合いの精神が、児童には物を大切にする精神が醸成された。
- 児童の学習環境の充実が図られた。

### 課題や今後の取り組み

- 寄付された学用品や制服の管理のほか、継続して実施するためには保護者の協力が欠かせない。検証を重ねながら進めていく。

### その他の取り組み紹介

- 責めたりしま宣言…コロナ禍での思いやりの心を育むため、金沢市立南小立野小学校育友会さんの「責めたりしま宣言」に賛同し、鳳至小PTAも宣言。学校のほか公民館などにポスターを掲示。
- 金管鼓隊支援…資源物回収や親子楽器清掃を通し、輪島市民まつりにおける金管鼓隊の活動を支援。

所在地

石川県輪島市

全校児童数

161名

地域の特徴

輪島市は能登半島の北西にあり、豊かな緑と海に囲まれている奥能登で最も大きい市です。鳳至小学校がある地域は漁業のほか、伝統工芸「輪島塗」の生産が盛んです。400年続く海女漁を含む「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されており、日本遺産第1号に認定された「能登のキリコ祭り」やユネスコ無形文化遺産に登録された「面線年頭」など伝統行事が連続と引き継がれています。

学校の特徴

輪島市の中心部に位置し、近くに輪島港や輪島朝市があります。明治6年の輪島小学校を前身として昭和30年に創設。教育目標は「創造性豊かで、頼もしい人づくり」。伝統的金管鼓隊バレードが地域の皆さまに愛されている学校です。

組織構成

評議員会		委員会	
役員会	委員長	幹事	副幹事
会長	副会長	書記	庶務
副会長(若手)	副会長(若手)	会計	広報
委員(2名)	委員(2名)	学芸	生活
委員(2名)	委員(2名)	保健	安全
委員(2名)	委員(2名)	図書	環境
委員(2名)	委員(2名)	体育	音楽
委員(2名)	委員(2名)	文化	その他

担当課：石川県教育委員会  
生涯学習課

## P T A活動を効果的かつ魅力的に P R

キーワード 広報活動 / ケーブルテレビ / 相互理解 / 地域人材の活用

## 取組概要

村のケーブルテレビと連携してP T Aの活動を紹介すると共に、効果的に告知を行い、会員相互の交流を促進し、家庭のみならず地域住民から愛されるP T Aを目指して活動を進めている。

## 取り組みの詳細

## ケーブルテレビでP T A活動を紹介・告知



- ・ P T A 作業（草刈り）の様子を紹介。
- ・ インタビューを取り入れ、会員の声が届くよう工夫。



校長先生コーナー  
で活動を P R



文字放送を活用し  
地域へ告知



教職員と保護者の  
交流も楽しく放映

## 成果

- ・ 広報活動により、学校・家庭・地域の相互理解が深まり、活発で取り組み甲斐のある活動が展開されている。

## 課題や今後の取り組み

- ・ 役員や会員の負担軽減に向け、組織構成の検討やICTの活用など、現在の取組をさらに工夫していく。

## その他の取り組み紹介

- ・ 保護者の声を受け、P T Aによる夏休みのプール開放を実施。
- ・ 地域の人材を生かした活動を展開。（分散型オリエンテーリング、安全対策など）

所在地

長野県北安曇郡小谷村

全校生徒数

110名

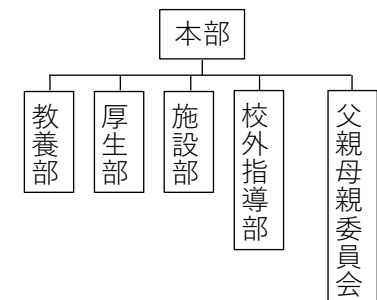
地域の特徴

長野県の最西北部に位置する小谷村は、二つの国立公園に囲まれた自然豊かな村である。歴史は古く、貴重な遺跡や文化財が残る。村全体で子どもを育てる風土があり、地域と学校の連携が盛んである。

学校の特徴

2006年に開校し、校舎はオープンスペースな教室や昇降口への図書館配置等協働・交流が生まれるよう設計され、異学年の縦割り班学習や自然体験といった特色ある教育活動が展開されている。

組織構成



担当課：長野県教育委員会  
文化財・生涯学習課



## PTA活動の積極的な発信

キーワード デジタル技術活用による情報発信／地域連携・子育てネットワーク

### 取組概要

ホームページ、連絡アプリ、PTA会報誌を活用した積極的なPTA活動・研修会等の情報発信

### 取り組みの詳細

#### 【PTA活動の発信】

・ホームページでPTA活動、総会、各委員会の取組を公開したり、PTA実施の研修会やフォーラム、地域の学習会・講演などの案内を掲載したり、会員に積極的に情報提供を行っている。



#### 【会報誌『城址』の発行】

・広報委員が中心となり、PTA会報誌「城址」を発行している。学校行事への参加・協力やPTA主催事業の様子といった活動の報告、学校や生徒の活動等の報告を行うなど、積極的に会員に情報を発信している。



### 成果

- ・情報発信による家庭、学校、地域の連携協力と会員の学びの深まり
- ・地域資源の相互連携・協働による子育て支援ネットワークの拡充

### 課題や今後の取り組み

- ・PTAへの加入手続き、学年委員選出方法の変更に向けて、企画委員会で検討、総会にて会員へ確認を行いながら、継続した組織運営に取り組んでいる。

### その他の取り組み紹介

- ・京都府立学校PTA指導者研修会の実施と口丹地域ブロックにおける各校PTA活動の交流
- ・地域と連携した登校見守り活動
- ・地域の小・中・高・特支学校PTA連合会との交流会

所在地

京都府南丹市

全校生徒数

468名

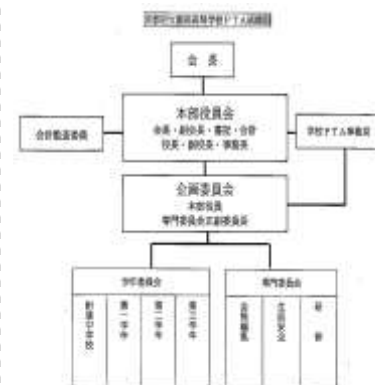
地域の特徴

京都府のほぼ中央部に位置し、日本最後の城・園部城の城下町として文化遺産を有し、大堰川や園部川、国指定名勝「るり溪」など豊かな自然や景観が広がる。

学校の特徴

園部城の跡地に建ち、シンボルとなる園部城「城門」（校門）があり、歴史とともにグローバルな視点を基盤とした「Global & Aware」（世界へ、思いやりをもって）を教育目標としている。

組織構成



担当課：京都府教育庁指導部  
社会教育課

## ICTを活用した効率的な運用と負担軽減で参加しやすいPTA

キーワード デジタル技術活用 / 保護者の負担軽減 / 効率的な運用

## 取組概要

連絡ツールアプリを導入したことで、保護者同士の交流が活発化し、運用が効率的になった。広報を紙媒体からアプリ配信へと切り替えることで、ペーパーレスとなり認知度も上がった。

## 取組の詳細

共働き家庭が多いため、連絡ツールBANDを活用して、会議等のスケジュールを共有し、保護者の都合に合わせている。会議を欠席しても議事録をBANDにアップすることで、情報の共有化を実現。常に連絡が取り合える環境にあるため、会議までに相談したいことをBAND内で進めることができ、運営がスムーズに行われている。本部役員、各専門部ごとにトーク機能を設けることで、より密度の高いコミュニケーションを図ることができ、保護者同士の交流も増えた。



広報誌制作をWordからCanvaに変更し、紙媒体配信からWeb化（PDFによる配信）に変更。クラウドアプリのCanvaを制作ツールに使用し、1人がWordで制作していた環境から、それぞれが自宅からアクセスして、共同制作環境に変更。生徒を通した紙での配布から、連絡網ツールの「すぐーる」を活用することで、直接保護者に届けることが可能となった。Web化で印刷費用を削減できるほか、直接リンクを貼ることで、アンケートなどに答えてもらいやすくなった。

## 成果

- ・連絡ツール「BAND」で意見交換が活発化し、会議の時間短縮にもつながった。
- ・クラウドアプリ「Canva」を使うことで、広報誌制作における個人負担が軽減できた。
- ・配信アプリ「すぐーる」の活用によるペーパーレス化ができた。

## 課題や今後の取組

- ・PTA活動が役員内だけでなく、会員全体に伝わるための取り組み。
- ・PTAと生徒会との連携。

## その他の取組紹介

- ・校区内の各小学校PTAと連携して見守り活動を実施。
- ・コロナ禍のため会議をZoomで実施。

## 所在地

奈良県天理市

## 全校生徒数

428名

## 地域の特徴

天理市の南部地区で、田園地帯も多く穏やかな地域である。学校支援活動も多く、立哨などのボランティアも活発に行われている。

## 学校の特徴

「すべてに生き生き!」～躍動する学校  
・地域と共に歩む学校～を目指す学校像として、地域と共にある学校づくりを目指している。  
学校図書館の充実と読書の普及を図るため、生徒に対する読み聞かせの活動を定期的に行っている。

## 組織構成

- 本部役員
  - 会長 1名
  - 副会長 3名
  - 庶務 3名（内1名は教員）
  - 会計 2名（内1名は教頭）
- 専門部会
  - 人権家庭教育部 5名
  - 保健安全部 5名
  - 進路対策部 6名
  - 広報部 6名

担当課：奈良県教育委員会事務局  
人権・地域教育課

# 保護者と学校が協働して変化し続ける育友会

キーワード DX化／安全・衛生管理／意見・要望の実現

## 取組概要

活動内容の見える化とDX化の推進により参画方法を多様化し、業務負担の軽減に取り組む

## 取組の詳細

### DX（デジタルトランスフォーメーション）化推進の取組

- ①会議・会合のWEB化  
実開催とZoom活用による会議のハイブリット化
- ②共有チャットシステムの活用  
タイムリーな情報共有のためのDX化  
(グループLINEの活用等)
- ③各種行事や教育活動の情報発信  
文化祭等の各行事を動画配信するなどのDX化



【DX化推進】

### 安全・衛生管理の取組

- ①新型コロナウイルス感染防止対策  
集会会議の開催方法の見直し(会議のWEB化、書面決議の実施)
- ②熱中症防止対策推進  
熱中症予防対策品の導入及び授業中における対策の強化
- ③生徒の安全管理体制強化  
安全管理に関する情報共有と生徒への迅速な注意喚起の実施



【対面及びリモートによる文化祭】

### 保護者の意見・要望の実現化

- ①登下校管理システムの導入  
学校と協議し、システム導入を実現
- ②制服リサイクルの推進  
卒業や成長に伴いサイズアウトした制服を提供してもらい、希望者へ配布する活動を実施
- ③自動販売機のリプレース  
生徒のニーズや現状に合った自動販売機を設置



【制服リサイクル】

## 成果

学校における各種課題に対して、育友会が主体となり、問題解決に向けた取組を実践することで、育友会としての使命を果たせた。また、これらの活動を通して、子どもたちを中心に、保護者と育友会のコミュニケーションが深化し、信頼感の醸成が図られた。

## 課題や今後の取組

文化祭や体育大会等の学校行事に係る情報発信や広報活動について、個人情報保護等の観点から、適切かつ丁寧に慎重な推進を図っていく。

## その他の取組紹介

- ・研修会や講演会への参加
- ・駅や電車内等でのターミナル指導
- ・年2回の広報誌発行
- ・生徒会と意見交換
- ・国際交流活動の支援

## 基礎情報

所在地

奈良県御所市

全校生徒数

450名

地域の特徴

御所市は奈良県の大和野の西南部に位置し、金剛山・葛城山が峰を連ねる山麓の東南部の丘陵地から平野の広がる緑豊かな所です。また、悠久の歴史に彩られた文化遺産を今に伝える歴史ロマン漂う生活文化都市です。

学校の特徴

本校は、自然科学分野で社会に貢献し、日本の未来を牽引する人材の育成をめざす中高一貫教育校です。その前身は明治37年創立の御所女子技芸学校に遡り、現在、平成23年度から連続してスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、先進的で充実した理数教育を展開しています。

組織構成

■顧問	2名(うち1名地域)
■役員	
会長	1名
副会長	5名(うち2名地域)
書記	3名(うち1名地域)
会計	2名(うち1名地域)
会計監査	2名
人権・生活指導部長	1名
文化体育・家庭教育部長	1名
広報部長	1名
進路指導部長	1名
■委員	
学級委員	各学年より4名以上
■各専門部	
人権・生活指導部	文化体育・家庭教育部
広報部	進路指導部

担当課：奈良県教育委員会事務局  
人権・地域教育課

## 全員参加のPTA活動をめざして！

キーワード 一人一役／責任と自主性／学校運営協議会との連携／大トーク大会

### 取組概要

PTA会員が全員参加できるように、「一人一役」を担うこととし、研修や奉仕活動への参加、広報紙の作成、あいさつ運動などに責任と自主性を持ち活動できる体制づくりを行っている。

### 取り組みの詳細

#### ICTを活用した効果的な運営

メールの一斉配信システムにより各専門部の連絡を行うことで、煩雑な文書作成や連絡封筒の管理を不要とした。

また、講演会では、対面とオンラインのハイブリッド型で企画することで、直前の中止や延期の心配をなくした。併せて、アーカイブを残し、いつでも視聴できるようにしている。

#### 実態に応じた組織の運営

令和4年度には、生徒の多様性を考慮した新制服の導入に向け、「制服検討委員会」を立ち上げた。

この委員会を立ち上げる際には、全家庭に通知し、募集をかけた他、小中学校の全家庭を対象にメールの一斉配信システムを通じたGoogle formsでのアンケートを実施し、結果を広報紙で伝えている。

#### 地域の未来を考える「大トーク大会」

校区内の児童生徒・保護者のみならず、地域の大人も参加する「大トーク大会」を行い、400人程度の参加者を小グループに分け、「SDGs」や「地域の未来を考える」といったテーマで語り合い、想いを共有することで、地域連携の土台づくりを行っている。



#### PTA会報の全戸配布

PTA広報紙を自治会を通して全戸配布し、記事中でPTA活動の報告を行っており、活動の地域発信に力を入れている。これにより、地域住民の理解が深まりコミュニティ・スクールの活動の活性化にも寄与している。

(第44回全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞)



### 成果

- 各専門部ごとの保護者会員が意欲的に活動しており、それを教員がサポートする姿が多くみられる。
- ハイブリッド型の研修会や、メールの一斉配信システムの活用により、コロナ禍でもPTA活動を実施することができた。

### 課題や今後の取り組み

- コロナが5類に移行しても、子どもたちの安心・安全な育ちや保護者の学びの機会の確保を考え北条中学校を盛り立てていける活動を模索する。

### その他の取り組み紹介

- 町のあいさつ運動とも連携し、朝の通学時間帯に生徒への声かけを行っている。
- 職場体験学習では、学校の呼びかけに応じて、保護者が勤務する事業所を紹介し、生徒の受け入れに協力している。

所在地

鳥取県東伯郡北栄町土下100番地1

全校生徒数

182名

地域の特徴

鳥取県の中央部に位置し、白砂青松の景観を誇る日本海を北に臨む自然に恵まれた環境にある。産業は農業を中心としており、北条ぶどう・砂丘なかいも・らっきょうなどの栽培が盛んである。高規格道路の建設が急ピッチで進んでいる。

学校の特徴

「主体的に学び、自己実現に向かう、こころ豊かな生徒の育成」を教育目標とし、地域に根ざし、開かれた学校づくりをすすめている。生徒が前面に立ち、成功体験につなげるための取り組みを、地域・保護者と連携し推し進めている。

組織構成



担当課：鳥取県教育委員会  
事務局社会教育課

## コロナ禍でも、ICT活用で、学校と家庭や地域をつなげるPTA活動

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / 合理的配慮 / デジタル技術活用 など自由に（できれば複数）

### 取組概要

P T A が、教職員、保護者、校医等地域との連携を図り、I C T を活用して、子どもや学校の様子や睡眠・食事などの生活習慣づくりの重要性等の動画配信を行ない、コロナ禍でも、工夫をして取り組んでいる。

### 取り組みの詳細

#### 1 ICT活用（動画配信・メール配信）

コロナ禍で、学校行事や授業参観がなく、子どもや学校の様子が見えにくくなった。そこで、各専門部が一体となり、ICT活用による活動を実施した。

##### (1) 動画配信

（作品例）『学校へ行こう』：八岐大蛇が校舎等を紹介して回るもの。2023年に校舎改築により解体される校舎の映像は、卒業生にも好評だった。



学校へ行こう！～本館～

この他、保護者（子育て・家庭教育）や子ども（人間関係づくり等）を対象とした講演、学校行事や子どもが調理にチャレンジできるような動画の配信

##### (2) メール配信

『すこやか週間』（保幼小中が連携した活動）や『しまね家庭の日』に合わせたP T A 役員からのメッセージの配信

#### 2 地域との連携

(1) 校医との連携：生活習慣を整えるために、睡眠の重要性、メディア利用について、校医が子どもや保護者に説明した。



### 成果

- ・コロナ禍で、学校と保護者・地域を繋ぎ、従来の活動を継続させた。
- ・ICT活用し、情報を多くの方に発信し、情報ツールとして定着させた。

### 課題や今後の取り組み

- ・動画配信から集合型にし、部活動参観日やあいさつ運動を実施し、子どもや教職員との連携を深める。
- ・活動の活性化による保護者・教職員の負担感の増大が懸念される。

### その他の取り組み紹介

- ・保護者の積極的な取組により、地域連携が深まり、地域学校協働活動推進員や交通見守りボランティアの登用にも繋がっている。
- ・動画配信サービスを行なう際に、保護者が保護者・生徒に向けて、個人情報の取り扱いなどへの啓発を行なった。

所在地

島根県出雲市

全校生徒数

573名

地域の特徴

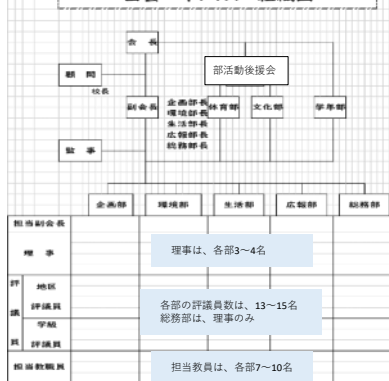
県内で2番目に人口の多い出雲市の行政や産業、交通の中心的地域として発展してきた。校区内には県立有数の進学高校や出雲科学館があり、教育に熱心な地域である。また、保幼小中と医療が連携をとり、生活習慣作りにも長く取り組むなど、家庭教育力を高めている。

学校の特徴

昭和22年開校。2つの大規模校と1つの小規模校の3校を校区としている。県知事の揮毫「自己実現」の自然石があり、文武両道に秀で、吹奏楽部を筆頭に全国大会に数多くの部活動が出場し、地域行事への協力も行なっている。

組織構成

出雲一中PTA 組織図



所在地

岡山県瀬戸内市

全校生徒数

97名

地域の特徴

瀬戸内市の西南部に位置し、西に流れる吉井川と東にひらけた千町平野に囲まれ、豊かな自然に恵まれた田園地帯だったが、交通の便が良いこと、近くに市役所、市民病院、学校、あらゆる業種の店舗などがあることから、近年は住宅団地が急増し、核家族化が進んできている。

学校の特徴

昭和46年に邑久小学校の統合に伴い、邑久幼稚園として発足をする。平成17年より3歳児保育を実施、平成21年より預かり保育が実施される。保護者の幼稚園教育に対する関心は高く、園行事やPTA活動にも熱心に参加し、幼稚園に対しても協力的である。

組織構成

PTAの組織は、会長、副会長2名（年長組・年中組より選出）、会計の四役、研修部、学級部、交通部がある。保護者一人一人がいずれかの部に所属し、「無理をせず、できる人ができる形で、子どもたちの笑顔のために」を合言葉に活動をしている。保護者同士も笑顔で会話ができる関係を築くことを願っている。

担当課：岡山県教育庁生涯学習課

## 「できる人ができる形」に活動を見直し、主体的な参加を促進

キーワード

会員や役員活動の見直しによる負担軽減 / 参加方法の工夫 / 役員アイデアの反映

### 取組概要

会員や役員活動の見直しを行い、負担軽減を図った。ベルマークの集計作業を家庭でできるようにしたり、研修会は保護者が受けた研修を選ぶ形にするなど、参加方法の工夫を行った。

### 取り組みの詳細

#### ○会員や役員活動の見直し

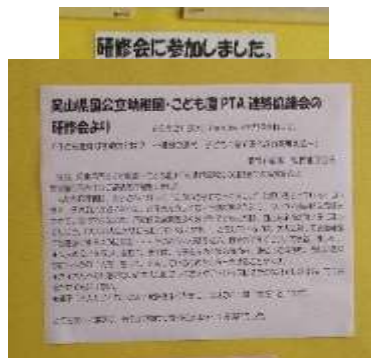
会員の活動や役員の仕事内容の見直しを、役員と部長で検討し改善を図った。担当者が園に集まって行っていたベルマークの集計作業を家庭でできるようにするなど、負担のない参加方法に変更した。年間3回の研修は事前に希望を取り、保護者が受けた研修を自分で選んで参加する形にした。

#### ○研修会での学びを保護者と共有

役員アイデアで、役員や会員が研修会に参加した後、研修会報告を作成して掲示し、子育てなどについて学んだ内容を保護者と共有できるようにしている。



〈講演会で、保護者同士が意見交換をする様子〉



〈研修会参加後に、研修内容を掲示し保護者間で共有〉

### 成果

- ・活動内容等の見直しにより、会員が子どもたちのために自ら考えて活動に参加できるようになり、保護者同士の連携が一層図られるようになった。
- ・研修会は事前に希望をとる形にしたことで、保護者が必要な研修を主体的に学ぼうとする姿が見られた。

### 課題や今後の取り組み

- ・今後も、保護者が「参加してよかった」「自分も取り組んでみたい」と感じられるような内容のPTA活動になるよう工夫していく。

### その他の取り組み紹介

- ・保護者の有志が絵本の読み聞かせを行い、園と連携しながら、子どもたちに豊かな体験ができるようにしている。



〈絵本の読み聞かせボランティアによる、絵本コーナーの壁面装飾の様子〉

## 「できるヒトが、できるときに、できるコトを」を推進するための取組

キーワード 多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / 合理的配慮 / デジタル技術活用 など自由に（できれば複数）

### 取組概要

デジタル活用による P T A 会員の負担軽減への取組

### 取り組みの詳細

- 総会は書面総会を行い、総会資料は紙ではなく、QRコードを読み込んで閲覧できるようにするとともに、承認・非承認をGoogleフォームで回収している。
- 松島小 P T A のホームページを開設し、いつでも情報を見ることができるようになっている。
- 各種講演会の案内のデータ配付やアンケートの電子化など、作業の効率化を図っている。



( P T A ホームページ )



( 総会資料 )

### 成果

- ・会員の都合に合わせた情報の提供や収集ができた。
- ・配布物などの準備作業の軽減になった。

### 課題や今後の取り組み

- ・ P T A 会員が見たくなるようなホームページの内容を工夫をする。

### その他の取り組み紹介

- ・地域団体と連携した交通安全の取組（情報交換、横断幕設置など）
- ・登校見守り活動の工夫（できる場所での活動）
- ・役員会等の会議の工夫（対面とオンラインも含んだ形態）

所在地

福岡県福岡市

全校生徒数

1, 034名

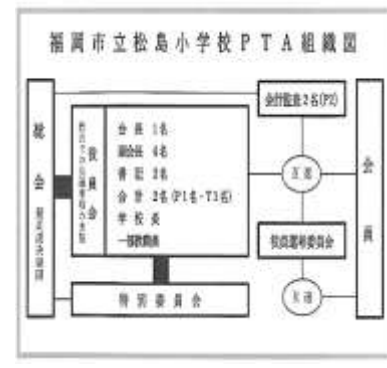
地域の特徴

高速道路の I C が近隣にあり、国道 3 号が校区を通っているため、マンションや倉庫、物流会社が多く混在した地域である。  
歴史的にも、元防衛跡や戦国時代の史跡が校区近隣にある。

学校の特徴

令和 4 年度に創立 30 周年を迎えた比較的新しい学校である。  
近年、交通のよさからマンションが増え、児童数が 1, 000 人を越える大規模校である。

組織構成



## 組織の活動を盛り上げながら、生徒を応援 ～きっと勝つと～

キーワード 組織・運営の工夫 / 魅力ある広報誌づくり / 学校教育支援

### 取組概要

- 学校祭でカフェを設置し、保護者の参観を後押し
- 生徒、職員、保護者から川柳を募集し、広報誌に掲載
- 受験勉強や試合・大会の応援の思いを込めて、お菓子を配布

### 取り組みの詳細

#### 《西高カフェ》

学校祭の文化祭で、後援会の役員と保健委員会を中心に『西高カフェ』と称する案内所・休憩所を開設して、参観に来場した保護者向けにお茶とお菓子を無料提供し、活動を盛り上げている。



#### 《後援会だより『薫楠』の作成》

後援会だよりの作成にあたり、学校や生徒の様子を題材にした『西高川柳』を募集。教育活動の写真も多数取り入れ、読者の興味を引くような書面づくりに力を入れている。



#### 《善哉会にかわるコロナ禍での支援》

受験前の3年生の激励も込め全生徒への応援活動として実施していた善哉会にかえ、コロナ禍では「きっと勝つ」という意味を込めて、お菓子「KitKat」を配布し生徒を応援している。



### 成果

- ・後援会の活動に参加することで、子どもの学校生活の様子を垣間見ることができるようになるという特典を会員にアピールできた。
- ・後援会だより「薫楠」で後援会の活動の状況などを広く知らせることができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・コロナによる行動制限が解除された後の支援活動をどのように充実させることができるか取組の見直し、検討を行っていききたい。
- ・後援会総会の出席者数を増やしていきたい。

### その他の取り組み紹介

- ・朝の登校巡視を実施し、生徒の挨拶や交通マナーの状況を把握。
- ・拡大制服検討委員会で、新しい制服について保護者の視点から意見を述べ、生徒、職員とともに協議。

所在地

佐賀県佐賀市城内1丁目4-25

全校生徒数

792名

地域の特徴

佐賀城跡地の一角に位置し、周辺には、県庁や博物館・美術館、放送局等が隣接しており、歴史の面影と県の行政・文化の中心を感じる環境の中にある。

学校の特徴

藩校弘道館の流れを継承する本校は、「質実剛健」「鍛身養志」を校是とし、グローバル社会で通じる高い知性と広い視野を培い、将来の日本・世界をリードする人材の育成を目指している。

組織構成

会長1名、副会長13名、監事2名を役員とし、生徒の居住地区ごとに2名ずつ選出された常任委員と合わせて40名程度の常任委員会を組織。常任委員は保健委員会、広報・研修委員会、進路指導委員会の専門委員会を年度ごとにローテーションで担当。

担当課：佐賀県教育委員会  
事務局学校教育課



## 家庭と学校が連携した健全な生徒の育成を目指して

キーワード スマートフォン校内持ち込み／進路セミナー／広報誌／学校行事

### 取組概要

4つの専門委員会が学校と連携しながら、それぞれの特色ある活動を通して生徒・保護者や地域への支援を行った。特に、近年は健全育成委員会を中心に、緊急事態や登下校時の連絡手段としての携帯電話・スマートフォン校内持ち込みについて、生徒や保護者と意見を交わしながら検討を重ねて導入に至った。



### 取り組みの詳細

#### 【専門委員会の活動】

- 健全育成委員会
- ・携帯電話・スマートフォン校内持ち込みの導入に向けた生徒や保護者との意見交換及び学校と共に行ったルールづくり。
- ・地元のお祭り等における巡視指導を通した見守り活動。
- ・体育大会における駐車場の交通整理及び巡視。
- 進路対策委員会
- ・P T A主催で1年生対象の進路セミナーを開催。地域の警察署・消防署・病院や民間企業など16事業所から講師を招いて講話を実施。
- 調査広報委員会
- ・P T A広報誌「白帆」を年に3回発行。昨年は「成年年齢引き下げ」について特集記事で解りやすく解説。令和5年5月で第100号の発行。
- ・文化祭(桐鳳祭)では例年、壁展示「対馬神社～絵馬に願いを～」を企画。生徒が自由に夢や願い事を書けるように作りの絵馬を作成した。
- 母親委員会
- ・文化祭(桐鳳祭)で食品バザー、持久走大会で豚汁の炊き出しを行っている。昨年度は新型コロナウイルスの影響で調理の実施を控えた。
- ・体育大会では受付業務を担当した。



#### 【スマートフォン校内持ち込みに向けた取り組み】

- ① 緊急事態や登下校時の連絡手段としての携帯電話・スマートフォン校内持ち込みについて生徒総会において生徒が協議。
- ② P T A健全育成委員会で保護者が協議し、その後保護者アンケートを実施。
- ③ P T A評議員会において生徒がプレゼンテーションを行い、生徒と保護者の意見交換を実施。
- ④ 学校でS N S等に関する人権教育を実施。
- ⑤ W E B投票を行い承認された後、学校と共にルールづくりを行い導入に至る。

### 成果

- ・インターネットやS N Sの使用に関する注意や家庭でのルールづくりについて提案した。
- ・生徒・保護者・教員が意見を交わしながら検討ができた。
- ・学校と連携した取り組みができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・生徒減少に伴うP T A活動や組織・会則の見直し。
- ・P T A活動の活性化及び参加者の増加に向けた検討。
- ・保護者や地域の声を汲み取りながら学校と連携した取り組みを目指す。

### その他の取り組み紹介

- ・体育大会やオープンスクール前に学校敷地内の除草作業を実施した。
- ・コロナ禍において、総会をW E B上で実施した。
- ・校種を超えた幼小中高合同のP T A研修大会が対馬市で実施され、情報共有を行い親睦と融和を図った。



## 基礎情報

所在地

長崎県対馬市

全校生徒数

382名

地域の特徴

対馬は朝鮮半島を臨む国境に位置し、古代から大陸からの文化や貿易の窓口で、歴史と自然豊かな島である。南北82kmの細長い島で、面積の9割は森林で、対馬海流の影響を受けた温暖な気候である。国の天然記念物のツシヤマネコをはじめ、対馬でしか見ることのできない動植物が多く生息している。また、世界でも有数の野鳥の観察地になっている。

学校の特徴

明治38年に開校し、創立118年を迎える。普通科と商業科に加え、平成15年から普通科に設置された国際文化交流コースが平成31年には学科に移行し、3学科体制となった。国際文化交流科は全国の公立高校で唯一、韓国語と韓国文化を専門的に学ぶことができる。長崎県の離島留学制度により全国から生徒が集まり、下宿や寄宿舎で生活する。平成27年には長崎県内では初めてユネスコスクールに認定された。

組織構成

会長	1名
副会長	3名
顧問	4名(校長を含む)
理事	5名
専門委員長	4名
(健全育成・進路対策・調査広報・母親) 評議員 31名(クラス代表)	
会計	1名
監査	2名

担当課：長崎県教育庁生涯学習課

所在地

大分県大分市

全校生徒数

568名

地域の特徴

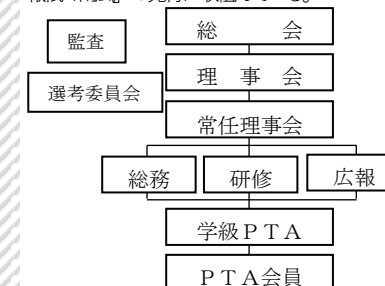
大分市郊外の自然豊かな丘陵地に位置し、周辺には小・中学校や国立大学が存在するなど静かな環境での教育を行っている。周辺にはいくつかの団地が造成されたことで住宅地に囲まれており、体育祭や文化祭に地域の方を招待する等、交流を深めている。

学校の特徴

昭和58年開校し、創立40周年。「地域とともにある学校」として、地元大分の行政・教育・産業・医療・福祉をリーダーとなって支える人材育成を目指す。平成30年に専門的職業人材を育成する「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」の指定校になっている。敷地内には西日本最大級のグラウンドを持つ。

組織構成

理事、常任理事、専門委員会、学年委員会、一般会員によって構成されている。専門委員会には、総務・研修・広報がある。総務部は「凱風録」の取組、研修部は「研修録」、広報部は広報紙「南風」の発行に取組んでいる。



## 「『南風プロジェクト』～先輩から後輩へのメッセージ～」

キーワード

南風プロジェクト／キャリア教育の視点／ICTの活用／あいさつ運動

### 取組概要

「本音で語り合える場所をつくろう『南風プロジェクト』」を立ち上げ、地域企業に就職した同窓生に講師を依頼するなど、同窓会とPTA、学校が連携した取組。生徒のキャリア教育を進めている。

### 取組みの詳細

#### <南風プロジェクト>

平成17年度に「生徒と教職員、保護者が本音で語り合える場所をつくろう」という趣旨でPTA主催の座談会を始めた。企業に就職した同窓生に講師を依頼し、仕事の内容や魅力を話してもらう等進路対策の講義を実施。

キャリア教育の視点を取り入れ「人生について」をテーマに、学校生活についての様子や進学・就職についてのアドバイスや、社会人として働くことの意義、やりがいや苦労している事などを50分の講義形式で行っている。毎年1年生が対象。



#### <ICTの活用>

ICTで一人一人に合った学びを実践。  
ICTを活用した授業・課題・各種調査を実施。



#### <あいさつ運動>

生徒会、部活動生、教員が、朝校門の前に立って行うあいさつ運動「Good morning 南高校生」に取組んでおり、PTAも参加。

### 成果

・将来の進路選択を目の前に、先輩方の貴重な話や体験談を聞くことで、生徒たちにとって職業観を養う良い機会となっている。

### 課題や今後の取組み

- ・役員などに活動参加への強制は行わず、SNSを利用してすべての会員に発信し自主参加を求める。
- ・南風プロジェクトの職業講話の講義時間と質問時間の配分や、参加講義の職種だけでなく他の職種についても聴く機会を作る。
- ・参加できなかったPTA会員に動画配信をするなど、講義の内容を広く周知する。
- ・プロジェクト終了後、生徒や教師・PTA対象に実施したアンケート結果では、「良かった」「役に立つ」という肯定的な回答が多く人材育成の取組として継続していく。

### その他の取組み紹介

- ・「草刈り隊」による校内の清掃活動

## コロナ禍における地域と子どもたちを元気にする取組

キーワード コロナ禍でもできること / 教師・保護者の連携 / 地域活性化

### 取組概要

学校と地域の活性化を目指し、地域と子どもたちを元気にする取組の推進。みんなが元気になる活動を目指して！

### 取り組みの詳細

◆コロナ禍で、できること。  
地域を元気に、子ども達を元気に！  
クリスマスイルミネーションで、  
地域を明るく、地域に愛される学校  
としての取組を令和2年度から始め  
ました。保護者、教職員、生徒が協  
力して飾りをつけます。もちろん  
片付けまで。



◆コロナで3年間を過ごした卒業生に、生徒会と協力し作成した卒業生への想い、プロジェクションマッピングをプレゼント。「これからの人生、何があっても、頑張る」のエールと共に。



◆制服リサイクル  
新入生から無料で利用できます。  
利用者多数、SDGsの活動はPTA  
から発信します！



### 成果

- ◆コロナ禍を3年間過ごした卒業生に向けて、生徒会と協力したプロジェクションマッピングの提供
- ◆地域と子ども達を元気にすることを目的にしたクリスマスイルミネーションの設置

### 課題や今後の取り組み

- ◆行事の際に行っている、生徒指導部と連携した取組を、通年とおして実施できるようにする。

### その他の取り組み紹介

- ◆母親委員会による新入生から利用できる制服リサイクル(無料配布)活動。
- ◆学校行事と連携したPTA活動。  
体育祭の熱中症対策、球技大会バザー出店等
- ◆那覇市と協力した夜間巡視
- ◆行事の際の交通整理

所在地

沖縄県那覇市

全校生徒数

1044名

地域の特徴

本校は沖縄本島の玄関口にある那覇空港からモノレールで3駅の場所に位置し、NHAマラソンのゴール地点の奥武山公園と隣接する場所にある。またラムサール条約登録地となった漫湖も近くにあり世界的にも希少な渡り鳥のクロツラサギが渡来することでも有名である。

学校の特徴

本校は昭和38年に創設され、昨年(令和4年)60周年を迎えた。明朗、清廉、誠実、敬愛を校訓とし、普通コース、情報ビジネスコース、芸術教養コース、をおき、文武両道を目標に、生徒が自主的に活動する学校を目標としている。

組織構成

PTA組織図



担当課：沖縄県教育庁  
生涯学習振興課

沖縄県

沖縄県立八重山農林高等学校PTA

ささえあい

## 支笑愛～笑顔で支え合う保護者と教師の取り組み～

キーワード

雰囲気作り / 支え合い / 学校行事 / LINE / 愛情 / 地域行事 / 離島

## 取組概要

日本最南端の農業高校を支える保護者の取り組み。さらに、笑顔で、生徒と教師を支えるPTA活動により、学校行事と地域行事、教育活動に参画している愛情いっぱいの取り組み。

## 取り組みの詳細

## 1 笑顔で意見交換・提案できる雰囲気作り

PTA活動の計画は、会長・理事が冗談を交えつつ会員意見と新規提案事項を集約している。そのため、理事会、総会では、会員が主体的に考え、笑顔がいっぱいです。また、生徒の学校生活の様子がお手軽にわかるよう、学校公式LINEを開設し、教師側から生徒の学びの様子（昨年度は127回！）、学校行事、PTA行事の案内を行い、生徒・教育活動のためにPTAができることを日頃から考えて頂いている。



## 2 教育活動に愛情を注ぐ取り組み

学校伝統行事「では、PTAが行事の見守り（駐車場整理、バザー）と、応援飲料・食事を全校生徒と教職員に提供している。また、地域伝統行事「豊年祭」で披露される生徒旗頭、郷土芸能の指導には、多くの保護者が関わっている。さらに、卒業後にほとんどの生徒が島から離れるため、母親部が中心となって生徒へのメッセージ、自炊のススメ、先輩からの失敗談などについて記載した「新生活応援ブック」を作成・配布している。



## 成果

- ・笑顔で保護者・教師が意見交換しやすい組織運営ができた。
- ・生徒と教職員を保護者が具体的に応援・支援する組織運営ができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・ICTを活用したPTA活動の情報共有によりPTA活動参加促進を促す。
- ・制服のリユース活動と進路支援活動に取り組む予定。

## その他の取り組み紹介

- ・卒業生のコサージュは、生徒が育てた花を使って、保護者が作成を行っている。
- ・毎年、PTA研修会を企画し、学び考え、支援に繋げる活動に役立てている。

## 基礎情報

所在地

沖縄県石垣市

全校生徒数

316名

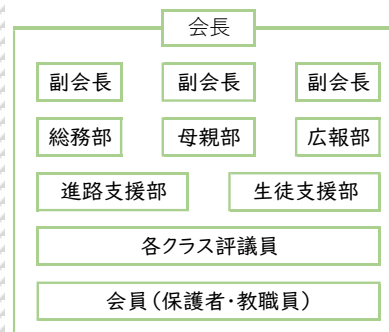
地域の特徴

日本最南端である八重山諸島は、11の有人島と多くの無人島によって成り立っています。それぞれの島で、個性ある自然・動植物、文化・芸能、農業・漁業があり、活気で溢れています。


学校の特徴

創立86年。日本最南端の農業高校である。「未来へ夢を描き拓く」を学校生活のテーマとし、生徒一人ひとりの「豊かな人間性」と「生きる力」を育む、地域に根ざした農業高校です。

組織構成



担当課：沖縄県教育庁  
生涯学習振興課



テーマカテゴリー

地域協働・連携

## 「ともに心豊かな子どもを育む」～地域資源を活かした地域学校協働活動～

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール / 各種団体と連携した教育活動 / 地域資源や人材の活用

### 取組概要

学校と家庭、地域との連携・協働により、地域資源や人材を活かした教育活動が展開されている。また、地域の各種団体と連携を図りながら、地域の宝である「心豊かな子どもを育む」取り組みを充実させている。

### 取り組みの詳細

#### 継承活動

弥栄小学校では、継承活動として運動会や学習発表会、地域のお祭りで児童が練習の成果を披露している。保護者会員の多くは、自身が小学生の時に取り組んだ経験があり、時期になると郷土芸能保存会と一緒に児童の指導にあたるなど、伝統芸能継承活動をPTAが支えている。



#### 文集制作



長年発行しているPTA親子女集は、昨年度21集目となった。学校とPTAが協力して製本を行い、子ども達の大切な思い出の記録になっている。また、学校創立30周年の際には、地域の方々に寄稿を依頼し、協賛金を募って記念文集の作成にあたった。

#### 学校支援

地域住民及び卒業会員は、学校や地区行事を支え、PTA環境整備にも積極的に協力するなど、「自分の母校・地域の学校」という意識が高い。少子高齢化に伴う会員減少の中、地域の力を結集し、学校を支える積極的、献身的な地域住民の取り組みが、教育活動を展開する上で、大きな力となっている。



### 成果

- ・ 伝統芸能継承活動をととしての地域との連携の活性化
- ・ 学校と家庭、地域の連携協働の推進
- ・ 21年目を迎えたPTA親子文集作成
- ・ 広報部による手作りのPTA会報作成

### 課題や今後の取り組み

- ・ 少子高齢化に伴う新入学児童の減少
- ・ 地域人材高齢化に伴う後継者の育成
- ・ 地域住民の協力体制の維持及び継続

### その他の取り組み紹介

- ・ 環境整備奉仕作業へ親子での参加
- ・ 地域人材を活かした学習活動支援 (図書館整備、家庭科裁縫学習支援)
- ・ 情報メディアとの上手な付き合い方 (域内幼稚園・中学校と同時に実施)
- ・ メールアンケートによる意見集約 (コロナ禍で参集が難しい会議など)

#### 所在地

岩手県一関市弥栄

#### 全校児童数

35名

#### 地域の特徴

学校創立以来、学校・PTA・地域の三者が協力して子ども達の健全育成に取り組んでいる。特にPTAの活動を通じて、「ともに心豊かな子どもを育む」という意識が、地域に浸透しており、地域の結束力・支援体制も充実している。

#### 学校の特徴

旧弥栄小学校と旧平沢小学校が学校統合し、一関市立弥栄小学校として平成2年度に創立。岩手県PTA連合会表彰、岩手県教育表彰などPTA活動に関する受賞歴が数多くあり、地域が学校の教育活動を支えている。近年、大日本養蚕会より「蚕を学ぶ奨励賞」を受賞するなど、地域資源や人材を活用した教育活動を展開している。

#### 組織構成

PTA会員(保護者・教員)全員が各専門部に所属し、学校と家庭・地域の連携及び情報共有が図られている。令和4年度～学校運営支援協議会が設置され、家庭や地域の声を学校運営に活かす仕組みが整備されている。

(役員)

会長	1名
副会長	3名 (内女性1名)
常任幹事	若干名 (地区PTA会長・専門部長)
監事	1名
事務局	2名 (学校から)

(専門部)

研修部・・・会員の研修と連携、継承活動  
環境整備部・・・教育環境の整備、校外生徒指導  
広報部・・・PTA会報/作成等の広報活動  
地区PTA・・・各行政区ごとに組織  
学年PTA・・・各代表が必要に応じて召集

担当課：岩手県教育委員会  
生涯学習文化財課

## 地域・家庭・学校が一丸となって取り組むPTA活動

キーワード コミュニティ・スクール / 学校教育活動支援 / 地域・家庭・学校の連携 / 子供の健全育成

### 取組概要

子供たちが明るく元気に過ごせるように地域住民・保護者・教職員が連携し、コミュニティ・スクールと連動して展開する様々な行事や活動

### 取り組みの詳細

#### 【子供が大人と豊かに関わる挨拶運動と交通安全指導】

毎月、児童の登下校時に合わせて、十数か所の横断歩道や交差点等で挨拶運動及び交通安全指導を行っている。地域、学校、家庭の重点目標として「自分から先に挨拶」と「友達のよさを認め合う」を設定し、それぞれ子供に働きかけている。



挨拶運動・交通安全指導

#### 【鹿野フェスタ（PTA祭り）】

例年7月末に、PTA主催の「鹿野フェスタ」を開催している。「子供たちの笑顔あふれる学校」を目指して、楽しく趣向を凝らしたお祭りを企画している。



鹿野フェスタ

#### 【地域団体との連携】

読み聞かせボランティア「どんぐり山の会」と連携して毎月子供たちに読み聞かせを行っている。また、毎月行っている土曜開放においては、体育振興会と一緒にバドミントンや卓球など子供たちが楽しめるイベントを企画・実施している。



読み聞かせ

土曜開放



### 成果

- ・学校運営協議会で目指す子供像と各立場でできることを共有。
- ・様々な行事や活動の実施。

### 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍前に行っていた行事や活動再開の在り方。  
※再開の有無。企画内容の検討（以前のノウハウを知る者が少ないなど。）
- ・コミュニティ・スクールとの連携強化。

### その他の取り組み紹介

- ・年2回の広報誌作成・発行
- ・アプリを活用した周知・広報
- ・会員の意見を反映しやすい組織構成
- ・学級懇談会等での情報交流促進

## 基礎情報

所在地

宮城県仙台市

全校児童数

411名

地域の特徴

南側には商業の中心街を控え、北側には緑豊かな台地が広がる。近くには旧石器時代の遺跡や弥生時代の水田跡などがあり、太古から人々が生活を営んでいた地域である。鹿野の地名とゆかりの深い、鹿除土手や塚古墳跡、木流し堀など、数多く史跡も見られる。

学校の特徴

昭和33年に開校し、65年目を迎える。本校の象徴である「つのぶえ」になぞらえて、「つよい体（心身の健康）」「のびる力（学力向上）」「ふれる優しさ（いじめ防止・思いやり）」「えがく未来（キャリア教育・地域活動）」を重点目標として掲げ、学校・家庭・地域一丸となって、子供たちの育成に当たっている。

組織構成

- PTA総会
- 本部役員会（会長、副会長、会計）
- 運営委員会
- 常置委員会（総務、広報・研修、厚生、健全育成）
- 各地区委員会
- 学年委員会
- 役員選出委員会
- 各学年委員長、各地区委員会から1名
- ※登録制の活動及び地域連携活動  
（夏休みプール開放、夏祭り、鹿野フェスタ、学区民運動会、学年行事）

つのぶえをふく子 ↓



担当課：宮城県教育庁生涯学習課  
（仙台市教育局生涯学習課）

# みんなで育てる しみずっ子 ～学校・保護者・地域が連携したPTA活動～

キーワード 学校行事への参加協力 / 地域人材活用 / 学校地域の活性化

## 取組概要

学校・保護者・地域が連携し、地域の子どもたち「しみずっ子」の健やかな育成に関わっている。その取組として、全校縦割り班活動「わくわく町たんけん」、商店街のPR活動、小正月行事への参加等を行った。

## 取り組みの詳細

### 地域のよさを再発見！ 全校縦割り班活動「わくわく町たんけん」

全校縦割り班活動「わくわく町たんけん」では、PTA会員や「あきた美郷づくり株式会社」の協力を得ながら、町のシンボルである「清水（湧水）」を巡り、地域の歴史、風土、文化、産業に携わる地域住民と触れ合う活動を行った。



### 商店街をPR！ 6年総合「ポスター・マップ制作」



6年生の総合的な学習の時間で行った地元商店街をPRするポスターやマップづくりの際には、PTA会員の協力を得ながら町内のイラストレーターをゲストティーチャーに招いたり、見学の引率補助を行ったりすることを通して、子どもたちが地域の「人・もの・こと」と関わる学習活動を支援した。

### 小正月行事体験！ 「天筆上げ・カマクラ集会」 「雪宮づくり」

地域の小正月行事と連動しながら「天筆上げ・カマクラ集会」を開催し、PTA会員の協力の下、全校児童による天筆制作や住民活動支援組織「みさぼーと」と連携・協働した雪宮づくりを2月上旬に行った。



## 成果

学校・保護者・地域が一体となり、様々な活動を通して、地域の子どもは地域で育てるという意識がより一層高まった。また、一連の活動が地域活性化につながるのと同時に、子どもたちの地域への愛着心を育み、双方向での成果につながっている。

## 課題や今後の取り組み

コロナ禍で途絶えていたPTA活動を再開するに当たり、十分に引き継がれていない活動内容がある。以前の内容をそのまま継承するのではなく、現状に合ったよりよい活動内容を検討していく必要がある。

## その他の取り組み紹介

PTA会員が各専門部に所属し、主体的に活動を行った。具体的には、研修・広報部による講演会の企画・運営と会報の発行、校外生活指導部を中心とした「見守り&あいさつ強調週間」の実施等である。また、学校評価の結果を受けて、PTA役員と学校職員による「学校運営検討委員会」を開催し、あいさつ・読書・家庭学習等について話し合い、共通理解を図った。

### 所在地

秋田県美郷町

### 全校生徒数

249名

### 地域の特徴

本校学区は、清水に代表される自然や古くからの文化等、地域に学ぶべきものが多い。

また、商店街の賑わい創出など、地域活性化に向けて、地域と学校が一緒に活動する機会が増えてきている。

### 学校の特徴

平成22年4月に、六郷小学校と六郷東根小学校の2校が統合し、令和4年度で13年目を迎える。地域住民は教育に関心が高く、保護者もPTA活動等に熱心である。児童は恵まれた自然環境と人的環境の中で、のびのびと生活している。

### 組織構成

美郷町立六郷小学校PTA会員  
(保護者195名・教員19名・賛助1名)

- ・PTA執行部  
保護者(会長・副会長2名・監事2名・幹事3名) 教員(校長・監事1名・幹事2名)
- ・学年部(部長・副部長・各専門部学年役員)
- ・専門部  
研修・広報部(各学年2名・教員4名)  
厚生部(各学年2名・教員4名)  
体育部(各学年2名・教員4名)  
校外生活指導部(各学年2名・教員4名)



秋田県

秋田県立ゆり支援学校PTA

## 地域に花いっぱい、子どもと保護者の笑顔咲くPTA活動

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール / PTA活動



### 取組概要

花いっぱい活動、クリーンアップなど、様々な活動に保護者が積極的に参画する「地域」「学校」「PTA」の協働した取組

### 取り組みの詳細

#### \*\*花いっぱい活動\*\*

作業学習で育てた花の苗を、生徒と保護者が地域の施設「鳥海山木のおもちゃ館」、「アクアパル」の花壇や河川敷に植栽した。



#### \*\*ゆり花壇整備活動\*\*

夏休み中の3日間、地域にある学校花壇の除草や水やりを行った。早朝から保護者、教職員が集まり、花壇の整備をした。



#### \*\*本荘マリーナクリーンアップ\*\*

市主催で毎年開催されている地域の海水浴場のクリーンアップに多くの地域の方々と一緒に参加した。兄弟も含め家族総出の参加もあった。



### 成果

- ・保護者のPTA参加率が高く、どの専門部も積極的なPTA活動ができた。
- ・コロナ禍でも家庭でできる活動（ベルマーク収集や雑巾作り）を工夫した。

### 課題や今後の取り組み

- ・地域への理解と余暇活動の拡充  
→親子レクリエーションに卒業生も招待し、一緒に活動していきたい。
- ・より多くの保護者が参加できる工夫  
→活動日をできる限り早く周知したい。

### その他の取り組み紹介

- ◇文化部 総務部 研修・広報部の各活動◇
- ・ベルマーク、テトラバック収集・整理（年3回）
  - ・絵本の読み聞かせ活動
  - ・親子レクリエーション
  - ・校報（年3回）の編集と発送作業
  - ・保護者学習会（進路講話、障害理解）
  - ・環境整備（校舎の窓拭き、校内装飾）
  - ・PTA役員による「あいさつ運動」

## 基礎情報

所在地

秋田県由利本荘市

全校生徒数

115名

地域の特徴

学区は、主に由利本荘市（人口約7万人）とにかほ市（人口約2万2千人）である。鳥海山や日本海、子吉川など四季折々美しい自然に囲まれた漁業、農業、工業の街である。PTA活動が活発であり、保護者の参加率が高い。

学校の特徴

平成11年創立。小学部、中学部、高等部があり寄宿舎を併設している。「地域とともに歩み、地域で育ち、地域に必要とされるゆり支援学校」を目指す学校像に掲げている。県内特別支援学校で唯一コミュニティ・スクールを導入しており、地域の理解と協力のもと、交流活動や地域との協働活動が活発に行われている。

組織構成

◇PTA役員◇

PTA会長 1名  
PTA副会長 4名（各学部より1名・校長）  
会計監査 2名  
寄宿舎代表 1名  
寄宿舎会計監査 1名  
専門部役員 各学年より1～4名

◇PTA専部◇

文化部 総務部 研修・広報部

\*PTA会員とPTA会長を除いたPTA役員は3つの専門部隊に所属する。

担当課：秋田県教育庁生涯学習課

## 子ども会育成会、他校PTAと連携した中学校進学前の「子ども交流事業」

キーワード 他校PTAとの連携 / 育成会との連携 / 中一ギャップの解消

### 取組概要

- ・中学校進学前に、複数の小学校の児童が交流できる場をつくっている。
- ・子ども会育成会、他校PTAと連携して事業に取り組んでいる。

### 取り組みの詳細

#### 【子ども交流事業の概要】

PTAが主体となって、子ども会育成会、そして他校PTAと連携して楯岡中学校に進学予定の3つの小学校の児童が集う交流会を企画・運営している。

中学校進学を控えた時期に、子供たちの早めの出会いと融和を図りながら、中一ギャップの解消についてPTA活動の面からも資することができるよう、20年以上にわたって継続して実施している。

#### 【交流の内容】

楯岡中学校に進学予定の小学校のPTA及び育成会の保護者が見守る中、児童が集い、アイスブレイクやエンカウンター的な要素を含んだグループワーク等を通して交流を深めている。最近では、1人1台のタブレットを活用し、おすすめの国を英語で紹介し合うなど、日頃の学習と関連付けて交流を図る活動も実施している。



### 成果

- ・進学前の不安解消になっている。
- ・保護者同士の交流にもなっており、中学校における円滑なPTA活動につながっている。
- ・近年はICTを活用しており、交流を図るツールとして有効であると考えている。

### 課題や今後の取り組み

- ・児童がさらに交流を深めることができるようにしたい。そのために、新たな時代に合わせた交流の在り方（年間の見通しや本事業の位置付け）について、学校、子ども会育成会と連携し、探っていく。

### その他の取り組み紹介

- <郷土愛醸成活動の展開>
- ・総務部による「甌岳親子登山」
- ・「徳内まつり親子参加」と生活環境部による見守り

#### 所在地

山形県村山市

#### 全校児童数

527名

#### 地域の特徴

市の中央部を最上川が流れる自然豊かな地域である。近年は、人口減少が進み、学校の統合化が進んでいる。学区は、旧伊州街道沿いに位置し、江戸時代の宿場町を核として発達した地域であり、伝統や歴史を大切にする気風がある。

#### 学校の特徴

本校は、明治6年に開校した地域の中学校である。進学先である楯岡中学校では、市内の3つの小学校から進学した児童と一緒に学んでいる。本校児童はその7割を占めている。

#### 組織構成

OPTA (会員数 411名)  
**【三役等】** 会長 1名  
 副会長 3名 (内1名校長)  
 監事 2名  
 顧問 1名 (前年度PTA会長)  
**【総務委員会】** 総務委員長 1名  
 各学年委員長、各専門部長、母親委員長が所属  
**【PTA学年委員】**  
 学年委員長 1名 学年副委員長 1名  
 学級代表 1名 学級委員 各クラス5名  
**【専門部】** 生活部 文化部 体育部 広報部  
**【母親委員会】** 母親委員長 1名  
 副母親委員長 1名  
 母親委員 各クラス1名

○子ども会育成会 会長1名 副会長2名

## 保護者間や地域のネットワークを構築し、主体的に参加、研修するPTA活動

### キーワード

保護者間の連絡体制の構築 / 保護者同士の呼びかけ / 地域の資源の活用 / 保護者と学校の協働

### 取組概要

参集が難しい保護者間のネットワークを整理し、保護者に話し合いや研修会等の報告が行き届くようにした。そのことで学校と共に児童を育む保護者の意識が高まり、地域資源を活用し、より一層絆が深まった。

### 取り組みの詳細

- ・本事例は、米沢養護学校長井校の取り組みを報告する。
- ・コロナ禍による参集型の会議・研修等の縮小や紙面開催の対応のためSNSを活用した保護者のネットワークを構築した。
- ・ネットワークを活用することで事業所見学などのアンケートを短時間で集計まで行うことができた。
- ・構築したネットワークを活用し、学校との話し合いや研修会、勉強会での報告を全員が共有できるようになった。
- ・研修等の内容の共有により、多くの情報を求めて外部の研修会に積極的に参加するようになった。
- ・子どもを育てる意識の高まりを支え、保護者からのニーズに応えるため研修会の運営へのサポート、会場の確保、機器的準備などを学校として行った。
- ・事業所見学会時には、やむをえず参加できなかった会員や今後の活動の記録にするために、事業活動報告書を保護者が作成し、会員間で共有できるようにした。
- ・地域資源の活用として、並置する小学校との関わりにも取り組み、プランターに花を植えて学校環境の美化に努めた。
- ・並置する小学校とのPTA活動では、同じ校舎で学習活動を行うことから、役員が積極的に保護者に呼びかけ、早朝清掃などに参加した。



### 成果

- ・情報共有によって学校と共に育てる保護者の意識が高まった。
- ・与えられた活動ではなく、主体的に活動する保護者が増えた。

### 課題や今後の取り組み

- ・活動が多くなることの負担感にどう対応していくか。
- ・コロナ前の活動を知らない保護者が増えてきたので事業の継続性。

### その他の取り組み紹介

- ・保護者、教員、児童が共に余暇活動が充実するようにポッチャやモルックを購入し活用する予定。
- ・親子給食などコロナ禍のためできなかった取り組みをどのように進めていくか話し合っていく。



#### 所在地

山形県米沢市・長井市

#### 全校児童生徒数

168名

#### 地域の特徴

置賜地域は山形県の南に位置し、飯豊山地、吾妻山地、奥羽山脈等に囲まれた地域である。米沢市は伊達氏や上杉氏にまつわる史跡が多い。多くの古典桜が点在し、置賜さくら回廊が楽しめる。米沢牛、ブドウなどグルメ観光も充実。

#### 学校の特徴

教育目標は『自分から自分で人間を育てる』、本年度の重点は ①「児童生徒を真ん中に置いた教育」の推進 ②障がいの多様化に対応した指導・支援の充実 ③児童生徒に必要な資質・能力の育成などを掲げている。置賜地域唯一の特別支援学校で本校、分教室、2つの分校を設置し、置賜地区全域を学区としている。県内有数の児童生徒を抱える特別支援学校である。多様な障がい、実態の児童生徒が在籍し、訪問教育も行っている。

#### 組織構成

米沢養護学校のPTA役員として本校に会長と副会長、分校の長井校、西置賜校に副会長をおいている。専門部として広報部、研修部、育成部、母親委員会を設置し、それぞれに部長・委員長をおいている。また、顧問、事務局、監事、書記をおいている。運営機構としてPTA総会、PTA三役会、PTA委員会、専門部会、小学部会、中学部会、高等部会を設置している。2つの分校である、長井校、西置賜校においては、副会長を中心に独自の活動を展開している。

## 地域全体で子どもたちの成長を支える社会の実現を目指して

キーワード 地域との連携、健全育成、郷土愛の醸成

### 取組概要

地域と密接に連携し、様々な体験（昔語り、木工、スポーツなど）ができる土曜教室や田畑の栽培活動等を実施している。

### 取り組みの詳細

#### ◆「土曜教室」の開催

完全学校週5日制への対応事業として平成14年度より実施している。PTA、地区公民館等の地域の各種団体と学校が協働して計画、運営に当たり、年4回実施している。

毎回地域の方々が講師となり、昔語り教室、木工教室、グラウンドゴルフ教室、門松作り教室など多彩な教室を企画・運営している。



#### ◆地域と連携した田畑の栽培活動

PTAでは栽培委員会を組織し、ビニールハウスの設営、学校畑の耕作、田植え、除草、草刈り、稲刈り、脱穀、収穫祭など、児童の活動の準備や運営の補助をしている。さらに、地域の人材から農業科支援員を募り、年間を通して活動に協力をいただいている。



#### ◆学校教育活動支援組織「堂島小学校同窓会」

歴代のPTA会長経験者を中心に「堂島小学校同窓会」を組織し、各種事業を支援している。

### 成果

- ・地域全体で子どもたちの成長を支える活動に寄与している。
- ・様々な体験が可能な環境を提供し、児童の健全育成や郷土愛の醸成に寄与している。

### 課題や今後の取り組み

- ・会員数が減少する中、持続可能な組織とするため、スリム化や効率化を図っている。

### その他の取り組み紹介

- ・SNS等の活用により事前に情報を共有し、会議時間の短縮を図っている。
- ・会報を年3回発行し、児童やPTA活動の様子について広く周知している。

所在地

福島県喜多方市

全校児童数

59名

地域の特徴

堂島小学校区は、周囲に田園風景が広がる大変落ち着いた環境の中にあり、稲作を中心に農業が盛んな地域である。  
また、PTA活動が活発な地域であり、保護者の参加率が非常に高い。

学校の特徴

明治6年に開校し、約150年の歴史と伝統を誇っている。保護者や地域の方々の教育活動に対する理解と協力は大きく、各種事業に対し多くの支援があり、学校と地域が一体となって子どもたちの活動を見守っている。

組織構成

○保護者・教職員会員数 56人

○運営組織

<役員>	<専門委員会>
・会長	・育成委員会
・副会長	・厚生委員会
・監事	・栽培委員会
・幹事	・土曜教室委員会
	・地区委員会

担当課：福島県教育庁社会教育課  
(喜多方市教育委員会)

# 人間性豊かな躍動感あふれる生徒の育成を目指したPTA活動

キーワード 地域学校協働活動 / 外部人材活用 / PTAのOBとの連携

## 取組概要

P T A と学校及び地域団体が連携・協働して「資源ゴミ回収」「あいさつ運動」「スキー宿泊学習における技能指導」など様々な活動をしている。また、専門的な知識をもつ外部人材の活用により、「認知症サポーター養成講座」や「千代川ファームでの耕作」等を実施している。

## 取り組みの詳細

- 地域団体と連携・協働した教育活動の実施
  - ・ P T A 主催の資源ゴミ回収の実施  
「全戸に案内し、地区の P T A 会員による資源ゴミ回収」
  - ・ 市 P 連の紹介による、認知症サポーター養成講座の実施  
「介護保険課、社会福祉協議会、介護協議会の協力」
  - ・ 地元スキークラブと連携したスキー宿泊学習  
「 P T A の O B による技能指導及び交流」
- 外部人材の活用
  - ・ P T A と P T A の O B が協働し様々なゲストティーチャーを活用  
「更生保護女性会、ライオンズクラブ、いばらき P U S H、 J A 等」



地域と連携した資源ゴミ回収



市 P 連の紹介による認知症サポーター養成講座



P T A の O B によるスキー宿泊学習技能指導



更生保護女性会と連携した禁煙教室

## 成果

- ・ 地域団体との連携・協働や外部人材の活用により P T A の活動が活発になり学校の活性化に大きく寄与している。
- ・ 生徒の体験活動の機会が増えることで、人間性豊かな生徒の育成を図ることに結びついている。

## 課題や今後の取り組み

- ・ 少子化により、会員数の減少や地区単位での活動が縮小している。
- ・ P T A 本部役員数や専門委員会の在り方を見直すとともに、活動のスリム化を検討していく。

## その他の取り組み紹介

- ・ 千代川ライオンズクラブの協力を得て「薬物乱用防止教室」や、いばらき P U S H による「心肺蘇生法等の実習」、下妻市民の会の協力による「あいさつ運動」を行った。
- ・ 「千代川ファーム」と名付けた畑で、地元の J A と連携して、さつまいもを栽培し、文化祭で販売していたが、コロナ禍のため地元給食業者に販売した。

## 基礎情報

所在地

茨城県下妻市鎌庭 2 7 7 7 番地

全校生徒数

2 6 3 名

地域の特徴

地域は、東は小貝川、西は鬼怒川の間に位置し、学区には小学校が 2 校ある。保護者は、協力的で生徒の体験活動を積極的に支援している。学校行事や P T A のボランティア活動にも進んで参加する家庭が多く、地域から愛され、地域の一員であることを実感できる地域である。

学校の特徴

昭和 3 3 年に創立された学校である。東西に大きな川があり、その川に挟まれた肥えた土地を利用して、体験型の学習が盛んである。学校では、タブレット端末を活用した授業が多く取り入れられ、生徒は下校後も、先生とタブレットでのやり取りを実施している。部活動も盛んで、野球部をはじめ、多くの部活動が全国中学校体育大会に出場している。卒業生には、阪神タイガースの大山選手がいる。また、生徒会活動が活発に行われ、生徒主体の活動を目指し、校則改正やタブレットの正しい使い方などを、生徒自身で行っている。

組織構成

主な組織は、本部役員、専門委員会（成人教育、校外指導、環境整備、広報）、各学年委員会となっている。各専門委員会には、各学年の教職員が 1 名ずつ所属するとともに、各学年委員会には、学年主任が所属し、保護者と教職員が協力して円滑な運営を図っている。また、本部役員と地域団体の連携して活動することで、外部人材を学校の行事に招聘し、人間性豊かな躍動感あふれる生徒の育成を目指した取組を推進している。

担当課：茨城県教育庁総務企画部  
生涯学習課

# 「栃高耐久レース」～時代を切り拓くリーダー育成を地域とともに～

キーワード 地域学校協働活動 / 地域、保護者との連携 / 主体性育成 (リーダー育成)

## 取組概要

栃高耐久レースは27kmのコースを走り抜く、本校最大の行事であるが、保体厚生委員会を中心に、全保護者に協力が呼びかけられ、250名ほどの保護者が路上警備、給水所、救護等で、大会運営を支援する。

## 取り組みの詳細



全長27kmになる「栃高耐久レース」は、地元警備員や医師、給水場の確保など近隣住民の理解と協力が不可欠であるとともに、路上警備、給水、救護に約250名の保護者の協力を得ることで実施ができています。生徒が自己の限界に挑むことで時代を切り拓くリーダーとしての資質を向上させています。



## 成果

- ・27kmを走り自己の限界に臨むことで自己管理能力を育成できる。
- ・地域の協力に感謝し、他者を思いやる心を養うことができる。

## 課題や今後の取り組み

- ・コース沿道での地域の献身的な協力がなければこの行事は成しえない。
- ・近年、コースの交通量が増加し、実施に伴う危険も増している。

## その他の取り組み紹介

- ①100名程からなるPTA評議員会を年4回実施し、学校と保護者を繋ぐ太いパイプ役を担っている。
- ②コロナ禍の大学視察(東京大学、慶応大学)は、オンライン形式で大学のヴァーチャルツアーや卒業生へのインタビューなどを実施した。
- ③交通街頭指導を年4回実施した。

所在地

栃木県栃木市

全校生徒数

712名

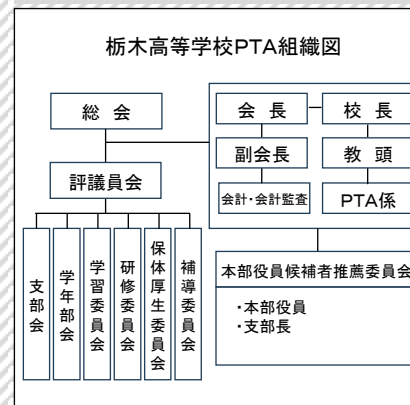
地域の特徴

現在も蔵造りの建物を中心とする歴史的な街並みが残っており、多くの観光客の関心を集めている。今日では、とちぎ小江戸ブランドとしても認知され、賑わいを呼んでいる。

学校の特徴

本校は創立127年の伝統を持つ男子校である。校内には文化財に登録されている明治・大正時代の建造物が3棟あり、現在も使用されている。校舎と校庭の間には旧県庁の堀が流れ、錦鯉が悠然と泳いでいる。

組織構成



担当課：栃木県教育委員会事務局  
生涯学習課

# ふるさと名立を愛し、語り、想い続ける子どもたちを、みんなで守り育む

キーワード

学校・家庭・地域の連携 / コミュニティスクール / 小規模校 / 小中連携 / 地域学校協働活動

## 取組概要

学校運営協議会や地域学校協働活動組織を舞台にした、地域・学校・家庭の強力な連携による子どもたちの育成活動

## 取組みの詳細

### 1. 地域学校協働活動組織と一体化した学校運営協議会

中学校と合同で設置した学校運営協議会は、委員全員が、地域学校協働活動組織である「名立の子どもを守り育む会」の運営委員から選出されている。運営協議会で出された学校やPTAの課題は、守り育む会の運営委員会で受け止められ、共有・検討されて、その実現や解決に向けた活動に繋がっている。

### 2. 地域の子どもは地域で守る

昭和24年3月に起こった名立機雷爆発事件では、64人の住民が亡くなり、そのうち未成年の子どもたちは53人であった。その保護者や地域住民の気持ちや思い、風化させずに後世に語り継ぐと、毎年3月に開催されている「名立・平和を願う日記念事業」には、PTA役員が、企画の段階から関わっている。

### 3. 地域の子どもは地域で育む

・「心をつくる」取組の一環で、児童生徒が訪問し合い、地域住民や保護者も加わって、小中学校合同であいさつ運動を展開している。  
・防犯協議会や警察、名立の子どもを守り育む会とも連携して、年2回、通学路やバス停、子ども110番の家などの点検を行っている。秋季は、夕方の暗くなった通学路で、危険箇所がないか点検を行い、改善の必要があれば、市をはじめ関係機関に要望を行っている。



令和5年3月の名立・平和を願う日記念事業は、広島平和資料館の副館長を招聘し、広島からの取組みから学んだ。

## 成果

- ・過去にPTAが働きかけたことで、地域住民と学校が協働して名立区運動会を開催したことがあり、それ以来、地域住民は、学校を訪れる“ハードル”を強く意識していない。
- ・地域住民と関わる教育活動をたくさん経験した小学生は、中学校に進学すると、地域に貢献する活動をしたと意見を出し、生徒会が主体となった海岸清掃や公共施設の整備などの活動につながっている。

## 課題や今後の取組み

- ・子どもたちは、優しく思いやりがある半面、小規模校のためか指示待ち傾向があり、自分で考え判断し、課題の解決に取り組もうとする主体性の育成を図る必要がある。
- ・関係者だけでなく、さらに多くの一般住民を巻き込んだ活動に繋げる必要がある。

## その他の取組み紹介

- ・学年を越えて他者の頑張りや良さを見つけ、カードに書いて送り合う「たからカード」の取組を、PTAも参画し、年間を通じて行っている。
- ・コロナ禍の中、元気で賑やかな地域づくりのため、公民館やまちづくり協議会、小中学校と協働して、地域の偉人を題材にした演劇「夢輝いて」を上演するプロジェクトに参画し、子どもたちだけでなく会員の保護者も、出演や当日運営などに関わった。

所在地

新潟県上越市

全校生徒数

77名

地域の特徴

名立川に沿った細長い地形に集落が点在し、北部の漁村・市街地域から南部の農村・山間地域まで、自然や生産は多様で多彩。少子高齢化が進んでいるが、国道8号線に隣接する観光交流施設「うみてらす名立」には、年間約40万人が訪れる。また、標高1000m地帯に位置するブナ林は、全国屈指の面積を誇り、市内最大の水源地にことまらず、家具や建材、市民の保養へと活用が期待されている。

学校の特徴

平成14年4月に、下名立小学校・上名立小学校・不動小学校の3校が統合して現在の新校舎にて開校。平成17年4月に名立小学校とも統合。教育目標「元気・根気・和気～みんなの力で学びや創る～」は統合10周年時に定めたもので、市町村合併前の旧西頸城郡立町内で1校となった利点を生かし、多くの住民・団体・機関などの協力をいただき、教育活動を展開している。通学範囲が13kmを超えるため、児童全員がバスで通学している。

組織構成

《総務委員会》	会長	1人
	副会長	3人
	幹事	3人
	部長	4人
《専門部》	文化部	6人
	保健厚生部	6人
	校外指導部	6人
	学年部	各学年：1人
《会計監査》		2人

担当課：新潟県教育庁  
生涯学習推進課

## 地域や同じ中学校区の P T A と連携した活動

キーワード 地域との連携 / 小中連携 / 外部人材活用 /

### 取組概要

地域や芳野中学校区の学校と連携した P T A 活動  
コロナ禍の中で、児童や保護者が参加できる P T A 活動

### 取り組みの詳細

#### ○ P T A が中心となって行う活動

- 毎月第1月曜日に、P T A の常任委員数名が児童玄関前に立ち、挨拶運動を実施している。保護者が積極的に挨拶を交わすことで、明るい学校づくり、地域づくりを推進している。
- コロナ禍で参集して行うことができなかった各学年の親子活動は、各家庭で親子で実施できる製作活動を行い、コロナ禍の中でも活動できるように工夫している。



#### ○ 地域人材を活用した活動

- 保護者や地域の方が、「のむら交通安全見守り隊」を結成し、毎日の子供たちの登下校を見守っている。
- 1年生の交通安全教室や4年生の自転車教室は、地域の交番や交通安全協会と協力して開催している。
- 生け花クラブや押し花クラブ、お茶クラブ、囲碁クラブ、飼育栽培委員会で地域の講師を招いて活動している。



#### ○ 毎年3回の資源回収・美化活動

- コロナ禍で資源回収はできていないが、美化活動は夏休みの児童クラブを中心に活動している。

#### ○ 芳野中学校と中学校区内3小学校とが連携する「芳中ブロック P T A 連絡協議会」

- 芳野中学校と中学校区内3小学校が連携し、「親学び講座」を行い、家庭における子供たちへの接し方について学びを共有している。

### 成果

- 学校、P T A、地域が一体となった活動を進めることで、地域で子供を育てていこうとする意識が高まっている。

### 課題や今後の取り組み

- コロナ禍の中、保護者の考えも多様化しており、様々な P T A 活動を継続していくための工夫が必要になってくる。

### その他の取り組み紹介

#### ○ 広報誌の発行・総会資料の公開

- 広報誌「いわせの」を P T A 広報部が年2回作成し、校区に配付している。
- 学校 H P を活用し、日頃の学校生活やお知らせ、P T A 総会資料等を公開している。

所在地

富山県高岡市

全校生徒数

633名

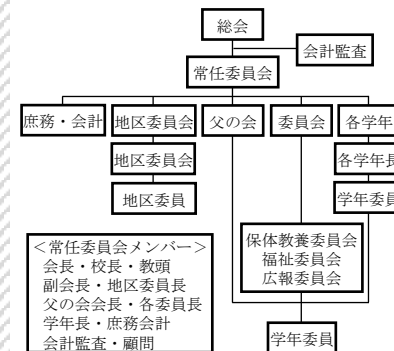
地域の特徴

校区の都市化に伴い、市内で最も児童数が多い。児童の転出入の頻度や外国籍児童の割合が高く、保護者の価値観も多様である。保護者は地域の学校教育に対する関心は高く、協力的である。

学校の特徴

平成30年に体育館が改築され、令和2年度に130周年を迎えた。「いきいき学ぶ子（確かな学力の定着）」「わくわく活動する子（豊かな心の育成）」「せつせと働く子（奉仕の心の育成）」「のびのび運動する子（強い心と体の育成）」を目指し、学校生活を送っている。

組織構成



担当課：富山県教育委員会  
生涯学習・文化財室



# 高校生と地域社会人の学習成果発表の場 賑わい創出に協力

キーワード 地域学校協働活動 / 社会教育支援 / 学校行事への協力

## 取組概要

学習成果を発表する機会となっている新川キャンパスフェスティバル（文化祭）で P T A 企画を実施し、賑わいを創出している。

## 取り組みの詳細

### ○新川キャンパスフェスティバルへの協力

本校では、授業の一部を高校生と地域の社会人が共に学び、お互いに高め合う共学講座を実施している。高校生と地域の方が日頃の学習成果を発表する機会である新川キャンパスフェスティバル（文化祭）において、保護者が主体となり P T A 企画を実施し、賑わい創出に協力している。

地域の方が楽しみにしているイベントであり、生徒、P T A も含めた交流の場となっている。

令和4年度は、保護者、社会人の入場制限があったものの、感染症対策を取りながら3年振りに生徒と共に協力して模擬店「みどりの屋台村」を開き、焼きそば、からあげ等を販売し、大盛況であった。



## 成果

- ・保護者同士の対話、交流が生まれた。
- ・今後の P T A 活動をさらに活発化する機運が高まった。
- ・家庭で会話する機会が増加した。

## 課題や今後の取り組み

- ・生徒数減少に伴う P T A 会員数の減少や P T A 活動に対する考え方の多様化等、今後の活動の在り方を考えていく必要がある。

## その他の取り組み紹介

- ・ P T A 講演会  
子育てに関する講演を聴き、解決の糸口を見つける良い学びの機会となっている。
- ・学校開放 W E E K への参加  
生徒と地域の社会人の共学講座を参観する等、学校での様子を知る機会となっている。
- ・ P T A だより「みどりの」の編集・発行
- ・さわやか運動への参加

## 基礎情報

所在地

富山県魚津市

全校生徒数

105名

地域の特徴

富山県魚津市も含む新川地域は、県東部に位置し、富山湾に面した平野部から、高い山がそびえる北アルプスまでの距離が短く、豊かな自然に恵まれた地域である。

学校の特徴

平成13年に開校した定時制単位の高校で、県民カレッジ新川地区センターを併設する生涯学習校である。普通科と福祉教養科あり、社会人と共に学ぶ共学講座が併設されており、令和4年度は社会人274名が受講した。

組織構成

全保護者・全職員が P T A 会員  
(加入状況100%)

会員の中から以下の役員を選出

【P T A 役員】

会長	1名	(保護者)
副会長	8名	(保護者)
顧問	1名	(学校長)
委員	21名	(保護者・クラス役員)
会計監査	2名	(保護者)
書記	3名	(教職員)
会計	1名	(教職員)

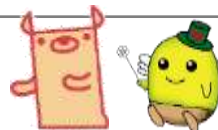
P T A 役員は研修部会、生徒指導部会の2つの部会のいずれかに所属し活動している。

担当課：富山県教育委員会  
生涯学習・文化財室

石川県

石川県立野々市明倫高等学校PTA

## 『自慢の高校』として 地域のまんなかで



♡みんなに愛されるキャラクター

(左) 野々市市「のっティ」  
(右) 明倫高校「りんくん」

キーワード

朝の挨拶運動 / 野々市市少年育成センターなど市との連携 / 広報誌「めいりん」 / M=1プロジェクト

## 取組概要

明倫高校PTAの「朝の挨拶運動」は20年以上の歴史。  
野々市市との連携も深く、生徒の成長を保護者と地域まるごとで支援。

## 取り組みの詳細

## 朝の挨拶運動

## point① 家庭と連携

挨拶の大切さ、素晴らしさを保護者から伝えよう、という呼びかけに60~70%の保護者が協力、笑顔で生徒を迎えている。

中には子どもが卒業した後も10年以上パワフルに声をかける「名物」的な保護者もいる。

## point② 地域と連携

全市をあげて展開する野々市市の「5万人あいさつ運動」では、市内各所であいさつの声が響く。学校でも市ののぼり旗を掲げ連携している。時には市の職員が保護者や生徒と一緒に挨拶してくれる。



## PTAと地域の連携

## Point① 少年育成センターとの連携

毎年数名の育成委員を選出し、市の連絡会参加及び地域での見守り活動を年間12回行っている。参加者は情報交換と直接の見守りを通して地域の子どもたちの様子を知り、センターの学習会では社会の「いま」と子どもたちの「未来」を多面的に学び、活動に活かしている。

## Point② “ののいちっ子を育てる”市民会議等との連携

本校PTA代表者が参加し、子どもたちの健やかな育成のための環境づくりに努めている。



## 成果

「登校してくる生徒の表情を見ながら親同士が自然な形で交流（保護者）」でき、「市の自慢の学校（市長）」として大切にされて、生徒たちが地域でさまざまな活躍・貢献できている。

## 課題や今後の取り組み

多忙のため活動に参加できない保護者がいる。参加のハードルを下げ、本来は忙しい人こそ必要な「繋がり」をいかにつくるかが課題である。

## その他の取り組み紹介

## M=1プロジェクト(令和2~4年)

コロナ禍でみんなを守ろう、  
一丸となって乗り切ろう、と  
感染予防や差別防止を呼び掛けるポスターを作成。地域ぐるみで取り組んだ。  
広報誌「めいりん」(創立~現在)  
広報委員が年2回発行し、楽しい企画記事や保護者目線の記事が人気。

## 明倫祭PTA模擬店

「Mama's Cafe」「おやじの会」が毎年賑わいに花を添えている。

M=1プロジェクト  
作成のポスター

## 基礎情報

所在地

石川県野々市市

全校生徒数

830名

地域の特徴

野々市市は石川県のほぼ中央に位置し、北東部を金沢市と接している。東洋経済が発表している「住みよさランキング」において毎年上位に選ばれている。美しい自然に囲まれながらも買い物などがしやすい環境が高評価となっている。

学校の特徴

昨年創立40周年を迎えた県内では、建物の規模の大きな普通科高校。「自ら考え、判断し、責任ある行動を取れる」力の育成を目指し教育活動を行う。素直で真面目な生徒が多く、広く明るい校舎や県下に誇る広いグラウンドなど充実した施設で、日々学業や部活動に励んでいる。

組織構成

常任理事(会長・副会長・会計)  
会長1、副会長各学年3、会計1  
・教育活動支援と保護者自らの研修  
・明倫祭では「おやじの会」を結成

理事(広報・母親・育成)  
広報と母親各学年6、育成第1学年4  
・校内で取材、会誌発行  
・明倫祭で「Mama's Cafe」を実施  
・校外で研修や地域巡回

総会(保護者、教職員)  
・朝の挨拶運動

常任理事と理事は協力しあっており、双方に顔を出す役員もいてコミュニケーションは円滑。

担当課：石川県教育委員会  
生涯学習課

## 地域や保護者が伝える地域愛と生き方

キーワード 地域学校協働活動 / 地域との連携 / 全員参加 / 食育 / SDGs

### 取組概要

地域と深く連携した活動を通し、ふるさとや自然を愛する心や一人一人が責任と情熱を持ち生きることが大切にする子の育成を目指している。

### 取り組みの詳細

●市エコビレッジ交流センターや地区自治振興会環境部会、「里山工房さかのくち」と連携して田植えや稲刈り、しめ縄作り、餅つき交流会を行っている。子どもたちは、作業方法を教わりながら、ふるさとの良さを次世代につなげようという大人の思いを感じ取っている。

●坂口校体育祭と地区体育祭を合同で開催。子どもたちは地域の方々の熱心な姿を見ながら活動を行うことができ、地域の方々からは、子どもたち全員の顔や様子を知ることができる機会となっている。

●学校行事等を掲載したPTA広報誌を、自治振興会広報部会が発行する地区広報誌と同じ冊子にして地区内全戸へ配布している。子どもたちが生き生きと活動する様子を地域に積極的に伝えることで、坂口校も地域の活性化に貢献している。

●3年に1度、小学生全員で地元の矢良巣岳登山を行っている。安全確保のため、自治振興会環境部会やPTAが毎年合同で、山頂までの登山道やハッピー山の環境整備を行っている。子どもたちの活動を中心に、地域の方々との協働により、地域の環境保全活動が継続的に行われている。



### 成果

・保護者の多くが地域の各種団体の役員やメンバーであることから、教育活動を支えるPTA活動と地域の活性化事業を効果的に融合させることができている。そのため、PTAだけでなく、地域の方の協力を得ることができ、子どもたちは田植えや稲刈りなどの直接体験を行い、その過程を通して、労働や食の大切さを実感することができた。

・小規模校のフットワークの軽さや少人数の良さをいかし、地域の提案にPTA全体で積極的に対応し、様々な経験や体験を子どもたちに提供できている。

・地域のために熱心に活動する保護者や祖父母、地域の方々とのふれ合いを通して、子どもたちはふるさとを愛する心とともに、集団のために行動する責任感や使命感を学ぶことができている。

### 課題や今後の取り組み

・少子化に伴うPTA会員の減少や地域の高齢化により、負担が大きくなってきているが、活動への参加意識の高さを武器に、これまで同様に地域とPTAが互いに協働し、地域内のつながりを強めるとともに、子どもたちの郷土愛を育てていきたい。

### その他の取り組み紹介

・学校行事において、地域の方や保護者と生徒が触れ合う機会を設けるとともに、学校行事を盛り上げている。

・文化祭でバザーの開催

・七夕集会

・年2回の資源回収

#### 所在地

福井県越前市湯谷町

#### 全校生徒数

小22名+中12名 計34名

#### 地域の特徴

坂口校のある坂口地区は、越前市の西南の方角に位置し、JR武生駅から車で約20分、越前市内17地区の中で一番人口の少ない地区であり、過疎化や高齢化が進んでいる。学校の前に環境学習の拠点施設として市エコビレッジ交流センターがあり、近年特別天然記念物のコウノトリの営巣が定着し地域を盛り上げている。

#### 学校の特徴

坂口小学校は、創立130年の小規模校で、全学年複式学級となっている。隣に武生第二中学校坂口分校が併設されており、小中連携を目的に、小中合同の「坂口校」として学校行事やPTA活動を行い、9年間のスパンで児童生徒の心身の育成を図っている。学校の裏には、地域やPTAで維持管理しているハッピー山があり、環境学習やレクリエーションに活用している。

#### 組織構成

PTA会長1名  
PTA副会長2名  
監事2名（歴代会長から）  
理事2名（学校教職員）  
参与9名（各地区区長・公民館長等）  
学級委員10名  
（小1～5・中1～3各学年1名+6年2名）  
総務文教部  
福祉保健部

担当課：福井県教育庁義務教育課

## 地域と協力し、清掃や点字ブロック点検活動などを実施！

キーワード 点字ブロック啓発活動 / 交流及び共同学習 / 地域との連携 / 点検結果を県や市の行政機関へ報告

### 取組概要

地域の方々・PTA・児童生徒の三者で協力し学校周辺の清掃活動・点字ブロック点検を行い、点字ブロックの破損箇所を報告書にまとめ、県と市に提出。改修計画につながり、修繕に至った。

### 取り組みの詳細

#### ①地域の方々やPTA、児童生徒で学校周辺の清掃の実施



#### ②破損した点字ブロックを確認



#### ③生徒会で点字ブロック点検結果を整理



#### ④県・市の行政機関へ報告 (地域の代表者・PTA会長・生徒会長)



PTAで作成したポケットティッシュ

### 成果

- ・地域の方との交流を図ることができた。
- ・PTAや児童生徒が点字ブロックについての意識向上を図ることができた。
- ・市より点字ブロック修繕計画のフィードバックがあり具体的な改善につながった。

### 課題や今後の取り組み

- ・点字ブロックの破損個所の把握
- ・県や市への継続的・定期的な報告
- ・点字ブロックの理解啓発に向けた活動

### その他の取り組み紹介

- ・点字ブロックへの理解啓発に向けたポケットティッシュを作成し、学校間交流提携校へ配付
- ・PTAとしてフードドライブへの協力と参加

※合理的配慮として、このスライドを見やすいよう背景を黒地、文字を白としています。

## 基礎情報

所在地

山梨県甲府市

全校生徒数

28名

地域の特徴

山梨県甲府市のほぼ中心に位置する。自然豊かで、盆地特有の気候が特徴である。近くには荊川の流れる、徒歩圏内に学校間交流の幼稚園・小中学校・高等学校等がある。

学校の特徴

創立105年目を迎える山梨県唯一の盲学校である。幼稚部、小学部、中学部、高等部本科に普通科・保健医療科、高等部専攻科に保健医療科・理療科を設置している。地域の視覚障害支援のセンターの機能を発揮している。

組織構成

山梨県立盲学校PTA組織

○会長 1名

○副会長 2名

○監事 2名

○専任会  
新聞部 研究部 福祉部 六藝部

担当課：山梨県教育庁  
生涯学習課

## P T Aがつなぐ学校・家庭・地域の願い

キーワード

コミュニティスクール / 伝統行事 / 学校・家庭・地域との連携 / 登下校の安全対策

## 取組概要

統合により新校を開校し、P T A主体の「上諏訪小御柱」の開催や、P T Aの参画による児童の工場見学、登下校の安全対策など、学校・家庭・地域と連携した特色ある取組を展開している。

## 取組みの詳細

## 「上諏訪小御柱」の開催

- ・ 諏訪地域伝統の御柱祭がコロナ禍で制限を余儀なくされる中、P T Aが主体となり「上諏訪小御柱」を企画した。
- ・ 祭には、地域の方やコミュニティスクールのボランティアの方も参加し、本格的かつ盛大な御柱祭となった。



## 学校・家庭・地域の連携にP T Aが大活躍

- ・ P T Aの仲介や協力により、充実した活動が展開された。



味噌づくり体験（工場見学）



地区子ども会（安全対策）

## 成果

「地域の伝統を次世代へつなぎたい」「豊かな学びを実現したい」という学校・家庭・地域の願いをP T Aがつなぎ、充実した活動が実現した。

## 課題や今後の取組み

コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ、参集でのP T A活動が可能となり、様々な分野での本格的な事業の展開が期待されている。

## その他の取組み紹介

- ・ 統合にあたり、関係者による協議と保護者への説明を重ね、会員から十分な理解を得た。
- ・ 会費削減や集金方法の工夫、ICTの活用等、保護者の負担軽減に配慮している。

所在地

長野県諏訪市

全校生徒数

350名

地域の特徴

長野県の中央に位置し、諏訪湖や霧ヶ峰、高島城や諏訪大社といった自然と歴史にあふれ、人気の観光地としても知られる。地域の方の学校教育への関心が高く、長きにわたり学校と地域が連携した教育活動が展開されている。

学校の特徴

諏訪市が策定した「みらい創造ゆめスクールプラン」により、市内の城北小学校及び高島小学校と、城南小学校の一部通学区を変更した上諏訪小学校を開校し、令和3年4月から、隣接する上諏訪中学校と小中一貫教育を開始した。

組織構成



担当課：長野県教育委員会  
文化財・生涯学習課

## 基礎情報

所在地

岐阜県美濃加茂市

全校児童数

26名

地域の特徴

美濃加茂市の北部、自然豊かな三和町は「ホタルの町」として広く知られている。町内を流れる川浦川と廿屋川には、6月になると数えきれないほど多くのホタルが川面を舞い、県外からも多くの見物客が訪れる町である。

学校の特徴

明治42年に創立された三和小学校は、過疎化に伴い、平成29年に美濃加茂市から「小規模特認校」に指定された。「ホタル保護活動・情報機器の先進的利用・一輪車運動」の3つを特色とし、小規模校ならではの充実した体験活動や他校との合同学習にも力を入れている。なかでも、ホタルの孵化から放流までを行う保護活動は、地域や保護者に支えられ、47年の伝統をもつ。

組織構成

PTA会員数が22名であることから、負担軽減のために、PTA役員を4名としている。PTAの行事は、2名の活動委員が担当しているが、すべての行事を会長・副会長がサポートする体制を整えている。

PTA役員	
会長	1名
副会長・会計	1名
活動委員	2名

担当課：岐阜県教育委員会  
義務教育課

## 小規模特認校の特色を生かした P T A 活動～地域・家庭・学校の連携～

キーワード 地域学校協働活動 / デジタル技術活用 / 在宅型取組

## 取組概要

小規模特認校の存続のために地域団体と共にパンフレット作りをしたり、家庭と学校が協力して、学校の特色のひとつである「情報機器の先進的利用」を生かした在宅型の取組を行ったりしている。

## 取り組みの詳細

## 学校紹介パンフレットの作成配布・学校説明会

市内全域からの通学が可能な小規模特認校を存続させるため、PTAと、町を元気にしたいと願う町民が集う「三和オリブクラブ」が共同で学校の良さを紹介したパンフレットを作成し、市内保育園の年長児保護者に配布した。また、本校への入学を検討する年長児保護者が気軽に参加できるよう、保護者による学校説明会を開催したところ、10名近くの参加者があった。



## 子どもの頑張りを認める「ICTで話そう語ろうデー」

コロナ禍で、学校での子どもの様子を見る機会が減ってしまったため、学習者用端末で児童や教師が活動の様子を撮影し、家庭で見られるよう取り組んだ。

家庭に持ち帰った学習者用端末に保存された画像や動画を家族で見ながら、わが子を認め励ますことで子どもの自己肯定感を高めることができた。



## 成果

- パンフレットや学校説明会で保護者を感じる三和小の良さを伝えることが出来たことにより、校区外から本校への入学者が年々増加している。
- 学習者用端末を使った取り組みでは普段見ることが出来ない学校での様子を見て、わが子を認め励ますことが出来た。

## 課題や今後の取り組み

- 会員数の減少に伴い、PTA役員の負担が大きくなったため、役員数の見直しを行ってきた。今後は伝統を大切にしながら、役員会や事業の精選を続けていきたい。

## その他の取り組み紹介

- ホタル保護のために行う、親子ホタル飛翔数観察や川掃除
- 「家庭の1枚」と題して学習者用端末で撮影した画像を学校で交流し合う「ICTで話そう語ろうデー」
- 親子で外部講師から学ぶ「親子学習会」

## 地域を愛する「ましづっ子」の育成に向けて

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 外部人材活用

### 取組概要

学校と地域は、目指す子供の姿を共有し、子供は、地域のよさを感じる中で学び、地域を愛する益津の子の育成を目指す

### 取り組みの詳細

#### 学校と地域の横のつながりを深めた教育活動

登校時には児童の安全確保のために多くのPTAや安全パートナー（地域のボランティア）が横断歩道などに立っている。また、安全パートナーは、子供たちの在校中の時間に、当番制で昇降口付近に座って不審者から子供を守るための活動をしている。また、合間を見つけて学校の敷地内の草取りなどの環境整備にも力を貸し、環境面からも安全への配慮に気を配っている。その他、低学年の生活科の学習で野菜を苗から育てたが、野菜の苗を子どもたちの手でしっかり植えたりできるように、安全パートナーが子ども一人一人の隣についてくれた。植え付け後も、野菜の成長の様子について一緒に見守り等を行った。



<児童を見守る安全パートナーさん>

<野菜の苗を植える2年生をサポート>

#### 地域の団体と連携した総合的な学習の時間の支援

5年生の総合的な学習の時間で、「米を中心とした和食のよさを学ぶこと」をテーマにした。そこで、米作りについて指導をやきつべの里フォーラムの「マイライス」という地域の団体をお願いし、学区の田んぼでの田植え作業等を体験した。PTAの事業部が中心となって地域、保護者、学校が一体となり、年間を通じて子供の学びを支えた。



<苗の植え付け>

<干した稲わらでしめ縄づくり>

<総まとめの餅つき>

### 成果

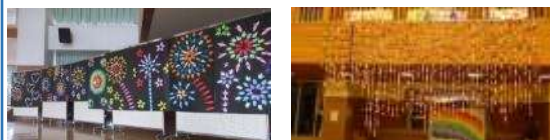
- ・地域と繋がりをもつことにより、地域の様々な行事の参加率も高まった。
- ・児童、保護者、教職員に対するアンケートにおける「あなたは、東益津の地域が好きですか」の質問に対する肯定的な解答は、9割を上回った。

### 課題や今後の取り組み

- ・PTA活動は、できる人が、できることを、できる時に、楽しく行えるのが理想である。その為に「私たちの学校」という意識の輪を広げる必要がある。
- ・PTAの活動を、保護者や地域の方々に広く伝え、参加しやすい雰囲気を作ることが課題。活動への参加者を増やすことができれば、持続可能な形の発展に繋がる。

### その他の取り組み紹介

PTA子ども会育成部で、例年主催していた球技大会が新型コロナウイルスの流行により連続で中止となってしまったため、新しいイベントとして「みんなで作る折り紙アートプロジェクト」を実施した。各家庭に折り紙を1束配布し、折り鶴やハートを折ってもらい学校で回収した。これらをPTA役員や有志数人で、糸で繋いで吊るし飾りにしたり、大きな画用紙に貼って打ち上げ花火や虹をイメージしたアートに仕立てた。



#### 所在地

静岡県焼津市

#### 全校生徒数

353名

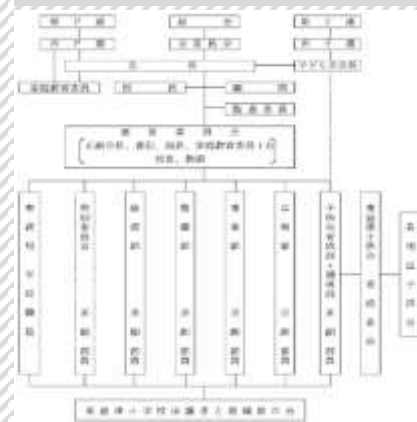
#### 地域の特徴

東益津地区は、焼津市の北部に位置し、北を高草山、東を花沢山の山々に包かれ、それに連なる大崩海岸や当目の浜で駿河湾に臨み、西から南にかけて流れる瀬戸川と朝比奈川の間に平坦な地域が広がり、多様な自然環境に恵まれた地域である。市の指定文化財も多く、地域公民館を中心としたコミュニティ活動も盛んな地域である。

#### 学校の特徴

平成14年度には創立百周年を迎え、記念行事を行った。平成17年度には、地区の特色を生かした「東益津小学校・公民館複合施設」が完成した。令和3年度に、コミュニティ・スクール導入校となった。

#### 組織構成



担当課：静岡県教育委員会  
社会教育課

## 基礎情報

所在地

三重県亀山市

全校生徒数

62名

地域の特徴

亀山市の北部に位置し、石水溪から続く安楽川と鈴鹿山脈に囲まれた茶畑が広がる自然豊かな地域で、校区内には和紙作りの材料となるミツマタの群生地がある。

学校の特徴

令和7年度に創立150周年を迎える伝統ある学校である。「地域とともに仲間とともに生き生きと活動する子の育成」を教育目標に掲げ、家庭・地域と協働・連携し、地域資源を活かした教育活動の充実、安心安全な学校づくりを目指している。

組織構成

○本部役員は会長1名、副会長1名、家庭教育委員1名、人権・平和委員1名、書記1名、会計1名、顧問2名(校長、教頭)の計8名で構成している。  
○活動組織として、文化教養部 環境安全部の2つの部会を設けている。各部会の構成は、本部役員(1名)、担当教員(1名)、部員(5名)である。

担当課：  
三重県教育委員会事務局  
社会教育・文化財保護課

## 野登和紙みつまたプロジェクト

キーワード 地域学校協働活動 / まちづくり協議会 / 学校運営協議会 / みつまたを愛する会

## 取組概要

ふるさと野登に愛着をもち、地域とともに、仲間とともに、生き生きと活動する子の育成を目指して、学校・保護者・地域が一体となって活動を支える、ふるさと学習に取り組む。

## 取り組みの詳細

## みつまた和紙作り

## ○天空の森の草刈り

PTA奉仕作業としてミツマタ群生地の草刈りを行っている。

## ○ミツマタの枝刈り取り

まちづくり協議会、学校運営協議会、みつまたを愛する会の方々の協力を得て、児童の作業日の朝、刈り取りを行った。

## ○黒皮剥ぎ・叩解(こうかい)・紙漉き

皮の黒皮部分を剥ぎ取る作業や柔らかくなった白皮の繊維を叩いて細かくほぐす作業、紙漉きの作業を保護者の他、元PTA役員の方や地域の方の協力を得て実施した。



6年生は和紙作りを通して地域について学ぶとともに、3月には自分で漉いた和紙を卒業証書として受け取った。

みつまた和紙づくりの取り組みは保護者、地域の方々、元PTA役員の方とともに進めてきた。児童の学習活動としてのみならず学校・保護者・地域をつなぐ取り組みとして、今後も関わりを広げながら継続していきたい。

## 成果

- ・毎年、取り組み方を見直すことで、保護者や地域の方の活動への関わりが広がってきた。
- ・工程の一部を授業参観の日に行うことで多くの保護者が参加できた。

## 課題や今後の取り組み

- ・和紙づくりの取り組みを児童の成果として地域や家庭へ発信し、地域の良さを再認識するきっかけとしたい。
- ・自校で栽培しているミツマタの木を使った和紙づくりを目指す。

## その他の取り組み紹介

- ・“家族との時間づくり”を目的としてPTAと児童会がタイアップして、相互理解のエクササイズ「アドジャン」を家庭で実践した。
- ・環境安全部が中心となり、学校の環境整備、登下校の安全啓発活動を行った。
- ・文化教養部が中心となり、広報による情報発信、教育懇談会の運営を行った。



## 学園伝統行事支援と安心安全の環境作り

キーワード 地域・学校・家庭の相互理解 / 防災活動支援 / 学校支援活動 / 学校行事への参加協力

### 取組概要

保護者・地域住民も参加する学園伝統の募金活動の協力をはじめ、防災活動・防災教育の支援を積極的に行っている。

### 取り組みの詳細

○ウォーカーソン -10kmコースを歩きながら世界に目を向ける募金活動-  
「ウォーカーソン」とは、教育や医療の援助を必要としている国や地域を支援するために、津市内10kmのコースを歩く募金活動。本学園では1986年から続く伝統行事である。生徒や保護者に加え地域の方や一般の方の参加も多数。保護者会もスタッフとして携わり、ルート内のスポットに立ち、案内、交通整理、見守り等を行っている。



↑ 持ち場までスクールバスで移動



↑ 歩く子ども達の見守り



↑ 子ども達への積極的な呼びかけ

○防災活動の支援 -防災備蓄品の補充・白い小箱運動-  
本学園は津市の避難所に指定されており、2014年度より災害時に必要な防災用品を箱詰めした防災備蓄品「白い小箱」と防災備蓄品の追加・入替を行っている。「白い小箱」は、災害時に生徒が帰宅困難になった場合に使用するもので、災害時に必要な防災用品を箱詰めしたもの。入れ替えをした白い小箱は本学園の生徒の防災教育のために活用したり、フィリピンの姉妹校へ送り災害用備蓄品を保管する習慣のないフィリピンの子ども達への防災学習に役立ててもらっている。

### 成果

- ・地域の方や一般の方が参加する行事に保護者が積極的に参加し見守りを強化することで、子どもたちも安心して取組に参加することができている。

### 課題や今後の取り組み

- ・積極的な保護者への参加呼びかけ
- ・保護者同士の交流の場を設ける
- ・地域との連携、繋がりの強化

### その他の取り組み紹介

- ・学園行事バザーにて子どもを対象にしたハンドメイド作品作りブースの開催
- ・芸術鑑賞・体育祭の会場費支援、受付スタッフ参加
- ・地元の講師を呼び、保護者向けの1日講座(1Day Lesson)の開催

所在地

三重県津市

全校生徒数

411名

地域の特徴

津市は伊勢平野のほぼ中心に位置し、美しい海と山に囲まれた一年を通じて四季の変化が感じられる都市。本学園は閑静な住宅街の小高い丘の上に位置し、伝統と先進が息づく自然豊かな環境の中にある。

学校の特徴

1956年にアメリカから来日したシスター4名を主体に、1959年開校。キリストの中心的教えとキリストの示された模範に基づいた「愛と奉仕の精神」を建学の精神として掲げる。人々を愛し、人々の幸福のために貢献したいという創設者の精神を受けつぎ、三重県唯一の女子校としてさまざまな分野で活躍する女性リーダーの育成に取り組んでいる。

組織構成

役員

会長1名  
副会長2名  
会計1名

クラス委員

各クラスから2名・年度ごとに選出

担当課：

三重県教育委員会事務局  
社会教育・文化財保護課

## 学校・家庭・地域との連携・協働で成り立つ活動

キーワード 地域学校協働本部、地域の団体、外部人材活用

### 取組概要

PTA、学校、地域が連携・協働し、子どもの健全育成のため、教育環境の充実を図る。

### 取り組みの詳細



#### ○里山オリエンテーリング

例年11月に地域の里山でPTAと学校、地域が連携して実施している児童会行事である。1,6年生、2,5年生、3,4年生のペア学年で地域の里山を巡りながら、様々なミッションをクリアしていく。地域学校協働本部や地域の団体のみなさんからも、里山にちなんだクイズの出題や環境の整備をお世話になることで、子どもたちは地域の方と関わりながら学びを深める機会となった。

#### ○七夕飾り

例年6月の授業参観に合わせて実施している。竹の提供は地域の農家の方に、切り出しの作業は地域学校協働本部を中心とした地域の団体にお世話になり、全校児童が短冊に願い事を書いて飾り付けを行った。「サッカーで点がとれますように」や「家族が幸せに暮らせますように」などたくさんの願い事が七夕飾りを彩った。



### 成果

地域学校協働本部や地域の団体と連携するなど、地域と一体となってPTA活動を行うことで、子どもたちは地域に支えられていることを知り、地域を大切にする気持ちが生まれた。また、地域にとっても、子どもと関わることで子どもを地域全体で育てていこうとする意識につながっている。

### 課題や今後の取り組み

令和5年度から学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入する。学校を核とした地域づくりを推進していく上でのPTAの役割について、検討していきたい。

### その他の取り組み紹介

- ・地域と連携したあいさつ運動
- ・下校見守り月間
- ・児童会と連携した取組
- ・学校行事における警備や清掃の協力
- ・親子レクリエーションの実施
- ・「PTA活動のしおり」の配布

所在地

京都府向日市

全校生徒数

290名

地域の特徴

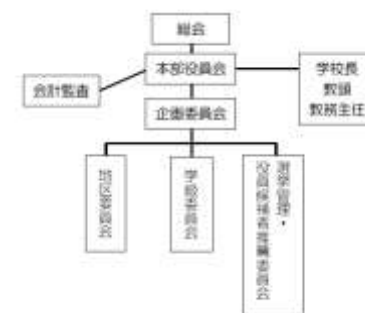
本校は市の北西部に位置し、西ノ岡丘陵の竹林に囲まれた閑静な場所にある。付近には桓武天皇皇后陵や寺戸大塚、五塚原古墳などが点在し、歴史的風土に恵まれた地域でもある。

学校の特徴

全校児童290名の中規模校である。児童間のつながりを通して感謝や達成感のあふれる行事を実施している。ピアサポートによるきょうだい学年の取組や地域学校協働本部による地域と連携した取組を通して子どもたちの自己有用感を涵養している。

組織構成

第6向陽小学校PTAの構成



担当課：京都府教育庁指導部  
社会教育課

大阪府

堺市立若松台小学校PTA



# 「もったいない」を「ありがとう」に！！

## ～つながる～ 未来の大人である子ども達に伝えたいこと

キーワード 地域学校協働活動 / SDGs (誰一人取り残さない) / 食品ロス削減

### 取組概要

SDGs活動：PTAが中心となり食品ロス（まだ食べられるのに捨ててしまう問題）を子ども達と一緒に考え、学校・地域を巻き込みフードドライブを実施

### 取組の詳細

#### 1. この取組の目的

世界で起こっている問題を「他人事」ではなく「自分事」として捉えられるように、若松台小学校の子ども達に「参加実践型」のSDGs活動を体験してもらうことや、PTAとして子ども食堂への食材支援をすることで「堺市の子ども達を笑顔にしたい！」と思ったことが主な目的である。給食を残さず食べることも立派な取組のひとつであることも伝え、児童・保護者・学校・地域に共感が得られるよう周知した。



#### 2. 子ども食堂への食材支援

日本では7人に1人の子どもが貧困状態にあり、子ども食堂の取組が必要とされている。PTA実行委員会でフードドライブを計画し、オープンスクールの日に実施した。保護者だけでなく、地域連合自治会、放課後支援団体にも周知し、多くの団体から食材を集めることができ、182点の食品を子ども食堂へ寄贈することができた。



#### 3. 教育現場への活用

どんな食品が寄付されたのか食品別にグラフ化をPTAにて行い、総合的な学習の時間などに寄付された食品とグラフを教員・児童に見学してもらい、子ども達から感想をもらった。「食べられない人をなくしたい」などの子ども達の素直な感想や写真を昇降口に一定期間掲示し、子ども達に活動報告を行うことで、学校での共有化を図った。



### 成果

学校・保護者・地域が一体となって活動に取り組むことで、互いのつながりが深まり、地域の活性化に貢献した。取組状況が「さかい子ども食堂ネットワーク」、「広報わかまつ」他SNSで紹介された。

### 課題や今後の取組

できるときに・できる人が・できる範囲でお互いに助け合ってこれからも活動内容を見直していきたいと考える。

### その他の取組紹介

- ・PTA総会（4月）
- ・役員会・実行委員会（月1回）
- ・創立54年  
文集わかまつの発行
- ・PTA花壇の植樹・手入れ
- ・持ち寄り花火大会  
（7月・子供会主催）
- ・キッズフェスタ（秋祭り）
- ・校区清掃・地域の交通安全教室

## 基礎情報

所在地

大阪府堺市

全校生徒数

208名

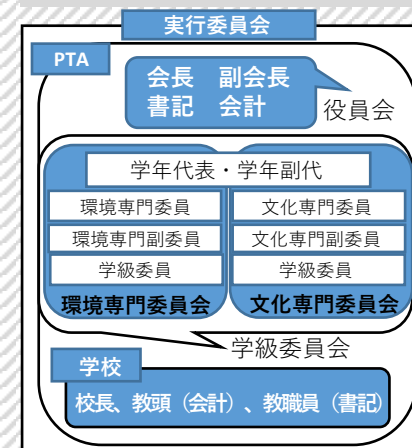
地域の特徴

世界遺産に登録された古墳がある堺市に位置し、大阪万博の頃に開発された緑豊かなニュータウンである。校区はほとんどが居住地であり、こども園から府立高等学校などの教育機関が集中している。

学校の特徴

本校は、子ども達の自ら「学ぶ力」の育成や自他の個性を認め、互いに協力できる子どもの育成に向け教育活動を行っている。同じ中学校区の学校との連携を深め、多様なつながりの中で子どもの育成に取り組んでいる。学校敷地は広く、豊かに自然がある。子ども達はその中でのびのびと過ごしている。

組織構成



担当課：大阪府教育庁 市町村教室  
地域教育振興課

所在地

大阪府東大阪市

全校生徒数

440名

地域の特徴

東大阪市は、国内でも有数の中小モノづくり企業の集積地「モノづくりのまち東大阪」として知られている。市内の事業所数は、全国第5位（平成28年経済センサス基礎調査）。工場密度では全国1位に位置している。

学校の特徴

機械・電気・建築設備系の3つの専門系を有し、スクールミッションに「地域連携」を掲げ、キャリア教育に力を入れている。望ましい勤労観・職業観の育成、地元のものづくり企業への理解促進、実践的な技能の早期獲得を図り、「日本一の工科高校」をめざしている。

組織構成

## 布施工科PTA

実行委員会

会長  
副会長  
書記・会計

文化体育委員長  
文化体育副委員長  
広報委員長  
広報副委員長  
各学年委員長  
各学年副委員長

学級委員会

1年学級委員

2年学級委員

3年学級委員

## 地域と連携して大阪の産業基盤を継承、発展

キーワード 地域学校協働活動 / 企業連携 / 外部人材活用 / PTA交流

## 取組概要

- ・地元の中小企業との相互理解を通して地域と共に発展
- ・教員と保護者の相互理解・協力関係を深めるPTA活動

## 取組の詳細

## ものづくりフィールドワーク

子どもの進路選択・相談に保護者が積極的に関われるようになることを目的とした取組。コロナ禍以前は商工会議所等と連携し、地元企業の工場見学を実施。コロナ禍においては、本来の目的に加え、ものづくり人材を育成する本校の教育活動への理解促進とPTAの交流を深めることも目的とし、地元の中小企業支援機関との連携や、校内の実習場を各系の教員の案内で保護者が見学し、最新の機械や実習の様子を見学する取組を実施した。



## 成果

- ・生徒がどのような場所・設備でどのような勉強をしているかを知ることができ、保護者の学校の教育活動・生徒への理解が深まった。
- ・教員と保護者、保護者同士、保護者と生徒が交流するきっかけになった。
- ・生徒たちの主な進路先であるものづくり分野への保護者の理解が深まった。

## 課題や今後の取組

コロナ禍の取組は、アンケート結果も好評で、取組として残したいと考えている。一方で、地元企業を直接訪問することで、そこで働く人の生の姿を見ることができ、それによる学びも大きい。今後、企業や工場などの見学の再開も模索していく。デュアルシステムのスタートなど、これからは地元企業との連携・協力がより一層重要となる。

## その他の取組紹介

- ・ミニ研修会（本校の授業と実習を体験）
- ・PTA社会見学会
- ・資格取得や技能競技大会出場等への援助
- ・学校行事（体育祭・文化祭）への参加、援助
- ・PTA新聞のオンライン発信 など

担当課：大阪府教育庁 市町村教室  
地域教育振興課

# 「未来につなげる地域づくり」でPTAと学校が一緒になって地域を元気に!!

キーワード 地域環境保全／地域連携／花いっぱい運動／海岸清掃／キャリア教育

## 取組概要

「高校生が地域を元気に」をスローガンにPTA組織が積極的に関わり、より良い地域づくりを生徒と共に実現する。

## 取り組みの詳細

### 花いっぱい運動



明るく活気のあるまちづくりを目指し、毎年「花いっぱい運動」を行っている。

生徒は「生徒会」「保健委員」を中心に30名程度が参加、PTAは「校外生活部」の保護者15名程度が参加する。地域の小・中学校を中心に生徒と一緒に花を配布している。毎年心待ちにされており、小学生が「きれいな花をありがとう」と笑顔いっぱいに喜んでくれる姿が印象的だった。

### クリーンアップ大作戦



隣接する海岸や学校周辺、通学路、JR駅などの清掃活動を全校生徒が参加して行っている。

PTAはこの環境美化活動に参加し、生徒が回収したゴミを、生徒と一緒に資源ゴミとしてリサイクルできるように分別する。PTAが用意した軽トラック等でリサイクルセンターへ搬入する。生徒と一緒に汗を流す良い機会となっている。

### 模擬面接指導



3年生の就職試験をサポートするため、PTAが主催する「模擬面接指導」を行っている。模擬面接官として、PTA役員7名と地元の青年会議所の役員5名に協力を依頼し実施した。

地域の事業所が求める人材を視野に、より実践的な面接指導ができるよう心掛け、今後も生徒の進路実現の一助としたい。

## 成果

- PTAが学校と協力し、生徒と一緒に事業を行うことで、「心の健康」を保護者目線で把握・検討し実行することができた。
- 地域の大人として、事業を共に行い、高校生と触れ合う機会となった。また地域に花を届ける手助けを通じて、地域とのふれあいを体験できた。

## 課題や今後の取り組み

- コロナ禍において、行事やPTA活動への参加の機会が少なくなってきた。
- 直接顔を合わせ、話し合いをしたり、懇談をしたりする場も減少した。PTA活動活性化のため、会員の意思疎通を図り、合意形成を行っていくのが今後の課題である。

## その他の取り組み紹介

- 年間2回のPTA会報の発行
- 各種研修会・講演会の実施
- 通学マナー指導立ち番
- 列車通学指導の実施

### 所在地

兵庫県美方郡香美町

### 全校生徒数

268名

### 地域の特徴

兵庫県北部日本海に面し、山陰海岸ジオパークの一部を成し、山陰有数の漁港・香住港がある。香住ガニ等の水産品が有名なほか、水産加工業も盛んで、本校海洋科学科の水産教育に適した地域である

### 学校の特徴

兵庫県唯一の水産に関する海洋科学科と普通科を併設する高校である。海洋科学科では2年次より3つのコースに分かれ、より専門的な水産科目を学ぶ。普通科では、進路・適生に応じて2つのコースに分かれる。2年生から水産科目を学ぶ環境を整え、学科融合型の学びを行っている。

### 組織構成

#### 【会員】

正会員・・・保護者・教員  
賛助会員・・・高校に勤務する職員

#### 【役員】

会長	1名
副会長	3名
参与	学校長
部長・副部長	各3名
監事	3名
会計	1名

#### 【専門部】

①総務部 ②校外生活部 ③学年部

#### 【会議運営】

①役員会 ②代議員会 ③部会 ④総会

## 学習支援活動 ～地域連携とPTA活動～

キーワード 地域学校協働活動 / 外部人材活用

### 取組概要

世界遺産のあるふるさとに誇りを持ち、大切にしていくことの重要性を学ぶ。また、学校と協力し、生徒の進路実現に取り組む。

### 取り組みの詳細

#### 世界遺産学習

ユネスコスクールに認定されている本校は、中高共に「世界遺産学習」に力を入れている。「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産の一つとして登録されている高野山奥の院や丹生都比売神社等を訪ねる学習活動にPTA会員が同行し、世界遺産マスターとして案内や説明等に取り組むことにより郷土愛を育む学習活動に協力している。

#### 進路実現への取組

進路指導部と連携し、進路講演会を開催しPTA会員に入試情報を提供している。また、高校3年生を中心に、大学別説明会を開催し、生徒・保護者へ最新の進路情報を提供することにより、生徒の進路実現に取り組んでいる。さらに、進学指導専門の講師による教員対象の研修会を年5回程度行い、教員が最新の入試関連情報を生徒に提供できるよう、生徒の進路保障をバックアップする取組ができています。

#### 世界遺産学習



#### 大学別説明会



### 成果

・学校運営方針を十分理解し、教育活動が円滑に進められるよう学習支援等協力することが出来た。

### 課題や今後の取り組み

・令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症上の位置づけが5類感染症に変更されたことに伴い、活動自体を見直し、コロナ禍以前よりもより充実した取り組みを行っていく必要がある。

### その他の取り組み紹介

- ・広報紙「夢KIRALI」の年2回発行。
- ・メール配信システムを導入し、学校運営状況等の情報発信に活用。
- ・教職員と合同で生徒の通学路における清掃活動。
- ・橋本市青少年センターと連携し、地域の犯罪等の未然防止に努めている。

#### 所在地

和歌山県橋本市

#### 全校生徒数

694名

#### 地域の特徴

橋本市は、平成18年3月1日に橋本市と高野口町が合併し、新「橋本市」となった人口約6万人の市である。和歌山県北東部に位置し、高野口地方のバイル織（編）物は、日本一の生産高を誇っている。また、100年以上の伝統を受け継いでいる「紀州へら竿」は、全国シェアの大半を占め、平成25年に国の伝統的工芸品に指定されている。

#### 学校の特徴

明治44年に創立された旧制橋本町立実科高等女学校を前身とし、平成23年に100周年を迎えた歴史ある学校である。平成18年古佐田丘中学校を設置し、併設型中高一貫校となった。平成26年ユネスコスクールへ登録、令和4年度より3年間文部科学省「新時代に対応した高等学校改革支援事業（普通科改革支援事業）」に指定されている。

#### 組織構成

和歌山県立古佐田丘中学校・橋本高等学校PTA組織図



クラスごと3名のPTA役員を選出。  
PTA役員は、広報委員会、厚生委員会、進路委員会に1名ずつ所属する。  
中学校委員会は、中学校生徒の保護者PTA委員で構成する。

## 学校・地域との連携・協働による児童のためのPTA活動

キーワード 学校・地域連携 / 創立150周年記念事業 / 記念誌 / ゆるキャラ / 歴史 / イベント

### 取組概要

学校・地域と連携・協働し、様々な創立150周年記念事業を担った。矢賀小学校児童の心に残る特別な1年にするため、地域との繋がりを大切にしながら、創意工夫を生かした活動を行った。

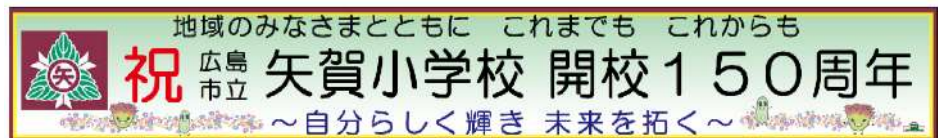
### 取り組みの詳細

#### ○矢賀小学校ゆるキャラ創造プロジェクト

学校・地域と開催した創立150周年記念式典において、ゆるキャラ「やがマル」を発表した。「コロナ禍でも楽しめるイベントを！」を合言葉に、「矢賀」に関するキーワードを集めたデータマイニング、集まったイラストを動画配信、決選投票、PTA会員による電子化等の取組を半年間に渡って行い、子供たちの話題やワクワク感を創出した。「やがマル」は、缶バッジとして式典当日に全児童に配付した。愛されキャラとして、その後の広報活動においても広く使用されている。

#### ○創立150周年記念誌の発刊

学校・地域と協働して、令和5年3月1日に創立150周年記念誌を発刊した。矢賀小の在校生や卒業生、地域在住の希望者に配付し、矢賀の歴史を未来に伝える架け橋となっている。



### 成果

- 児童と地域との関わりの場を創出し、愛校心と地域愛を育むことができた。
- コロナ禍での楽しみの少ない児童に、笑顔と誇りを届けることができた。

### 課題や今後の取り組み

- 取組の精選やペーパーレス化等。
- 個人情報取り扱いへの配慮。
- 更なる地域連携の在り方の検討。

### その他の取り組み紹介

- LINEアプリの活用による会議開催に係る負担軽減、ZoomやYouTubeによる動画配信等。
- 学校との連携による男女別であった基準服の見直し。
- 登下校時等の緊急避難場所「こども110番の家」を巡るウォークラリーの実施。
- 地域主催の「忍者屋敷からの大脱出」等のイベント（児童対象）に役員として関与。

所在地

広島県広島市

全校生徒数

312名

地域の特徴

広島県広島市東区矢賀は、府中大川の西岸に位置し、西側は丘陵、東部は川沿いの低地の住宅街となっている。大通り沿いには商業施設や飲食店も並び、広島市中心部にも近い活気ある地域である。

学校の特徴

明治5年に開校、令和4年度に創立150周年を迎えた地域に根差した歴史ある学校である。「自分らしく輝き 未来を拓く」を学校教育目標に掲げ、「児童・保護者・地域から信頼される学校」を目指している。

組織構成

【役員、委員等】

役員：会長、副会長、専門委員、書記、会計、事務局長、学級委員、会計監査、地区委員、教職員委員

【専門部会】

文化部、体育部、生活部、ふれあい部

【会議】

総会、委員総会、運営委員会、役員会、専門部会、学年・学級委員会

担当課：広島県教育委員会  
生涯学習課

# 子どもと共に育ち合うPTA ～元気いっぱい 笑顔いっぱい～

キーワード 地域との連携 / 地域の自然を活かした体験活動

## 取組概要

地域・保護者・教職員が互いに連携し、地域の自然に触れ、人々と交わる豊かな体験活動を通して、心身ともに健やかな子どもの育成を目指している。

## 取組みの詳細

### ★地域住民

- ・れんげ畑をお借りし、地域の方と一緒に花摘みや虫探しを行った。温かな人々との触れ合いの中で、豊かな自然を直接体験する機会となった。
- ・水田をお借りしての泥んこ遊びは、園内ではできない貴重な体験となった。

## 触れ合う豊かな体験活動

### ★地域団体

- ・児童館から藍の乾燥葉をいただき、園で栽培した藍と合わせて保護者と一緒に藍染めを行った。
- ・地域の文化祭に全園児の作品を展示し、園生活や園の教育活動の成果を披露できた。

### ★小・中学校

- ・保護者のための小学校長の講話「就学に向けて」は、スムーズな小学校就学につながっている。
- ・中学校の運動場での凧あげ体験は、地域内の世代の異なる子どもどうしの交流のきっかけづくりとなった。



心身ともに健やかな子どもの育成

## 成果

- ・地域住民と連携し、地域が大切にしている自然を活かした活動を行うことで、園児たちは人々の温かさや豊かな自然に触れることができた。
- ・地域住民や近隣学校と連携した活動を通して、地域全体で子どもの成長を支える体制ができ、大人も子どもも共に笑顔いっぱいの地域づくりにつながった。

## 課題や今後の取組み

- ・共働き世帯が増加している。アンケート結果等で常に保護者の意見を確認し、「無理なく楽しいPTA活動」をめざし、保護者と教職員が協力し、子どもと共に育ち合うPTA体制づくりを行う。

## その他の取組み紹介

- ・子どもたちが安心・安全に登降園が出来るよう、保護者全員が交代で立哨指導をしたり、PTA役員が、園から自宅までの防犯パトロールを実施している。

## 基礎情報

所在地

徳島県徳島市

全校生徒数

131名

地域の特徴

徳島市北部に位置する創立75年の歴史ある市立幼稚園である。周辺は住宅地であるが、田畑も残る。地域住民は園に協力的であり、千松小学校や城西中学校等の学校も近く、交流を行っている。

学校の特徴

「明るくたくましい子ども」「よく考えやりぬく子ども」「思いやりのある子ども」という幼児像を掲げ、園児の個性を尊重しながら、様々な体験を通して、豊かな心と主体性・社会性を育てている。また、家庭と園との連携を図り、地域、近隣小中学校との交流を行うなど充実した教育環境の整備に努めている。

組織構成

(本部役員)

- ・会長
- ・副会長
- ・監事
- ・会計
- ・学級役員
- ・庶務
- ・顧問

(学級部)

(文化部)

(保体部)

※すべての保護者が各部会に所属

担当課：徳島県教育委員会  
生涯学習課



## 地域と一緒に子どもたちを見まもるPTA活動

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール / 外部人材活用

## 取組概要

PTA、地域が協力し、いろいろな体験を通して子どもたちの成長を見まもる活動を実施する。

## 取り組みの詳細

## (1) 夏休み学習会

放課後まなび塾支援員、PTA、地域住民、校区の中高生の協力のもと、子どもたちの夏休みの宿題をサポートしている。コロナ禍においては、サポート者を減らすなどの感染対策を講じながら実施した。



【宿題学習】



【習字学習】



【読書感想文学習】

## (2) さつまいも作り

地域の方から畑を借り、PTA・地域住民が協力してさつまいもの植え付けから収穫までの体験活動を実施した。



【さつまいもの植え付け】



【除草作業】



【さつまいも掘り】

## (3) スポーツ教室

校区の体育振興会から講師を招き、ドッジビーやレクバレーなどの軽スポーツを体験する教室を実施した。



## 成果

- ・PTA、地域が協力し、子どもたちのために様々な体験活動を実施することができた。
- ・コロナ禍で多少の規模縮小はあったものの、中止することなく工夫して実施することができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・地域住民の協力を得ながら、家庭や学校で実施することができづらい活動を実施していきたい。
- ・校区の中高生を巻き込み、一緒にできる活動を実施していきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・全保護者、地域住民、教職員で行う朝の登校指導と挨拶運動
- ・地域住民と協力して実施するしめ縄づくり

所在地

愛媛県新居浜市

全校生徒数

597名

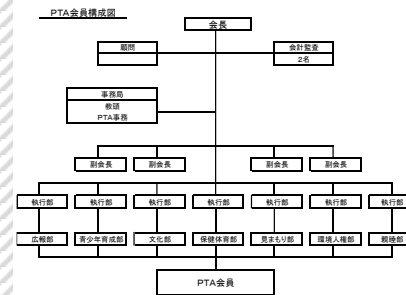
地域の特徴

本校区は新居浜市の北東部、瀬戸内海に面した場所に位置し、南に鳳凰山脈・石鎚山脈を望む自然豊かな場所である。本地域では藩政の頃から寺子屋教育が行われており、教育に熱心な地域である。

学校の特徴

本校は明治23年に開校し、今年で134周年を迎える歴史のある学校である。地域住民や保護者の学校教育への関心が高く、PTA活動にも熱心な家庭が多い。代々、合唱部の活動にも力を入れている。その成果が実り、令和3・4年度と連続でNHK全国学校音楽コンクール全国大会出場を果たしている。

組織構成



担当課：愛媛県教育委員会  
社会教育課

## 大きく育てよう平原っ子の夢、遠くまでひろげよう平原っ子の心！

キーワード 地域学校協働活動 / 外部人材活用

## 取組概要

- ・「やさしさの種を広げよう！ ハッピーバルーンリリース」
- ・「平原ドリームプロジェクト」（キャリア教育）
- ・「コミュニケーションワークショップ」

## 取り組みの詳細

## 【やさしさの種を広げよう！ハッピーバルーンリリース】

子供達の発案によるひまわりの種に優しさの気持ちを乗せて飛ばす取り組みを行ってきた。畑の開墾から苗植え、リリースまで、地域の方の支えがある。6年目の今回、熊本県から種が届いたとの便りが届いた。



## 【平原ドリームプロジェクト】

将来の夢を育むことを目的に講演会を実施した。ふるさと平原の自然体験が今の職につながっているという2人の本校卒業生の話を聞き、子供も保護者も、自分が住んでいる地域の素晴らしさに改めて気づくことができた。



## 【コミュニケーションワークショップ】

教育講演会にて、身体を使って共感できるコミュニケーションについて親子で学んだ。スキンシップで親子の関係を深める大切さを学ぶことができた。



## 成果

- ・人口減少が進む中、学校が地域活性化と学びの中心としての役割を果たすことができた。
- ・「やさしさ」について、「ひまわり活動」を通して友達を含めた身近な人へのやさしさを考えることができた。
- ・子供達が自分の将来を「ふるさと平原」を根幹として考えることができた。

## 課題や今後の取り組み

- ・協力してくださる方や団体と学校、協力してくださる方・団体同士のつながりを更に構築し、地域の活性化につなげる。
- ・活動と一緒にすることで児童と地元の方とのつながりを深くし、地元へ恩返ししたいと考えることができる子供を育てていく。

## その他の取り組み紹介

- ・桜のライトアップ（平原を元気にする会）
- ・焼き芋大会（平原を元気にする会）
- ・地元ケーブルTVによる広報活動
- ・長期休業中の巡回指導

所在地

佐賀県唐津市浜玉町平原乙  
97番地1

全校生徒数

41名

地域の特徴

標高100~300mに位置し、大半が山林・原野で占められた自然豊かな土地柄である。三分の一ほどの高地には、明治以来の伝統的な栽培実績をもとに佐賀みかんが栽培されている。近年は、品種改良を重ねてブランド化されたみかんも多く栽培され、評判を呼んでいる。

学校の特徴

H26年3月に閉校するまで交流のあった鳥巣分校と合併し、現在に至る。鳥巣地区を含む7地区からなり、鳥巣からは、現在7名が通学用タクシーを利用して登下校している。

組織構成

会長	保護者より1名
校長	
副会長	保護者より1名
庶務	保護者より1名
会計	保護者より1名
監事	保護者より1名
考える会	保護者より1名
事務局	学校職員より2名

担当課：佐賀県教育委員会事務局  
学校教育課

# 子ども主体の P T A 行事を創る～Uki★うき☆サンデープロジェクト～

キーワード 子ども実行委員 / 大人の支援 / 子育てネットワーク

## 取組概要

伝統行事を見直して、子どもに主体性をもたせた企画運営をし、P T A や地域が支援に徹することで、新しい形の活動にすることができた。地域の絆が強く、現役の保護者に加え、O B や卒業生も参加した。

## 取り組みの詳細

新しいUki★うき☆サンデーへの道

- 本部役員会  
大人主体から子ども主体への転換という提案。
- 子ども実行委員募集  
前年度末に募集のチラシを配布し、8名が応募。  
今年度12名となり、活動を開始。
- 実行委員会の話合い  
子どもたちとP T A役員有志による実行委員会の話合い。  
子どもたちを中心に、4月より月2回ペースで進め、大人は見守りに徹した。
- シミュレーション（9月～10月）  
内容と準備物が把握できた段階で、開催会場での予行練習を順次行った。
- 参加者募集  
子ども実行委員会作成のチラシを配布。  
参加希望者は80人以上。
- 本番（10/30）  
「お化け屋敷×謎解き脱出ゲーム」「絵しりとり」「クラフトリミット」  
大人は安全管理や時間配分などのアドバイスや、感染症対策、準備や当日の役割を担った。  
前日と当日、昨年実行委員をした現中学生が全員で応援に来てくれた。



主催：有喜小学校 P T A  
共催：有喜小学校  
後援：有喜地区子ども会育成連合会、有喜地区青少年健全育成会

※ P T A の研究大会では、これらを寸劇にして分かりやすく発表した。

## 成果

- 役員がサポートに徹したことで、実行委員のアイデアの創出や表現を促し、子どもの実行力や可能性を再発見することができた。
- P T A が主催、地域団体が後援とすることで連絡調整の負担が軽減した。「やりたい人が」「やれる分だけ」とし無理なく関わることができた。

## 課題や今後の取り組み

- 従来、地域とのふれあいを目的とした行事であったものを、コロナ対策で方向転換を図ることとなった。従前の目的も達成するための企画・運営をどのようにするかが課題である。

## その他の取り組み紹介

- 特色ある専門部の活動
  - ・数多く出動する校外補導
  - ・父親の読み語り
- 子育てネットワーク
  - 【地域団体との連携による活動】
    - ・地域子ども教室
    - ・ボランティアスクール
    - ・通学合宿
    - ・海・体験講座
    - 等
  - 【自治会・子ども会での活動】
    - ・町別懇談会
    - ・浮立
    - ・相撲
    - ・餅つき
    - ・球技大会
    - ・モグラ打ち
    - 等

所在地

長崎県諫早市

全校生徒数

184名

地域の特徴

有喜地区は諫早市の中南部に位置し、橘湾沿いの港町である。保護者の中には卒業生も多く、「子どもは有喜の宝」という意識が行き渡り、子どもたちに関わる地域の活動が活発に行われている。

学校の特徴

明治5年開校し、創立150周年を迎えた。全年1学級の小規模校で、1小1中の学区であるため、学年を超えたつながりがあり、小中の関わりも多い。地域団体との連携・協力により、子どもを中心に学校・家庭・地域が理解し合い教育活動を行っている。

組織構成

- 本部役員（企画部会）
  - 会長1名、副会長4名（男2女2）
  - 監事（若干名）、顧問（若干名）
  - 事務局1名、P T A サポーター（若干名）
- 学級理事
  - 各学級2名
- 地区理事
  - 校区の9子ども会から各2名
- 専門部
  - 図書部
  - 広報部
  - 校外補導部
  - 保体県競部
  - 研究部（特設）
- ※その他
  - 常任理事1名、理事1名

担当課：長崎県教育庁  
生涯学習課



公認ゆるキャラ  
「水公さん」

## 基礎情報

所在地

熊本県水俣市

全校生徒数

420名

地域の特徴

水俣市は、水俣病の経験を教訓として環境に配慮したまちづくりに取り組んでおり、2011年環境首都、そして2020年にはSDGs未来都市に指定された。地域には多くの卒業生がおり、あらゆる取組やイベント、プロジェクトで本校に対する支援がある。

学校の特徴

水俣高校は、2012年に旧水俣高校と旧水俣工業高校が再編統合され、県南唯一の総合高校で、昨年11月2日に創立10周年記念式典を挙行了。2016年から5年間スーパーグローバルハイスクール指定校となり、様々な探究活動を行うなど幅広い学びの取組が各機関より評価されている。

組織構成

全保護者が本校PTAに加入している。PTA会長のリーダーシップにより、負担感のない運営が行われている。

会長1名、副会長3名(各学年)、総務2名を置き、本部3役としている。その下に各種委員会を組織し、それぞれに学級委員を各種委員会に配置している。

年間1回の総会(4月)及び年間2回拡大役員会(4月・10月)を実施している。また、水俣市PTA連絡協議会では準会員として、総会への参加や市PTAビーチボールリーグ大会を本校で実施するなど、市内小中学校と交流及び連携も行っている。

担当課：熊本県教育委員会  
社会教育課



## 「地域とともに 水俣高校」～新聞で発見！水高生～

キーワード

地域学校協働活動 / 企業連携 / 外部人材活用 / 探究活動

### 取組概要

総合学校の強みを活かした様々な探究活動は、PTAの協力の下、公的機関及び企業や地域と連携し、社会に開かれた学びを通し、地域の課題解決に取り組んでいます。多くの取組について新聞社から取材を受け、たくさん掲載されています。地元企業の支援により、PTAバス車体に宣伝ステッカーを掲載しています。

### 取り組みの詳細

#### 地域と連携した様々な探究活動

普通科「高校生がつくる水俣食べる通信」制作で、地域をPR  
機械科「イノシカハンターズ」箱罟を製作し、猟友会、農家が利用  
電気コース 小中学生対象の「プログラミングワークショップ」  
建築コース「Wood connect project」山林保護と建築技能の伝承  
定時制商業科 地元企業と連携し商品開発した「水高どら焼き」

#### 水俣高校PT(C)A

- ・生徒会とのランチミーティング
- ・水俣市内企業見学を実施
- ・体育大会、文化祭、長距離走大会での交通整理等により教職員の負担軽減
- ・コロナ禍でPTAによる進路激励会
- ・カレー作りを変更し、地元レストランとカツ(勝つ)サンドを共同開発
- ・高校総体、総文祭前にPTA役員による部活動視察及び激励
- ・PTAマイクロバスへ、地元企業の支援による宣伝ステッカー掲載



#### PTA実践発表 県代表決定

- ・これらの取組を熊本県高P連で発表し、県代表に決定

### 成果

- ・Wood connect project くまもとSDGsアワード2022東海大学賞受賞を始め、数多く新聞に掲載された。
- ・生徒会とのランチミーティングを通して、PTAと生徒の共通理解によるスムーズな校則変更の推進とPTAによる学校行事へ積極的な参加
- ・広報誌を市内中学3年生へ配付し、入学者増加(R4→R5 16%増)
- ・PTAバス宣伝ステッカーによる費用負担軽減及び生徒の地元企業理解

### 課題や今後の取り組み

- ・アフターコロナによるPTAの業務改善と行事のあり方について検討
- ・地域連携の取組を活かし、情報を発信することで積極的な生徒募集

### その他の取り組み紹介

- ・毎月の役員会では効率化を図り、書面をデータで共有し、会議時間の時短(1回約30分)及び会議の削減(年11回→7回)をした。

# 児童・保護者・地域住民が当事者意識を高める防災訓練

～ 学校運営協議会と地域とをつなぐPTA活動 ～

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティ・スクール / 防災会議・図上訓練・防災授業参観

## 取組概要

- 学校・家庭・地域が連携して取り組む防災訓練の実施
  - ・ 下校時の避難訓練「津波てんでんこ訓練」（地震・大津波想定）
  - ・ 保護者が多く所属する地元消防団との合同避難訓練（火災想定）

## 取り組みの詳細

### 【下校時避難訓練「津波てんでんこ訓練」】

地域と連携した訓練を実施するために、PTA運営委員とも協議をしながら、①防災会議Ⅰ→②防災会議Ⅱ→③図上訓練→④防災授業（保護者参観可）を計画的に進め、訓練本番を迎えた。本番では子どもたちが話し合って避難場所を選択し、主体的に避難することができた。



各地区の区長や民生児童委員と本校職員による防災会議Ⅱ



門川高校生や防災士ネットワークの方々との図上訓練



外部講師（役場防災係）を招いての防災授業【TV取材有】



「ひなん訓練中」の登り旗を持って避難（集団下校）開始

### 【地元消防団との合同避難訓練】

団員のほとんどが児童の父親や学校支援ボランティアの方々のため、消防団の取組を身近に感じてもらえるキャリア教育にもつながっている。地域団体との交流行事ではあるが、学校と地域とをつなぐPTA活動ともいえる。



キビキビとした操法訓練（集団行動）【学校から要望】



防火服や消防法被を着せてもらった放水体験

## 成果

地域の方々との会議・研修を積み重ね、昨年度以上に住民の参加や協力が得られた。学校と地域が連携・協働することで地域との結び付きも強くなり、地域の課題「防災対策」を共有した地域行事となりつつある。

## 課題や今後の取り組み

地域には、学校行事に協力してあげているという意識がまだまだ強い。家庭や地域を巻き込みながら、PTAや地域関係団体等が主体的に参画できるように、学校運営協議会で計画を練りたい。

## その他の取り組み紹介

「子どもの成長を支え育て“かどがわ4か条”」の継続的な取組（ポスター掲示、アンケート実施と分析、表彰等）

PTAが主体となり各種団体と連携して取り組む「校区内一斉ラジオ体操」と「地区ラジオ体操」の実施

PTAと地域が一体となって組織化した「青色防犯パトロール隊」による登下校の見守り活動

## 基礎情報

所在地

宮崎県東臼杵郡門川町

全校生徒数

277名

地域の特徴

門川町は、宮崎県の北部に位置し、黒潮香る美しい日向灘を臨み、古くから「魚のまち」として知られる人口約17,000人の町である。また、国の天然記念物カムリウミスズメの世界最大の繁殖地（根椋島）としても有名である。南海トラフ巨大地震では、津波到達時間最短16分、津波高最大値1.2mと想定されている。

学校の特徴

創立115年目を迎える全校児童277名の中規模校である。「夢に向かって自ら学び心豊かな、たくましい草っ子」の育成を教育目標に掲げ、児童・保護者・学校・地域が一体となってその達成に向け取り組んでいる。校舎屋上には、町指定避難場所が設置されている。

組織構成



担当課：宮崎県教育委員会  
生涯学習課

## 地域はみんな顔見知り いもーれ屋仁！

キーワード 地域学校協働活動 / 地域文化の伝承 / 外部人材活用

### 取組概要

大人も子供も顔見知り。様々な行事を通して「地域で子供たちを育てる」

### 取組みの詳細

- 地域を挙げての四大大行事（バレー・駅伝・相撲・運動会）への参加
- 地域の各団体との連携と分担
  - ・ 蒲生崎クラブ（老人会）の方々と、敬老会や八月踊り、グラウンドゴルフを通しての連携
  - ・ 屋仁校区青壮年団と六月灯（夏まつり）の灯籠制作や出演を通しての連携
  - ・ 屋仁校区子ども会と毎朝のラジオ体操・朝読み・夕読み活動(44年目)、地域とともに花いっぱい運動を通しての連携
  - ・ 親子読書会(36年目)による朝の読み聞かせやPTA行事学校行事への参加による連携
  - ・ ビーチクリーン活動を行い、漂着物の観察や分別を通して環境問題や郷土愛をはぐくむ心の育成
- 地域人材を活用した活動
  - ・ 毎月2回島唄・シマグチ伝承活動や八月踊りに講師として来ていただき、地域文化の伝承を行っている。
  - ・ 総合的な学習の時間に奄美ならではの活動としてキビ刈り・黒糖づくり体験を行っている。
  - ・ 地域住民と協力しながらウミガメの生態に合わせた保護放流活動を行うことによって生命の大切さや環境美化の大切さを学んでいる。

### 成果

- ・ 行事への参加だけではなく練習等も地域ぐるみで行うことによって、大人も子供も楽しみながら郷土愛を育むことができています。
- ・ 各団体と密接に連携することで、地域住民がすべての子どもの顔と名前を知っており、安心・安全な環境を作ることができています。

### 課題や今後の取組み

- ・ PTAと青壮年団と子ども会とほぼ構成員が同じなため、より一層の公平分担が求められる。
- ・ 地域住民の高齢化と児童の減少により、継続的な活動の在り方を模索する必要がある。

### その他の取組み紹介

- ・ 屋仁校区青少年育成協議会・地域活性化委員会の開催(年2回)
- ・ PTA新聞・学校便りによる活動紹介(地域の全戸へ配布)

## 基礎情報

所在地

鹿児島県奄美市

全校生徒数

15名

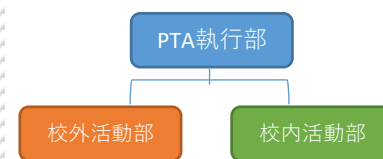
地域の特徴

校区は、奄美大島の北部にある笠利町の東シナ海に面した場所に位置し、2つの集落からなっている。小さな校区ながら地域行事が非常に盛んであり、行事を通して校区を盛り上げようとする気概にあふれている。

学校の特徴

明治12年9月に開校し、今年度で創立144周年を迎える。学校は屋仁海岸に面し、ウミガメ保護やカヌー体験等海洋活動に力を入れると同時に、校庭全面に昭和49年に植栽されたティフトン芝が広がる美しい環境である。

組織構成



組織はPTA執行部、校外活動部、校内活動部からなり、副会長、会計と書記は専任勤務、校長は顧問となっている。全保護者がいずれかの専門部会に所属し、それぞれの専門部会の中で役割を分担しながら、行事や会合によっては、全保護者で協力してPTA活動に参加している。

担当課：鹿児島県教育庁  
社会教育課

## みんなで伝統を引き継ぎ、未来へ発信を続ける指商（いぶしょう）！

キーワード 地域協働活動 / 学校デパート・高校生株式会社等への協力・支援 / 多様な情報発信

### 取組概要

コロナ禍において、独自の学校行事（指商デパート・株式会社指商）など生徒の主体的な取り組みを支え続けた。また、伝統を引き継いだ地域・P T A・学校の連携・協働モデルにも工夫・特徴がある。

### 取り組みの詳細

#### 【コロナ禍での取り組みの概要】

令和4年度は九州地区P T A連合会長崎大会で発表、また、3年ぶりの地区高等学校P T A大会では、大会運営を行った。鹿児島県委嘱P T A公開でも運営・発表を行い、コロナ禍においても参加者の規模を縮小するなどして活動を実施した。

校内活動は、P T A総会など参加者の分散化や混雑緩和につながる工夫を行い実施した。

学校行事におけるP T A活動については、学校行事である「指商デパート」で、生徒の支援活動として、駐車場係のお手伝いやコロナ対策を講じての茶節のふるまいなどを行った。

#### 【特徴あるP T AのOB組織や保護者組織との連携・協働】

P T AのOBで構成される「そらまめん隊」とP T A会員であれば、誰でも催しや行事に参加可能な「親事部（旧おやじの会）」が協力して、奉仕活動や「指商デパート」での茶節のふるまい、門松づくりなど、両団体の協力で運営される継続した伝統的な活動がコロナ禍においても工夫して行われている。



会社社訓 感謝 信頼 貢献

### 成果

- 学校・地域・地元企業でコンソーシアムを構築し、実施される「指商デパート」「株式会社指商」の活動を継続して支援した。

### 課題や今後の取り組み

- アフターコロナにおける各活動の完全再開と改善部分の検討。
- P T AのOB組織「そらまめん隊」や同窓会との連携した活動。

### その他の取り組み紹介

- 研修部におけるのP T A新聞発行
- 校外補導及び研修旅行（進路）
- 親事（おやじ）部と「そらまめん隊（OB）」連携の門松づくり
- 「指商デパート」における駐車場の手伝いや茶節のふるまいなど

#### 所在地

鹿児島県指宿市

#### 全校生徒数

465名

#### 地域の特徴

薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置する。温暖で花と緑にあふれる食と健幸のまち。東は錦江湾が広がり、南は東シナ海と風光明媚な場所である。中央には九州一の大きさの池田湖、南西部には薩摩富士の異名を持つ開聞岳、砂むし温泉など、まさに南国の観光の拠点である。

#### 学校の特徴

昭和23年に鹿児島県今和泉高等学校として創立。今年創立76周年を迎える歴史と伝統を誇る学校である。校訓の「和敬」「奉仕」「根性」のもと、風光明媚な環境下で学業に取り組んでいる。「指商デパート」「株式会社指商」「指商茶いっぺプロジェクト」の他に国際交流やボランティアなど幅広く活動している。

#### 組織構成


各クラスより2名以上が学級理事として選ばれ、会長1名、副会長4名、監事2名を組織の中心として構成する。

また、他の理事は、総務部、生活指導部、保健体育部、親事（おやじ）部の4部に所属してP T A活動を行う。

本校は2学期末に次年度の2年生3年生の学級理事を選出し、次年度の組織の輪廻ができる。1年生は入学式後に理事を選出する。3学期の理事会で各部年間反省と企画案を検討し、P T A総会で承認・決議される。



担当課：鹿児島県教育庁  
社会教育課



テーマカテゴリー

学びに関する活動



## 閉校・統合目前の過小規模校が地域ぐるみで取り組む子どもの学びの環境整備

キーワード

学校教育支援 / 環境整備支援

## 取組概要

現 P T A 会員 24 名 + 旧会員 + 学校支援ボランティアの力で、閉校・統合目前の過小規模校の学びの環境を整備する取り組みの工夫

## 取り組みの詳細

## ◇学びの環境整備への取り組み

## ○プール清掃

プールサイドの老朽化が激しいため、雑草取りや汚れ落としは、毎年、P T A 奉仕作業の際に、地域のボランティアを募り、新旧 P T A 会員が集まってプール清掃を行っている。そのため、教職員の異動があっても、毎年、円滑に作業を進めることができるとともに、地域住民のつながりづくりの場にもなっている。



## ○読書環境の整備

本校児童の育成を目指す資質・能力の一つである「児童が互いに考えを言語で表現し合う力」を高めるため、P T A 有志や卒業生の保護者・図書ボランティアによる朝の読み聞かせや図書室の飾り付けを行っている。

読み聞かせのあとに本にまつわるニュースを紹介したり、季節ごとの飾り付けを工夫したりすることによって、読書の楽しさや本に親しむ図書館利用の意欲付けに貢献している。



## 成果

- 過小規模校の学びの環境を整えるため、現旧 P T A 会員や学校支援ボランティア等、多くの地域住民が力を合わせ、地域ぐるみで学校を支援する体制を構築している。

## 課題や今後の取り組み

- 学校の教育活動を支えることを通じて地域住民同士のつながりを強化し、学校の閉校・統合後にも、清滝地区が衰退することのないようにしたい。

## その他の取り組み紹介

- 閉校記念行事の企画・運営
- ・記念誌の写真選定、編集
- ・実行委員会の参画・運営協力
- ・歴代 T 会員への感謝を伝える「教師の日」の企画
- 登下校の見守り活動

所在地

栃木県日光市

全校生徒数

14名

地域の特徴

日光東照宮から中禅寺湖に向かう道のりの中間に位置する。足尾銅山の中継地や、工業施設や発電所の設置により、昭和 20 年代には地域の人口増のピークを迎えた、自然環境の豊かな地域である。

学校の特徴

「笑顔と活力に満ちた学校」のスローガンのもと、「元気・やる気・笑顔」を合い言葉に、小規模校・複式学級の良さを生かし、学校・家庭・地域が一体となり、一人一人を大切にした教育を行っている。

組織構成

- 役員  
(会長、副会長、庶務、書記、会計、監事)
- 理事 (専門部)
  - ・総務生活・文化広報部
  - ・体育厚生部
  - ・生涯学習部
  - ・学年部



担当課：栃木県教育委員会  
事務局生涯学習課



## 時代に合った身近な悩みや疑問をPTA活動へ繋げる！

キーワード

実施方法の工夫 / 家庭教育学級 / 親子活動の継承と工夫

取組概要

## 『やりたい活動・学びたい活動』への改革

### 取り組みの詳細

企画の難しさにより例年同様に開催するものと考えていた活動を役員自ら「学びたいこと・必要なこと」を採り入れることにより、有意義な活動へ変えていく。

### 活動実績

#### ・家庭教育学級の充実（成人教育委員会）

「学びたい」を講座に!!

- ☆なぜ小学校から英語教育？
- ☆コロナ禍における子どもたちの心のケア
- ☆性教育を子どもたちにどう伝えますか？
- ☆応急救護の必要性（AEDの使用法）



#### ・親子活動（学年委員会）

「やりたい」を活動に!!

- ☆親子玉入れ（1年）
- ☆こども110番の家をもっと知ろう（2年）
- ☆親子非行防止教育（3年）
- ☆認知症キッズサポーター養成講座（4年）
- ☆性教育講座（5年）
- ☆親子スポーツフェスタ（6年）



### 成果

- ・学びたい内容を企画することにより参加者が増えた。
- ・PTA活動が授業に反映され、児童にも有益な学習になった。

### 課題や今後の取り組み

- ・学校の年間授業数との兼ね合い。
- ・企画の難しさ、講師選定の難しさ。
- ・働く保護者が増えたことに合わせた開催時間と開催方法の工夫。

### その他の取り組み紹介

- ・こども110番の家、充実計画

※地図・チェックリスト作成・配布（図1）

※対応マニュアル配布など

- ・交通安全指導の実施
- ・高学年女子トイレへ生理用品設置（図2）
- ・お便りのデジタル配信開始

※役員業務負担軽減

（図1）



（図2）



## 基礎情報

所在地

埼玉県狭山市北入曾980

全校生徒数

464名

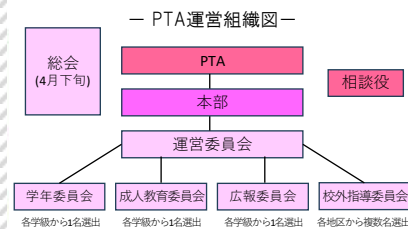
地域の特徴

- ・埼玉県の南西部に位置する人口約15万人の狭山市。埼玉県の特産品「狭山茶」や「里芋」が有名。
- ・学区内には2つの神社と2つのお寺があり歴史ある地域。

学校の特徴

- ・令和4年度より学校運営協議会発足。
- ・学校目標「仲良くする子・考える子・やり抜く子」
- ・異学年で構成する「なかよし班」があり、1年を通して活動している。2学期末に開催するイベントに向けて交流し絆を深めている。

組織構成



担当課：埼玉県教育局  
市町村支援部  
生涯学習推進課

## ICT活用プロジェクト活動での「情報教育」「プログラミング教室」実施等

キーワード 学校教育支援 / 地域学校協働活動 / 企業連携 / 外部人材活用

## 取組概要

PTA役員、保護者、地域住民等が生徒に向けた「情報教育（未来の仕事～AIの今後）」「プログラミング教室（ドローン飛行）等」を提供。

## 取り組みの詳細

◆ICT教育のサポートとして、ICT活用プロジェクト活動実施。各分野に知識、スキルのあるメンバーが学校教室等で運営。

- ①Word、Excel教室開催。
- ②Scratch、Pythonのプログラミング教室開催。
- ③「未来の仕事～AIの今後等」講義開催。
- ④合唱コンクール映像をYouTubeで配信。
- ⑤Pythomプログラミング教室で「ドローン飛行」を実施。



Scratch教室



ドローン飛行の様子



講義「未来の仕事～AIの今後等」



YouTube映像配信「合唱コンクール」



## 成果

- ・プログラミングの興味関心を醸成。
- ・未来の仕事とAIの学びを習得。
- ・合唱コンクールの様子を家族で視聴。

## 課題や今後の取り組み

- ・教室の最終回には、ドローン編隊飛行の発表会を体育館で開催することを計画。
- ・SNSの留意点等を保護者向けに実施。
- ・初心者向けにプログラミング教室の開催。

## その他の取り組み紹介

卒業対策委員をはじめとした保護者が進路団結式で合格おみくじ・ミサンガ・合格チョコレート（メッセージ付き）を3年生全員に配付。笑顔溢れる素敵な卒業式になりました。



## 所在地

千葉県浦安市高洲7-3-1

## 全校生徒数

498名

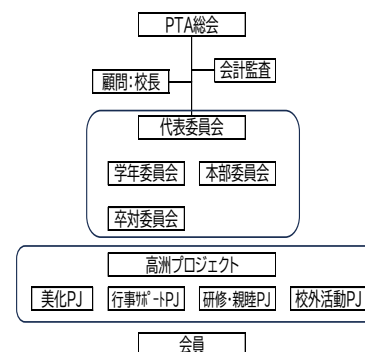
## 地域の特徴

高洲は、千葉県葛南地域に位置する浦安市の新興地区。地域の自治会、老人クラブ、スポーツチームの活動も盛んであり、中学校地区の中心を担う拠点としての位置づけ。保護者、地域住民とも学校教育に協力的で、関心も高い。

## 学校の特徴

学校教育目標は「志を高く掲げて、自分色に光り輝く生徒」。スローガンは「TAKASU最幸」。生徒が本校で学ぶことに喜びを感じ、本校を愛し、各取り組みの後に、心の底から最も幸せを感じる学校づくりに取り組んでいる。

## 組織構成



担当課：千葉県教育委員会生涯学習課  
(浦安市教育委員会生涯学習課)

## 全校児童・生徒が制作する45周年記念タペストリー（タピボン）計画

キーワード 学校教育支援 / 家庭教育支援 / 会員相互の学び

### 取組概要

令和7年度の45周年記念タペストリー（タピボン）制作（完成）に向けて、制作方法やデザインを、PTA実行委員会を中心に話し合っ決定。

### 取り組みの詳細

- ▶ 令和4年9月PTA実行委員会：タペストリー（タピボン）のデザインに使用する図案を全校児童・生徒・保護者に募集
- ▶ 令和4年11月PTA実行委員会：募集した図案を提示。タペストリー全体図のデザインについて協議
- ▶ 協議結果を美術科教員に伝え、タペストリー全体図のデザインを依頼→全体図完成
- ▶ 令和5年1月PTA実行委員会：タペストリー全体図承認



### 成果

- 全校児童・生徒・保護者にタペストリーの図案を募集
- タペストリー全体図のデザインを決定

### 課題や今後の取り組み

- タペストリー全体図を実際の制作作業で使う大きさに拡大するなどの準備を行う
- 児童・生徒が学習活動の中で製作する。

### その他の取り組み紹介

- 交流委員会は、夏季休業中に音楽コンサートを開催
- 広報委員会は児童・生徒の学習の様子の写真掲載広報紙等を作成、配付
- 進路委員会は事業所見学や進路学習会を企画、開催

所在地

神奈川県平塚市

全校生徒数

162名

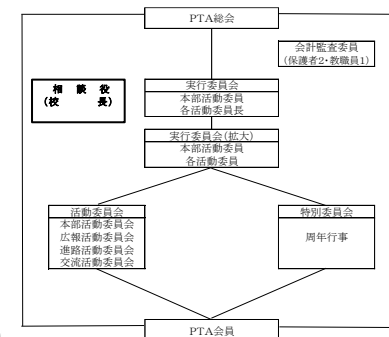
地域の特徴

平塚は、神奈川県のほぼ中央、相模平野の南部に位置し、約3.8Kmの海岸線から西北に広がる扇形で、相模川と金目川の下流域に発達した平野と、それを取り囲む台地と丘陵から形成されています。四季温和な気候に恵まれたまちです。

学校の特徴

知的障害教育部門の特別支援学校として、児童・生徒の自立と社会参加に向け、一人ひとりの障害の状態に応じた就労支援の取組を充実させ、小学部・中学部・高等部を通して、キャリア教育推進のために、一貫した教育を行っている。

組織構成



担当課：神奈川県教育委員会  
生涯学習課



## 「米百俵」の精神を受け継ぎ、ともに学び、育む親師会活動

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援 / 教育環境整備

### 取組概要

親師会講演会を開催し、研修部会を中心に進路講演会を企画。本校卒業生の保護者や進路指導部の教員を講師として、体験談や進路概況説明を行い、会員の進路意識啓発や会員相互の共通理解を図る。

### 取り組みの詳細

#### 【親師会研修会】

- ・進路講演会として開催。
- ・進路指導部の教員による進路概況説明を行い、最新の入試動向、本校の指導体制等について共通理解を促進。
- ・本校卒業生の保護者が講師となり、子どもの大学受験と進路実現を支えた体験談を語った。

#### 【県高P連進路対策委員会】

- ・委員会の事務局校として、委員会運営及び委員会主催研修会の開催業務を担当。
- ・県内高校、PTA役員等が参集して各校の進路指導の充実に資する講演や協議を実施。



会長の研修趣旨説明



進路概況説明



保護者の体験談発表

### 成果

- ・保護者の生の声、具体的なエピソードを多く聞き、子どもは親が心配しているよりもしっかりと将来を考えていることを知る機会となった。
- ・学校では日々の授業を大切にしており、親として子どもの生活習慣を整える支援の必要性を認識した。

### 課題や今後の取り組み

- ・コロナ禍により各学年部会の事業が中止となっていたが、今後は従来の活動に戻しつつも、働き方改革も意識した活動のあり方を検討し、学年に所属する会員の情報共有や親睦を図っていく。

### その他の取り組み紹介

- ・「親師会だより」等の広報活動により、家庭教育の充実に資している。
- ・いじめ対策は、学校と保護者が連携し、いじめ防止についての取組と家庭の役割について意見交換。

## 基礎情報

所在地

新潟県長岡市

全校生徒数

955名

地域の特徴

長岡市は新潟県の中南部に位置し、市街地から雪染山間地、日本海に面するエリアまで、豊かな自然環境に恵まれている。縄文時代から数々の歴史の舞台となったまち。8月の長岡まつり大花火大会には毎年多くの観光客が訪れる。

学校の特徴

長岡藩「米百俵」の精神を受け継ぎ、明治5年の長岡羊学校創設以来、屈指の歴史と伝統を誇る。平成14年度からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業に取り組み、将来、世界を舞台に指導的役割を果たす人材の育成を目指す。

組織構成

#### 【役員会】

会長	1名
顧問	1名（校長）
副会長	3名（うち1名は副校長）
会計監査	3名
幹事	4名

#### 【評議員会】

会長、副会長、会計監査、幹事	
評議員	48名（各クラスから2名）

#### 【専門部会】評議員が分担して所属

学年部会	12名
研修部会	15名
保健運動部会	12名
広報部会	9名

担当課：新潟県教育庁  
生涯学習推進課

# 子ども達の今と将来を知り、考えるPTA活動

キーワード

卒業後の進路や生活、きょうだい・家族をテーマにした研修会および会員相互の意見交換

## 取組概要

- ①卒業後の生活に係る保護者学習会
- ②家族について語る会（きょうだい会）
- ③卒業後の社会生活のイメージを具体化する企業・施設見学

## 取り組みの詳細

①子ども達の卒業後の生活に係る保護者学習会として、就労や年金等のテーマを設定し、ハローワークや社会福祉協議会等の講師による講演会を開催している。令和4年度は「障がい者の就職状況と相談援助」「成年後見制度」をテーマに学習会を行った。会の後半には、小グループの場を設け、会員間での意見・情報交換を行っている。



子ども達の今と将来を知る講演



子ども達の今と将来を考える意見交換



コロナ禍でのオンライン講演

②保護者や教職員が「きょうだい支援」「家族支援」をテーマに、大学教授による講演会に加え、家庭や学校における支援の在り方について悩みやアイデア等をともに話し合える「語る会」を開催している。

③子ども達が居住する奥越地域の福祉サービス事業所や一般企業の協力の下、保護者および教職員が参加する見学会を行っている。事業所や企業の担当者から直接話を伺うことができ、卒業後の進路や生活を考える良い機会となっている。



企業・事業所見学会

## 成果

・卒業後の就労や社会生活に向けて、学校や家庭が協力して行う準備や、制度等の知識を得る機会となっている。

・「子どもや家庭の悩みを親同士で話し合えることが良かった」といった意見が多く、情報・意見交換の他、会員相互によるピアカウンセリングの場ともなっている。

## 課題や今後の取り組み

・子ども達の生活や進路について、関係機関は勿論のこと、生活の場である地域と連携協力した取組を企画し進めていきたい。

・学習会の充実のため、会員同士の語りの場に卒業生や卒業生家族のメンター機能の付加が必要と考える。今後、同窓会との連携を検討していきたい。

## その他の取り組み紹介

コロナ禍に「子ども達に笑顔届けたい」の思いで、親子参加のバルーンアートショーを企画し開催した。割れないかビクビクしながらも、風船が動物に形を変える様子に子ども達の笑顔が溢れ、親子が一緒に楽しむふれ合いの時間となった。



所在地

福井県勝山市

全校生徒数

59名

地域の特徴

勝山市は福井県北東部に位置し、明台期以降、織物の町として歩んでいる。白山の山々と県下最大河川の九頭竜の雄大な景色のもと、国内有数の恐竜化石の産地としても有名で、国史跡の白山平泉寺など、歴史や文化に富んだ地域である。

学校の特徴

知的障がい、肢体不自由、病弱の子ども達を対象とした学校として奥越地区に開設され、令和4年に創立10周年を迎えた。市街地に立地した地の利を活かし、「地域学校」をコンセプトに、地域社会と繋がった教育活動に取り組んでいる。

組織構成

会員数 113名（教職員54名を含む）

【PTA役員】

（保護者）

会長 1名  
副会長 1名  
会計 1名  
会計監査 1名  
委員長 3名  
学割代表委員 3名

（教職員）

副会長 校長  
事務局 教頭  
担当教員  
会計 担当教員

【委員会】

研修交流委員会  
余暇活動委員会  
広報啓発委員会

【学部】

幼小学部  
中学部  
高等部

担当課：福井県教育委員会  
高校教育課

## PTA文化部によるキャリア講話会の企画

キーワード 学校教育支援 / ふるさと教育 / キャリア教育

## 取組概要

PTA文化部を中心に、キャリア講話会を企画・開催した。道志村で働く職業人を窓口にも、ふるさとの人々の暮らしを支えている仕事や働くことの意義について考え、職業観を広げながらふるさとへの貢献や、活躍する意欲の向上を図った。

## 取り組みの詳細

- PTA文化部専門部会①（8月）
  - ・道志村で働く、または道志村出身の職業人の中から、職業講話の目的にかなう方々を選定した。
  - ・文化部メンバーが、選定した職業人に参加を依頼し、キャリア講話会に協力できる人を確定した。
- PTA文化部専門部会②（10月）
  - ・キャリア講話会に参加していただける職業人の情報を持ち寄り、当日の流れや役割を決めた。
- キャリア講話会準備（11月）
  - ・生徒達に誰の話をお聴きたいかアンケートをとり、1人2講座をお聴けるようスケジュールを組んだ。
  - ・文化部メンバーは担当する職業人と連絡を取り、必要な事項や、講話の内容を打ち合わせた。
- キャリア講話当日（11月）
  - ・警察官、会社社長、看護師、役場職員（2名）、消防士の6名を迎え、それぞれが考える“働くことの意義”についての講話を実施。
- 学級で交流会
  - ・各学級で交流会を行い、生徒が講話から何を学んだか話し合った。

## 成果

・ふるさとで働く方々から、地域の人々の暮らしを支えたり、活躍している話を聞くことで、職業への興味や関心の幅を広げた。「ふるさとには誇れる職業がある」という概念の変容につながった。

## 課題や今後の取り組み

・学校教育全体の中で、キャリア教育を推進するとともに、PTAが中心となって実施するキャリア講話会等を通して、ふるさとに貢献すること、働くことの意義について理解を深めたい。

## その他の取り組み紹介

・PTA理事会と学校が連携して行った制服改革。防寒・防暑・性差への対応等ができる制服を生徒や保護者の意見を元に新制服を決定した。

・PTA生活部を中心とした“いじめ防止”のための学習会。親と子で、いじめの定義を元に、いじめ防止のために何ができるかについて学んだ。

## 所在地

山梨県南都留郡道志村

## 全校生徒数

28名

## 地域の特徴

道志村は人口およそ1500人、山梨県の東南東に位置し、神奈川県相模原市とも接している県境の村です。東西28キロに広がる細長い村の中央を清流・道志川が流れ、キャンプの聖地とも呼ばれる緑豊かな土地です。

## 学校の特徴

小中一体型の校舎を持ち、小中が連携しながら学校教育をおこなっています。教育活動全般を通して生徒の悩みや不安解消に取り組むことを最優先課題として日々活動しています。近年では、表現活動にも力を入れています。

## 組織構成

会長	1名
副会長	2名
会計	1名（基本的に教頭が担当）
文化部	1名
生活部	1名
体育部	1名
学年部長	各学年1名

合計 9名の保護者がPTA理事を務める。  
文化部 生活部 体育部の専門部会には会長、副会長、各学年部長と教員が入り、複数で運営している。

担当課：山梨県教育庁生涯学習課

## 学校支援を積極的に進めよう ～みんな ついてる!!! 日高っ子～

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

### 取組概要

日高小の子どもたちが「独りじゃないよ」・「みんながついてるよ」・「みんなラッキー!」という想いを実感できるような活動を行う。

### 取り組みの詳細

令和2年度にコロナ禍のためPTAバザーを中止したことを契機として、PTA活動の中でも負担の大きかったバザーを今後も行わないこととした。しかし、PTAバザーとともに行っていた子どもが楽しく活動できる「子どもバザー」の存続の声が大きかったことを踏まえ、令和3年度より新たな子どもたちのイベントとして「日高っ子フェス」を立ち上げた。

「日高っ子フェス」は、学校行事では実施が難しい「遊び」を主体とした楽しいイベントであり、日頃から日高小学校の子どもたちのためにボランティア活動を行っている「おやじの会」、「ブックママ」とともに創り上げている。コロナ対策も十分行った上で、令和4年度は『フィドラー悠情のわくわくコンサート』『おやじの会の模擬店(くじ引き、風船つり)』『ブックママのワークショップ(ネームプレート作り、ハロウィン折り紙体験、図書室壁面飾り作り体験)』等を企画・実施した。「日高っ子フェス」では、子どもたちや同伴の保護者の多くの笑顔を見ることができた。日高小学校のPTA行事の新たな一大イベントとして、今後の継続・発展へとつなげたい。

※ 令和3年度は、「謎解き～たぬきの子どもを見つけよう大きくせん～」を実施。

### 成果

・「できることを、できる範囲で」を合い言葉に活動することができた。その結果、だれもが気楽に参加し、楽しく取り組めるPTA活動となった。

### 課題や今後の取り組み

- ・積極的にICTを活用する。
- ・PTAの魅力をアップする。
- ・PTA活動の見直しを行う。

### その他の取り組み紹介

- ・PTA花壇のデザイン・植栽・整備
- ・PTA新聞の発行(年2回)
- ・交通死亡事故0の日の立ち当番
- ・あいさつ運動
- ・ウェブベルマーク活動

所在地

愛知県刈谷市

全校生徒数

564名

地域の特徴

学区を南北に分けるように、交通量の多い国道155号線が走っている。学区の西に二級河川隆妻川、埴川が流れる。学区の大部分が住宅地であり、自動車メーカーや関連会社に勤める家庭が多い。

学校の特徴

心身共に健やかで、豊かな心と実践力を身に付けた児童の育成を掲げ教育活動を行っている。

【校訓】

- ① たく豊かなくて学ぶ子(知)
- ② たれども仲良くできる子(徳)
- ③ からだと心をきたえる子(体)

組織構成

- ・役員8名(会長1、副会長3、書記2、会計2)、理事3名、委員21名、会計監査2名、顧問1名で構成している。
- ・委員会は、生活指導、文化広報、環境整備の3つの会で構成されている。
- ・理事は、生活指導、文化広報、環境整備の各委員会の委員長を兼ねている。
- ・日高小学校PTAの役員・理事・委員は、全て立候補によるものである。保護者会員に向け、次年度の役員・理事・委員への立候補の希望をとり、希望した会員の中から、現役員・理事が中心となって人選を行っている。

担当課：愛知県教育委員会  
あいちの学び推進課



## 基礎情報

所在地

愛知県岡崎市

全校生徒数

119名

地域の特徴

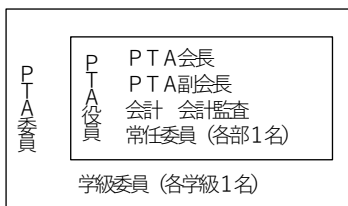
愛知県のほぼ中央に位置し、徳川家康の生地地や八丁味噌の産地として知られる岡崎市の北部に学校はある。豊田市に隣接し、自動車関連産業企業が多く立地しているため、全国から聴覚障害者が集まって来ている地域と言える。

学校の特徴

令和5年度に創立120周年の節目を迎える歴史と伝統ある学校で、東海・北陸地区で最も大規模な聾学校となっている。

小学部では、「ベンタゴプロジェクト」と称して、旭川聾学校、浜田ろう学校、熊本聾学校、筑波技術大学、そして本校の5校をオンラインでつないで、交流を深める取り組みを行っている。さらに、高等部では、筑波技術大学と連携協定を結び、高大連携授業を実施しており、本校いながら大学の先生から授業を受けることができる。

組織構成



担当課：愛知県教育委員会  
あいちの学び推進課

## P T A 教育講演会、研修会の実施 ～聾学校 P T A として～

キーワード

講演会 / 研修会 / 聴覚障害教育

## 取組概要

P T A 会員が聴覚障害教育に関する学びを深められるよう、教育講演会や研修会を実施。

## 取り組みの詳細

## P T A 教育講演会

講師：愛知淑徳大学、元奈良県立ろう学校 中井弘征 先生

テーマ：「手話の活用と日本語習得支援について」

内容：講師の先生が聾学校で勤められていたときの動画を交えながら、多くの内容を具体的に分かりやすく説明していただいた。さらに同日の授業後、教職員向けの研修も実施した。



## 研修会

講師：特定非営利活動法人つくし 村上栄子 先生

テーマ：「つくしと『ろう重複』について」

内容：聾重複について研修を深めた。参加した会員の中には「ずっとこういう話を聞きたかった。」と感激している方もいた。

(令和4年度実施内容より)

## 成果

- ・ 会員の学びを深めることができた。
- ・ 子どもに対しての言葉の教え方や接し方について、とても参考になったという感想を聞くことができた。
- ・ 教職員向けの研修は、教職員の資質向上の一助となった。

## 課題や今後の取り組み

- ・ 会員のニーズに合わせた学びの場の設定
- ・ 会員相互の情報交換ができる場の設定

## その他の取り組み紹介

- ・ P T A 美化活動〔生徒、保護者、職員、地域住民が一体となって取り組む地域清掃活動〕
- ・ P T A 会報「きらりん」の発刊
- ・ 文化祭における P T A バザーや模擬店の企画・運営
- ・ 会員相互の親睦を深めるグループ活動

## 学校・保護者・地域で育てる 子供の育成

キーワード 学校教育支援 / 保護者の学びの機会の提供 / 地域学校協働活動

### 取組概要

子供たちがより良い学校生活をおくるため、各種委員会による学校支援活動。学校・保護者・地域が連携・協働し、子供たちの健やかな成長と安全を守る活動。

### 取り組みの詳細

#### ◎PTA活動による学校支援

- 広報委員会**：広報紙「しらま」を年2回発行し、学校の様子を保護者だけでなく、地域にも全戸配布
- 研修委員会**：外部講師を招いた教育後援会。（毎年開催）  
「お金のこと&将来のこと」(親子マネー講座)を保護者と6年生と一緒に聴講（R4年度）
- 環境整備委員会**：より良い環境づくりのための清掃活動
- 交通安全委員会**：交通安全週間に、登下校の見守り活動
- 保健体育委員会**：救命救急法講習会の開催。マラソン大会における見守り活動



【教育研修会】



【マラソン大会での見守り活動】

#### ◎地域の方と共に 登下校の見守り活動

毎月1回の見守り活動では、地域の方が、子供の名前を呼び挨拶してくれるので、子供たちも安心して登下校ができています。また、通学路の危険箇所があると、学校と保護者が改善策について協議を行い、道路標識等の設置につなげた。

### 成果

- ・PTA各種委員会において多方面から学校を支援することができた。
- ・地域の方々と共に、子供たちの安全確保のために連携して取り組むことができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・会員の負担にならない各種委員会の活動の実施
- ・地域の方々の高齢化に伴う、今後の活動を受け継ぐ人材確保

### その他の取り組み紹介

- ・近隣の小・中学校（3校）のPTAと協賛して、毎月20日は「ノースマホ・ノーゲームデー」とし、各家庭で取り組んでいる。
- ・年間2回、地域を挙げての廃品回収を行い、その収益を子供たちのために還元するなど、より良い学校生活を目指した活動を実施している。

#### 所在地

和歌山県日高川町

#### 全校生徒数

196名

#### 地域の特徴

本校の所在する日高川町は、和歌山県の中央部日高川の中・下流域に位置し、東は田辺市龍神村、西は御坊市、南は印旛町、北は有田郡飯川町にそれぞれ隣接する。地域の主産業は、農業で、特に柑橘類が中心をなしている。また、温暖な気候を利用して豆類やハウス及び露地栽培の野菜作りも盛んである。

#### 学校の特徴

昭和45年、矢田・中津川・早藤の3小学校の統合によって川辺西小学校が開校された。2008年から、保護者の協力も得て、校内で児童会の運営委員が担当し、ペットボトル回収を行っている。ペットボトル回収収益は、町社会福祉協議会に寄付している。

#### 組織構成

##### 理事会

・会長 ・副会長（3名） ・事務局

##### 役員会

・会長 ・副会長（3名） ・地区役員  
・世話人 ・事務局

##### 各種委員会

・研修委員会 ・広報委員会  
・保健体育委員会 ・環境整備委員会  
・交通安全委員会 ・母親委員会

##### 各学年委員会

担当課：和歌山県教育庁生涯学習課

## 生徒の成長を支えるPTA活動

キーワード

PTA奉仕活動／文化祭「商神祭」での取組/交通指導

### 取組概要

保護者と学校の連携を密にし、生徒の健全な成長を促す。

### 取り組みの詳細

#### (1) PTA奉仕作業

例年、保護者、生徒、教職員が協力し、松山市郊外にある本校の第2グラウンドの草刈りを行っている。今年度も実施され、約200名の参加者が除草作業に取り組んだ。



#### (2) 文化祭「商神祭」

20年近くにわたってPTAと学校が協力し、文化祭でのバザーを行っている。事前販売のバザー券は2,000枚近くにもなり、毎年大盛況の活動である。



#### (3) 交通指導

例年、交通委員の生徒とPTAが学校周辺の交差点5箇所に分かれて登校指導を行い、生徒の安全な登校を見守っている。



### 成果

・多数の保護者や教職員が参加し、生徒や学校の雰囲気や士気を大いに盛り上げた。

### 課題や今後の取り組み

・コロナ禍で行事が縮小・精選されていたが、今後は過去の行事を見直しなが、これまで以上に活気のあるPTA活動を進めたい。

### その他の取り組み紹介

- ・PTA新聞を年間2回発行し、諸活動を学校内外に発信している。
- ・7つの各種委員会に分かれ、それぞれ独自の取組を行っている。

所在地

愛媛県松山市

全校生徒数

1052名

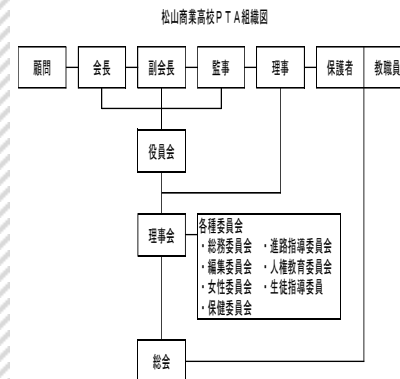
地域の特徴

松山市は県都の中心に位置しており、恵まれた立地である。地域の方々が協力的で、松山商業高校生を共に見守り育てようとする風土がある。松山城や道後温泉周辺の企業が生徒の実習先として受入れをしている。

学校の特徴

本校は、松山市の中心部に位置する1,000名を超える生徒が在籍する大規模校である。中予唯一の商業科の単科高校として、地域に根ざした商業教育の推進を行いながら地域で活躍できる人材の育成を推進している。

組織構成



担当課：愛媛県教育委員会  
社会教育課

## 基礎情報

所在地

福岡県嘉麻市

全校生徒数

490名

地域の特徴

かつて、旧稲築町では山形炭鉱が町の経済を支えていた。2006年、隣接する稲築町・山田市・碓井町・嘉穂町が合併し、嘉麻市(かまし)となった。福岡県のほぼ中央に位置し、多様な生態系を保護する山林や河川流域に広がる生産緑地などの水と緑が豊富な地域です。

学校の特徴

大正12年稲築立実業補習学校として創立し、移管・改称を重ね、昭和24年福岡県立稲築高等学校(普通科)となる。平成9年、福岡県初の総合学科高校として校名を変更し、「福岡県立稲築志耕館高等学校」となる。令和5年度、創立100周年を迎える地域に根ざした学校で、全国で活躍する卒業生は2万名を超える。

組織構成

会員は、保護者及び学校職員で構成され、  
 会長  
 副会長5名  
 書記  
 会計2名  
 会計監査2名  
 これに、元会長等旧役員からなる顧問で役員会を構成する。  
 他、評議員  
 委員会 総務委員会・厚生委員会・研修委員会・学年委員会(委員長1名)

## つなげよう、生徒・保護者・教員・地域の協働を！！

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

## 取組概要

積極的に学校行事等をサポートし、学校との協働による生徒の健全育成。

## 取り組みの詳細

## 文化祭におけるPTAカフェの運営



・例年6月に文化祭(蒼風祭)を開催。その際、PTAカフェを出店することが恒例となっている。アイスコーヒーなどの飲み物の他、地元有名業者から仕入れた天ぷらを販売。暑い時には、アイスコーヒーが飛びように売れるなど、大人気である。また、生徒・保護者・教職員の交流の場ともなっている。

## 校内美化のための花植え運動



・例年6月と11月の2回、花植え運動を実施。花壇やプランターなどに、季節の花を植えて、校内に彩りを与えている。まず草取りから始めて、土入れ、花や球根を植えている。保護者と教職員が参加するだけでなく、ボランティア部や運動部活動生を中心とした有志の生徒も参加することが恒例となっていて、参加した保護者は楽しく活動している。

## 成果

・文化祭のPTAカフェでは、多くの保護者が運営に携わり、文化祭を盛り上げるのに一役買っている。

・花植え運動では、校内が華やかだけでなく、参加者の交流の場になっている。また、花があることにより、校内が落ち着いた雰囲気になった。

## 課題や今後の取り組み


・PTA総会を始めとして、行事の参加が少ない。行事に参加したらこんないいことがあったと思えるような工夫が必要である。

・朝の挨拶運動を通して生徒と保護者・教師のよい関係を築いていき、活気のある学校作りにつなげていきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・朝の挨拶運動
- ・PTA新聞(啐啄「そったく」)の発行
- ・大学、専門学校、企業見学
- ・飯塚納涼花火大会巡回指導

担当課：福岡県教育庁教育振興部社会教育課



テーマカテゴリー

# 生活指導活動

## 基礎情報

所在地

岩手県花巻市

全校生徒数

568名

地域の特徴

花巻市の郊外に位置し、田畑の中に民家が点在する田園地帯。一方、花巻南ICに近く花巻温泉郷へ向かうルートに面しているため、車の交通量は少なくない。生徒の多くは駅から自転車やバスを利用して通学している。

学校の特徴

女子校コルーツを持ち、創立112年を数える共学校。4つの学系からなる総合選択制を導入しており、普通科でありながら語学や体育等の専門科目を深く学ぶことができる。

「明致 中層 無限」を校訓に掲げ、部活動が盛んで、バレーボール部など東北大会はもとより全国大会を目指して日々練習に励んでいる。また、卒業後の進路はおよそ9割が進学であり、四年制私立大学を中心に国公立大学から専門学校まで多岐に及んでいる。

組織構成

総会、役員会、学年会、委員会から成り立っている。

役員会は、原則各クラス3名の学級理事で構成される。このうち三役員として、会長1名、副会長4名（うち1名は母親委員長を兼任）、監事3名を選出。

委員会は、総務委員会、広報編集委員会、厚生委員会、母親委員会の4委員会。

担当課：岩手県教育委員会  
生涯学習文化財課

## 朝の空気を爽やかにする「ひと声あいさつ運動」

キーワード 生徒との協働／新型コロナ対応／メッセージ

## 取組概要

生徒会生活委員会との協働で行う、メッセージボードを活用したP T Aあいさつ運動

## 取組みの詳細

毎年9月下旬の5日間、P T A総務委員会の取組みとして「ひと声あいさつ運動」を行ってきた。当初は保護者会員のみの活動であったが、生徒会生活委員会から合同で行いたいとの申し出があり、現在は生徒と保護者会員一体で取り組む恒例行事となった。この取組みは、あいさつを交わすことが目的であり、登校した一般生徒が飛び入りで参加することも多くあり、和やかな雰囲気であいさつが飛び交う場面が作り出されている。

この運動は新型コロナ感染症拡大中も続けられた。あいさつの声かけ（発声）を抑える代わりに、メッセージを掲げ、笑顔で生徒を迎えることとした。単なるあいさつではなく、親の思いがひと言のメッセージに込められ、新たな運動の形となった。令和5年度からは春と秋の2回実施とし、また、声かけとメッセージの「二刀流」でのあいさつ運動を展開することとしている。



## 成果

登校する生徒のあいさつが盛んになったとともに、保護者会員と生活委員会との交流が生まれる運動となった。

また、生徒の自転車運転などの通学マナー向上にもつながった。

## 課題や今後の取組み

平日朝に行うため、時間が短い活動となるが、その分、多くの保護者会員が気軽に参加できる可能性もある。参加促進をしていきたい。

## その他の取組み紹介

- ・卒業生へ、「親から子へのメッセージ」活動（母親委員会）
- ・充実したP T A会報の発行（広報編集委員会）
- ・校内環境美化活動（厚生委員会）
- ・P T A主催講演会（2年に一度の開催※R3の講師は、「ビリギャル」モデルの小林さやか氏）

## 学校と家庭・児童をつなぎ、子供達の夢を育てる「つながりプロジェクト」

キーワード つながりプロジェクト／学校、家庭、地域連携／キャリア教育

### 取組概要

コロナ禍に始まり3年目を迎えたP T A本部企画。  
令和4年度は、「つながりプロジェクト2022～未来へ向かって～」をテーマとして、子供達の夢を育てる3つのプロジェクトを実施。

### 取り組みの詳細

#### ○「南陽台小つながりプロジェクト2022」

将来の夢を書いた手形を羽に見立て、未来に飛び立つ大きな鳥を表現。児童玄関を華やかに飾っている。互いに目にすることで存在感を共有し、来校する保護者や地域の方々にも伝えるよい機会となっている。6年生は卒業前に中学校での目標を書いた鳥を貼り、力強く巣立つ様子を表している。



#### ○「南陽台コンサート」

第1部は児童による合奏、第2部は成人教育委員会のセミナーゲストである地元の県立高校和太鼓部の演奏を鑑賞。児童が和太鼓を体験する機会もつくれた。高校生とのふれあいにより、近い将来の姿をイメージすることができ、夢の実現に向け努力するきっかけにもなった。



#### ○「オリジナルチャリティTシャツ作成」

P T A本部が企画・販売。高崎市教委の教育理念である「Every child matters」がデザインに入っている。普段から児童、保護者、教員が着用することで、つながりを感じたり一体感をもつことができたりしている。収益はチャリティ基金として使い、教育活動の充実に大きく貢献している。



### 成果

・3つのプロジェクトを通じ、学校と家庭・児童の絆が深まり、子供達の夢や目標を温かく見守り応援しようとする気運が高まった。

### 課題や今後の取り組み

・持続可能な取組となるよう、学校支援コーディネーター（プロジェクト創設時のP T A会長）に企画の段階から参加してもらうことで、年度が変わっても新しい本部役員が安心してプロジェクトを引き継げるようにしていく。

### その他の取り組み紹介

・週休日の会議の廃止や行事の見直し、活動の精選、インスタグラムによる情報発信、グーグルフォームを利用した総会承認など、保護者や教職員の負担感を減らし、誰もが参加しやすいP T A活動になるよう運営を工夫をしている。

#### 所在地

群馬県高崎市

#### 全校生徒数

112名

#### 地域の特徴

高崎市の南西部に位置し、市街地から少し離れた小高い閑静な住宅街の中にある。周りは緑に囲まれた自然豊かな地域で、学校と地域が子ども達の夢の実現に向けてつながり、連携した教育活動が実践されている。

#### 学校の特徴

平成元年に吉井町立南陽台小学校として開校。今年で35年目を迎える。平成22年度から2年間「元気アップ高崎」の指定校を受け、家庭と連携した健康教育に取り組む。その後、「元気アップ南陽台」として継続。令和2年度より「つながりプロジェクト」を実施。令和4年度には学校運営協議会制度を導入し、地域とともにある学校づくりをさらに進めている。

#### 組織構成

- 本部役員
  - 会長 1名 副会長 2名
  - 書記 2名 会計 2名 会計監査 2名
- 運営委員会
- 学年委員会
- 成人教育委員会
- 保健体育委員会
- 広報委員会

## 買い物におけるお金の収受、会話等の実践経験の場としての「ショッピング大作戦」

キーワード 消費者教育 / 児童生徒と保護者の交流 / コロナ禍での活動 / 委員の全員参加

### 取組概要

コロナ禍で行事がなくなり、楽しみが少なくなった児童生徒たちに、買い物をする楽しさを味わわせたい、楽しい思い出を作ってもらいたい、そんな気持ちで、「ショッピング大作戦」を企画した。

### 取り組みの詳細

- 児童生徒がお菓子やおもちゃを購入したり、引換券と事前に注文しておいた飲み物とを交換したりできるお店を作った。
- 厚生委員全員が学校に集まることは難しいので、家庭にしながらできる作業を考え、また、全員が活動に関われるように作業を分担した。
- 家庭での作業として、ポスターや児童生徒へのメッセージカード、クリスマスツリーを飾るオーナメントを配付し、思い思いにデコレーションシールを貼ったり色を塗ったりする制作活動を用意した。
- 当日は、お菓子とメッセージカードの袋詰め、室内の装飾や商品等の陳列、店員役などの活動を行った。



ポスター



飲み物のメニュー



袋詰め作業



販売

### 成果

- ・担当した厚生委員会の全員が、無理なく活動に参加できた。
- ・児童生徒とPTAが楽しく会話を交わす機会となった。

### 課題や今後の取り組み

- ・「ショッピング大作戦」は3年目を迎えたが、毎年改善を加え実施してきた。今後も児童生徒、保護者がともに充実した活動になるよう企画していく。

### その他の取り組み紹介

- ・進路学習会、進路懇談会の開催
- ・広報誌の発行
- ・体育行事の準備片付け補助、記録
- ・学校保健委員会参加
- ・除草、落ち葉清掃等の環境整備

#### 所在地

群馬県高崎市

#### 全校生徒数

109名

#### 地域の特徴

昭和48年11月1日、県立で初めての知的障害児童生徒の養護学校として設立された。学舎は高崎市中心部から西に5km、赤城山、榛名山、妙義山など群馬県境の山並みが一望できる丘の上に建っている。

#### 学校の特徴

- ・小・中・高等部、寄宿舎の機能を生かして、一貫した教育を行っている。
- ・学級、学年、課題別などの集団の学習の中で、どの児童生徒も活躍できる場面を設定し、個々の教育的ニーズに対応した指導を目指している。

#### 組織構成

##### 【本部役員】

- 会長1名
- 副会長3名(含教頭1)
- 書記3名(含教員1)
- 会計4名(含事務長1、教員1)
- 会計監査2名
- 顧問1名(校長)

##### 【委員会】

- 環境委員(含教員1)
- 広報委員(含教員1)
- 厚生委員(含教員1)
- 進路委員(含教員1)
- 保体委員(含教員1)

※すべての保護者は、いずれかの委員会に所属する。



## 災害の教訓を語り継ぎ、子どもたちの安心・安全を守る取り組み

キーワード 交通安全教室 / 防災 / 見守り活動

### 取組概要

地域とともに取り組む交通安全指導、防災・防犯意識の向上

### 取り組みの詳細

#### 【交通安全教室】

- 体育安全部が主催し、丹波市交通指導員、地元駐在所と連携して行う。
- 3年生は運動場、学校周辺の道路を使用して自転車教室を行う。
- 1、2年生は交通安全の講話を聞き、運動場及び学校周辺道路で歩行訓練を行う。



#### 【防災・防犯下校】

- 地区役員が児童とともに下校し、各地区の避難所や危険箇所、消火栓等を確認するとともに、教職員も同行し、防災マップを更新する。
- こども110番の家を確認し、のぼり旗を更新する。



#### 【登校指導】

- 通学路の4地点において、児童の見守りとあいさつ指導を行う。
- 地域の見守りボランティアと連携して安全を確保する。
- 年間通じて週1回の指導を行う。
- 全会員が年間3回以上の当番を受け持つ。

### 成果

- ・児童、保護者が自転車のルールを共有し、安全に乗ることができている。
- ・登校指導はすべての会員が行い、安全な登校に貢献できている。

### 課題や今後の取り組み

- ・令和6年度の統合後、全ての児童がスクールバス利用になる。バス停までの登校指導と、防災・防犯下校をどのように実施していくかが課題である。

### その他の取り組み紹介

- ・田植えや稲刈り等、児童の体験活動に地域自治会と連携して指導・協力を行っている。
- ・全学年が学級デーで親子活動を通じ、会員相互の親睦を図っている。
- ・統合に向けた新PTA設立の準備を相手校と合同で進めている。
- ・地域の閉校記念実行委員会に協力し、イベント等を計画している。

#### 所在地

兵庫県丹波市

#### 全校生徒数

61名

#### 地域の特徴

丹波市の北東部に位置し、五台山、前山川など豊かな自然に恵まれている。平成26年8月の丹波市豪雨災害では、校区全体が甚大な被害を受けた。復興防公園など、災害の教訓を語り継ぎ、防災力を高める取組に力を入れている。

#### 学校の特徴

校区にもある「自治自立」を教育目標に掲げ、小規模校の特徴を生かし、個に応じた支援で自己肯定感を高める取り組みを進めている。令和6年4月の統合に向け、地域と連携し、さらにふるさとを愛する心の醸成を図っている。

#### 組織構成

【本部】  
会長1名  
副会長2名（うち1名は会計を兼務）  
【広報部】  
部長1名 副部長1名 他部員4名  
【教養部】  
部長1名 副部長1名 他部員5名  
【事業部】  
部長1名 副部長1名 他部員7名  
【体育安全部】  
部長1名 副部長1名 他部員6名  
【その他役員】  
会計監査委員2名

担当課：兵庫県教育委員会社会教育課

# 安心安全な学校づくり

キーワード SDGsビンゴ / あいさつ運動 / 防災教育

## 取組概要

# みんなで取り組もう！SDGsビンゴ

## 取り組みの詳細

児童生徒、保護者、教職員等、学校全体で取り組む活動として『みんなで取り組もう！SDGsビンゴ』を実施した。このビンゴには「リサイクルをする」、「部屋の電気を消す」、「残さず食べる」等、誰もが取り組みやすくSDGsについて知ることができる内容を取り入れた。ビンゴに取り組む中で、自分にできるSDGsについて知ったり、これからの生活を見直したりするきっかけになった。

参加した保護者からの感想として、特別なことではなく、身近なことや普段何気なく行っていることがSDGsにつながっていることだと気付いたという意見が多くあった。なお、ビンゴを達成した人には、生徒がデザインしたイラストで作ったピンバッジを参加賞として配布した。



## 成果

- ・日頃行っていることがSDGsにつながることを親子で再認識できた。
- ・分教室も含め、学校全体として共通の取り組みを実施できた。

## 課題や今後の取り組み

- ・誰もが参加しやすく、負担なく取り組むことができる活動の創意工夫。
- ・PTA役員の負担軽減と業務の精選、分担の工夫。

## その他の取り組み紹介

- ・防災教育：避難訓練の見学、親子防災学習
- ・あいさつ運動：分教室や高等部生徒会とPTAが合同で毎学期実施
- ・研修会の実施（進路、人権教育）
- ・各学部や学年別、または各分教室でのPTA活動の実施

## 基礎情報

所在地

島根県出雲市

全校生徒数

288名

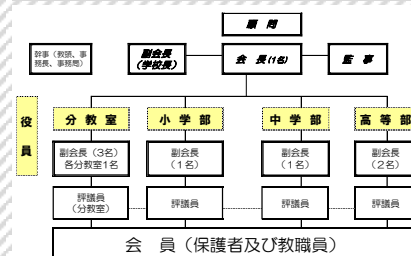
地域の特徴

出雲市は県中東部に位置し、「縁結び」として知られる出雲大社をはじめ多くの観光名所を有する。また外国にルーツのある方も多く、出雲の将来の姿を「多様性を認めあい、多文化共生のまち」としている。

学校の特徴

本校は昭和49年に開校し、令和6年には開校50周年を迎える。出雲圏域で唯一の特別支援学校であるため、広範囲の地域から通学している児童生徒も多い。また、近隣の市町村に4つの分教室があるのも、本校の特徴である。

## 組織構成



PTA役員、評議員については各学部、分教室から選出しており、奉仕作業や会計監査、親睦会等の役割をお願いしている。

担当課：島根県教育庁社会教育課

所在地

岡山県高梁市

全校生徒数

52名

地域の特徴

学区は高梁市の北部に位置し、学区のほぼ中央を南北に高梁川の清流が流れ、それに国道180号線とJR伯備線が並行している。

自然豊かで、観光シーズンには鉄道を撮りに多くの観光客が訪れている。

学校の特徴

明治3年、字王地に啓蒙所として開設される。幾多の変遷を経た後、昭和29年5月高梁市立川面小学校と改称。その後、培根校舎、高倉小学校を統合し現在に至る。地域との結びつきは強く、児童は落ち着いた学校生活を送っている。

組織構成

会長1名、副会長2名、監事2名、書記・会計1名を置き、専門部は事業部と生活研修部がある。

【会議の種類】

- ・総会 年1回
- ・役員会 必要に応じて
- ・常任委員会 年3回
- ・各専門部会 必要に応じて

【専門部の主な活動】

- ・事業部 奉仕作業・資源回収・物品販売等
- ・生活研修部 すこやか川面・新聞作成等
- また、学級ごとに学級PTA役員を置き、年1回学級PTA活動を行い、親子の交流を深めている。

担当課：岡山県教育庁生涯学習課

## 「すこやか川面週間」により、家庭での生活習慣を整える

キーワード

早寝早起き朝ごはん／メディアコントロール／PTAによる取組の周知や成果の分析

### 取組概要

PTA主体で「早寝」「早起き」「朝ごはん」「メディアコントロール」と学年目標（親子のふれあい活動）に取り組む「すこやか川面週間」を実施し、家庭での生活習慣を整える取組を行っている。

### 取組みの詳細

#### ○「すこやか川面週間」の取組

生活研修部のすこやか川面担当（学級PTA役員）が主体となって、9月から2月までの毎月5日間、「早寝」「早起き」「朝ごはん」「メディアコントロール」の生活習慣と、学年で決めた目標（親子のふれあい活動）をカードに記入して、生活習慣の見直しに取り組む「すこやか川面週間」を実施している。

「すこやか川面週間」の取組後には、担当が学年ごとに取組結果、成果・課題をまとめ、保健だよりである「すこやか川面だより」に掲載している。「すこやか川面だより」の作成にあたっては、保護者の負担軽減を図るため、年度当初に記事の分担をして仕事内容を均等にしたり、作成の参考となるテンプレートの入ったCDを配付したりしている。



〈すこやか川面カード〉



〈すこやか川面だよりの学年の報告〉

### 成果

- ・PTA主体の取組により、家庭での生活習慣を見直す意識が高まっている。
- ・生活研修部役員の発案で「すこやか川面週間」実施前に、保護者に学校メールで前月の取組結果とこれからの取組について知らせるようになったことで、取組への意識が一層高まった。

### 課題や今後の取組み

- ・家庭状況により取組への差が見られるので、啓発活動を充実させる必要がある。また、役員保護者の負担を更に軽減させたい。

### その他の取組み紹介

- ・PTA新聞「ひろいこころ」を年2回発行している。新入生、卒業生の特集や行事での児童の様子、学級PTA活動の様子、研修報告など手作りの紙面で作成し、家庭や地域に配付している。

# 子どもたちのための登下校当番改革

キーワード 見守り/安全・安心/登下校当番/自助・共助・公助

## 取組概要

「自助・共助・公助」  
龍田西小校区を安全で住みよい校区へ

## 取り組みの詳細

### 1) 新入生集団下校補助活動

: 執行部+新入生保護者で入学式翌日からの数日間、新入生の集団下校をサポート。新入生を教職員から引き継ぎ、新入生保護者とともに下校引率を行っている。

### 2) 登下校当番

: PTA加入・非加入に関係なく、全保護者で児童の安全確保を目的として活動。当番日に活動ができなくても、活動ができる日に協力していただき、登校時間に活動ができない場合は下校時間の見守りも可能としている。地域の「スクールガード」の方々にも登下校の見守りに協力いただいている。

### 3) 登校当番リスト

: 個人情報保護の観点から、当番リストには名簿番号を記載。名簿番号記載日を登校当番日とし、個人が特定できない仕組みにしている。毎月全世帯に登校当番リストをあんしんメールで配信。(当番学年にプリント配布)

### 4) 登校当番旗

: PTAから在学児童全世帯に専用旗を貸出。卒業時に返却、消毒後に新入生世帯へ貸出を行う。旗は全て番号管理を行っている。

### 5) 安全対策だより発行

: スクールガードさんの紹介や、「こどもひなの家」新規加入紹介等、共有すべき情報を掲載し、年3回発行。紙媒体の他、電子回覧板、あんしんメールでも配信している。



登下校当番



立ち位置MAP



登下校当番旗

## 成果

- 新入生保護者に加え、執行部メンバーが新入生の集団下校をサポートすることで、注意するポイントや自宅までの道を新入生へ再確認させ、新入生保護者にも安全に登下校できる道を把握してもらうことができた。
- 参加しやすい当番方法に変えることで、前向きに協力してくださる保護者が増え、多くの情報を提供していただけるようになった。
- 学校・地域・保護者が一体となり、児童の安全・安心な環境づくりに努めていることを実感していただけるきっかけとなった。
- 登校当番旗を全世帯に貸し出すことで、旗の受渡し負担が減り、コロナ禍でも見守り活動を継続しつつ、接触感染予防にも繋がった。

## 課題や今後の取り組み

- ・「関わり意識」のさらなる啓発
- ・地域との交流
- ・会員・非会員の共生

## その他の取り組み紹介

- ・新入生世帯へPTA紹介動画
- ・地域への広報活動(電子回覧板、たつにしだより、安全対策委員会だより、あんしんメールによる配信)
- ・一人一役決めから学年ごとの委員会制へ変更
- ・PTA総会のオンラインライブ
- ・学校と協働で大学生ボランティアによる「特別支援サポーター制度」の導入

## 基礎情報

所在地

熊本県熊本市

全校生徒数

481名

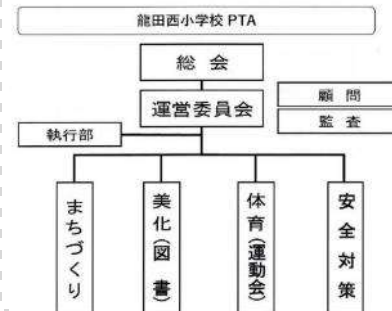
地域の特徴

龍田西校区は、熊本市北区の南東部に位置し、校区の西側には立田山がある。校区の歴史は新しく、宅地開発が進み龍田小学校の児童数が増加したことから平成28年4月に龍田小学校の分離新設校として、龍田西小学校が開校。校区は、北区の中で最も高齢化率が低く若い世代の方々が多いのも特徴の一つ。


学校の特徴

平成28年4月1日に開校した龍田西小学校は陳内立田の杜の高台に位置し、市内を一望できる敷地を生かした空間設計とモダンな学校建築の技術を集約して建築された。総面積23,000m<sup>2</sup>の広大な敷地に3階建ての校舎やゆったりとした体育館、多学年交流にも活用できるランテームや芝生の中庭には児童に人気の遊具もあり環境にも人にも優しい学校。校訓は「自主 協働 感謝」。

組織構成



担当課：熊本県教育委員会  
社会教育課



テーマカテゴリー

その他

## 基礎情報

所在地

青森県青森市

全校生徒数

51名

地域の特徴

青森市発祥の地と言われ、羽州街道と松前街道の合流地点である。ねぶた発祥の地とも言われており各町会でこどもねぶたを制作し、最盛期には9台のねぶたが運行された。農業、漁業に従事している人が多い。青森市内唯一の酒蔵がある。小中一貫校、幼保小のかけはし等が始まり、幼保小中の連携が強くなっている。

学校の特徴

青森市の西に位置し、山と海に囲まれた緑豊かな環境にある。野木和公園に隣接し、四季折々の豊かな自然の中で、子どもたちは自然を師とし、のびのびと生活している。どの子どもにも子どもとしての遊び場をという理念から特別支援教育にも取り組んでいる。

組織構成

油川幼稚園父母の会組織図

父母の会運営事務局

会長 1名 副会長 1名

会計 2名 内1名は園から

運営幹事 2名 内1名は園から

書記、監事 各1名

クラス活動

組長 各クラスから 1名

副組長 各クラスから 1名

担当課：青森県教育庁生涯学習課

## 子どもたちの笑顔のために ～みんなの力を結集～

キーワード

みんなで創るねぶたまつり / ねぶたは心のふるさと / 心のよりどころ

## 取組概要

郷土の祭りである「ねぶた祭」に制作から運行まで、園児、父母の会、OB、教職員が一丸となって取り組んでいる。昭和50年から参加し、今年で48年目を迎える。ねぶたの紙貼りから運行の準備、運行時のサポート等、園・父母の会・地域が協力して、取り組んでいる活動である。

## ねぶた制作、運行を父母の会が全面サポート

父母の会のメンバーは、主体的にねぶた運行の係に協力してくれます。子どもたちの笑顔のために、大人が全力で関わります。それが油川幼稚園のねぶたのスタイルです。



ねぶたを引くのは、卒園児の高校生、大学生、社会人、保護者OB、愛好会の方々。愛好会のメンバーは、父母の会OBや卒園児、ねぶたが大好きな地元の人たちで構成しています。



太鼓を叩くのは年長児さん。年長になって太鼓を叩くのを園児は、楽しみにしています。



お囃子も卒園児や保護者、市内の大学生が応援してくれています。



卒園児は行燈を押して参加します。



年中児と年少児は、お母さんや先生と一緒に跳人で参加です。1、2歳は先頭の棒につかまって歩きます。0歳児はベビーカーで参加します。

## 成果

- ・ねぶたを通して地域との繋がりが生まれ、小学校、中学校、高校との連携も出来てきている。
- ・ねぶた運行にはお父さんの参加も多く見られ、園への理解へと繋がってきている。

## 課題や今後の取り組み

- ・少子化により園児数が少なくなり、運行が難しくなってきたが、地元学区の小・中学生、高校生にも参加を呼びかけたい。また、卒園児、保護者OBにも広く協力を呼びかけて行きたい。幼少連携をねぶたをキーワードにし、繋げていきたい。

## その他の取り組み紹介

- ・父母の会主催の幼稚園祭  
バザー、食堂、ゲーム、園児の作品展開催
- ・絵本講座  
父母の会協力のもと、絵本作家・編集者を招いての講演会を実施
- ・音楽会、お遊戯会  
楽器搬入、着替え等のサポート等

## 閉校を迎える学校を最後まで応援するためのPTA活動

キーワード 幸せな閉校プロジェクト / 周年記念事業 / サポーターズクラブ / OB講演会

### 取組概要

令和5年度で創立50年を迎えるとともに、同年度末での閉校が決まっており、PTAが、創立50年記念事業実行委員会による「幸せな閉校プロジェクト」の主要メンバーとして、様々な企画に取り組んでいる。

### 取り組みの詳細

#### ○音楽部OB・OGによる卒業式でのオーケストラ演奏

令和5年度末の閉校に伴い、過去に全国の舞台も経験した歴史をもつ「音楽部」がOB・OGにより再結成され、合同練習を重ね、令和4年度卒業式でその演奏が披露された。



#### ○安芸高サポーターズクラブの広報活動

閉校を迎える学校を最後まで応援するために立ち上げられた「安芸高サポーターズクラブ（通称アキサポ）」入会募集に係る積極的な広報活動を行っている。



#### ○OB講演会の開催

本校を卒業して起業され、現在、代表取締役として活躍しておられるOBによる講演会を開催し夢に向かって挑戦することの大切さを生徒たちにエネルギーギッシュに語っていただいた。



### 成果

- 在校生が感謝の気持ちを抱き、約1万人の卒業生とともに「安芸高生でよかった」と誇りをもって卒業することができるように活動に取り組んでいる。

### 課題や今後の取り組み

- 創立50年記念誌作成、学校敷地内にある県史跡「畳谷弥生遺跡群」周辺の整備、創立50年記念行事に向け、学校、アキサポ、地域の方とを繋ぐべく活動を続けている。

### その他の取り組み紹介

- PTAが運営する売店で、卒業生から寄贈された制服や、体操服のリユースを行っている。
- 防災訓練後に行われる落語家による防災をテーマとした「防災落語」の開催支援を行っている。

#### 所在地

広島県広島市

#### 全校生徒数

60名

#### 地域の特徴

山間部と平地を併せ持つ広島市東区温品に位置する。温品通りに沿って流れる府中大川を中心に、両サイドに斜面が広がり、自然のある環境と、広島市中心部に近い利便性に恵まれた地域である。

#### 学校の特徴

昭和49年に全日制普通科高校として創設され、平成10年度に総合学科に改編された。総合学科の強みと小さな学校の利点を活かしながら、生徒一人一人が主役となり、自分自身の在り方・生き方を探究する教育実践を推進している。

#### 組織構成

##### 【役員】

- 参与 1名（校長）
- 顧問 若干名（特別会員）
- 会長 1名
- 副会長 3名（教頭を含む）
- 常任理事 1名（総務主任）
- 理事 若干名
- 会計 2名（事務長を含む）
- 監査 2名

##### 【執行委員】

会長、副会長、参与、常任理事、会計

##### 【会議】

総会、理事会、執行委員会、その他

担当課：広島県教育委員会  
生涯学習課

# 「みんなで子育て南山田小学校～コロナ禍の中での新たな取組を探って～」

キーワード **ノーメディアデー／親子対話週間／子育て講座／勇気が出る言葉**

## 取組概要

コロナ禍による活動の縮小に伴い、イベント的な活動（親子講演会や親子研修会）を見直し、家庭でできる活動（親子対話週間やノーメディアデー）に取り組んでいる。

## 取り組みの詳細

### <ノーメディアデーの取組>

- ・教科書を利用した親子での音読
- ・保護者の写真を交えながらの昔話
- ・ゲーム（将棋やボードゲームの使用）
- ・期間中に取組んだ事を短冊で表現しラミネートして「栞」を作成。



### <子育て講座（新たな活動）>

- ・小学校長が座長となり、各家庭に希望日を募り「子育て講座」を実施。
- ・我が子を見つめ、その子の自尊感情を高めていくための手立てを学ぶ機会を設定。活動を5つに分けた60分間のプログラムを作成。



### <勇気が出る言葉（勇気が出る言葉カード）>

- ・「自分を肯定する感覚」を子どもに持たせるために、勇気が出る言葉カードを用いて子どもの自尊感情を高めた。
- ・児童の音読チェックカードに貼って意識化を図った。

#### 勇気が出る言葉



## 成果

- ・ノーメディアデーや親子読書等で子どもたちとの関わりを深め家庭学習の充実を図ることができた。
- ・親子の絆を深めることができた。
- ・読書の時間が全体的に増えた。

## 課題や今後の取り組み

- ・児童のSNSの取扱いなどの啓発活動
- ・会員による家庭科や総合的な学習の時間などのゲストティーチャー及び教育サポーターとの関わり
- ・人権啓発講演会、子育て講演会の実施
- ・親子平和映画鑑賞会（8月6日）を実施

## その他の取り組み紹介

- ・親子人権講演会
- ・草刈り等の奉仕作業や花苗の無償提供
- ・「ふるさと元気祭」（公民館祭）

所在地

大分県玖珠郡九重町

全校児童数

76名

地域の特徴

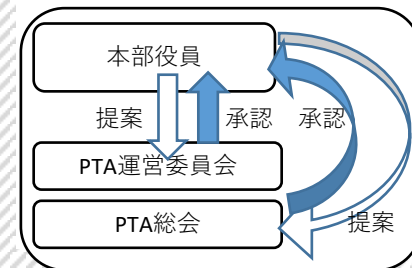
地域のシンボルである小倉岳や町田川の清らかな流れのある河岸段丘の緑に包まれた自然豊かな居住環境にある。

学校の特徴

昭和49年に開校。今年度50周年を迎える。比較的歴史は浅いが、保護者と地域・学校が協働しながら、温かい雰囲気の中で児童の育成に努めている。

組織構成

PTAは会長1名・副会長3名・専門部長3名から構成される「本部役員」と本部役員に「学級会長」と「地区役員」を加えた「PTA運営委員会」・全会員を対象とした「総会」から構成されている。





## コロナ禍で形を変えて継承していくPTA活動

キーワード 文化祭（双楠祭）活動 / 体育大会活動 / PTA新聞発行 / 校内研修 / 校外視察研修

### 取組概要

コロナ禍にも負けず工夫を凝らしてPTA活動を実践することができた。文化祭においては、数年ぶりに食品バザーを開催することができ、保護者にも生徒にも思い出に残る活動となった。

### 取り組みの詳細



コロナ禍の中、開催された令和4年度の体育祭。学校敷地内から離れた会場で3年生保護者のみが観覧可能との制限された開催であったが、来場された保護者の方々から子どもたちの練習の成果、懸命な姿を間近で観覧することができたと好評を頂いた。



令和4年度の文化祭（双楠祭）では2年ぶりにPTAバザーを開くことができた。今年度は例年定番で作っていた「うどん」「フランクフルト」「ポテト」を見直し、新しいメニューにすることが理事会で決まり、「地鶏」「ポテト」「ポップコーン」を販売した。大変好評で、再度材料を買い出しに行く必要があるほど好評な売れ行きに、PTA活動も賑わいを見せていた。

### 成果

- ・ コロナ禍において停滞し制限の多い体育大会、文化祭であったが、3年生にとって卒業の前に思い出に残るPTA活動を実施することができた。
- ・ 保護者と学校の連携を密にすることにより、時代の流れに合った食品バザーの見直しと実践ができた。

### 課題や今後の取り組み

- ・ PTA総会運営へのICT化の導入
- ・ PTA活動や、関わる行事の精選をし、無駄を省いた新たな組織改革
- ・ 時代の変化に即したPTA活動の実施。伝統的に行ってきた行事や活動を精査し、回数や規模の縮小、時間短縮を図り、学校職員・PTA、双方との関係が良好となるような働き方改革
- ・ コロナ禍前までは例年行ってきたPTAミニバレーの廃止に伴う保護者同士のコミュニケーションの場としての新たなPTA活動の検討

### その他の取り組み紹介

- ・ PTA校内研修（木工、陶芸）
- ・ PTA校外視察研修（県内企業見学）
- ・ PTA新聞「双楠」の発行（年間4回発行）

所在地

宮崎県宮崎市

全校生徒数

765名

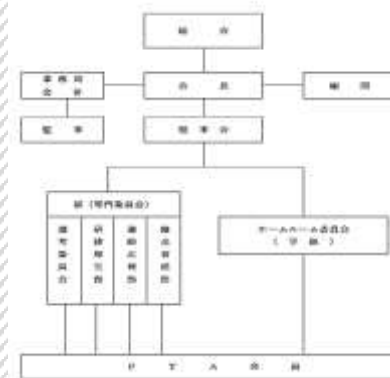
地域の特徴

宮崎市は、日向灘に臨む宮崎県の中央部にあり、青い海と空、四季折々の花や緑に彩られ、豊かな自然と温やかな気候に恵まれた都市で、安全・安心で良質な海の幸・山の幸など、食材が大変豊富である。

学校の特徴

文武両道、部活動も盛んな学校です。「努力、誠実、創意」の校訓ならびに「宮PRIDE夢実現!」のスローガンのもと、機械、生産科、電気、建築、化学科、物理の7学科で生徒が学んでいます。また、本校は昭和23年より定時制も併設され、多様な学び方で産業界を支える人材を育成しています。

組織構成



担当課：宮崎県教育委員会  
生涯学習課